２０２５ 年 度

政治経済学部専門演習要項

明　治　大　学

「専門演習」 のすすめ

－仲間と共に学び合う中で社会を生き抜く力、「人間力」 を養おう－

政治経済学部長　藤永　修一

政治経済学部では、「専門演習」として、「政治学・社会学」「経済学」「地域行政学」「国際地域・文化論」の４つのコースに多彩なゼミナールを設置しています。現在、専門演習には３・４年生の８割以上の学生が参加しています。

ゼミは学生が主体となって学んでいく場です。専門演習ではプレゼンテーション、ディスカッションや論文の執筆などを通じて、ゼミの研究テーマや各自の研究テーマに沿った形で双方向型の授業が行われます。ゼミでは研究テーマに深く踏み込んでいくため、講義に比べより専門的になります。そして、そこで得たより専門的で高次の研究成果を発表する場として、政治経済学部では「ゼミナール発表会」や共同論文集『政経セミナー』を用意しています。

次に、ゼミに所属するメリットですが、たとえば、資料や論文の作成を通じて、論理構成力、文章の書き方や統計ソフトなどの使い方を学んでいくことができます。また、研究発表や討論会を通して、プレゼーテンション力やコミュニケーション力を向上することもできます。ゼミに入ると、授業だけでなくゼミ合宿やゼミの懇親会などゼミの仲間と行動を共にすることが増えていきます。ゼミの仲間と共に過ごした時間、そして何よりもゼミの仲間は一生の宝物となるでしょう。さらに、先輩や後輩、卒業生との繋がりも得られ、ゼミに所属することは大学時代だけでなく卒業後の人生にも役立てることができます。

最後に、ゼミを選ぶ上で気をつけるべき重要なポイントについてお話します。まず、ゼミの研究テーマに興味を持つことができるかということです。そして、人気ゼミや有名ゼミという理由だけで選ぶのではなく、自分に合っているゼミを選ぶことです。そのためにも、この『政治経済学部専門演習要項』を紐解くことから始めてください。ここには、ゼミナールの研究テーマ、研究内容、具体的な卒業論文例などが掲載されています。きっと皆さんが興味を示すゼミがいくつか見つかるはずです。そして、時間が許す限り、オープンゼミや個別ガイダンスに参加し、そのゼミの雰囲気を味わってみてください。ゼミに所属している先輩に質問を投げかけるなどして、この『演習要項』では見えにくい部分についても、先輩の生の声を聞くことをおすすめします。もちろん、サークルなどの先輩や同級生などからゼミについての情報も入手することも忘れずに。

普段の講義では味わうことのできない魅力が、「専門演習卒業生」にはあります。ゼミの場は、いわば社会の縮図であり、仲間と共に学び合う中で、そうした社会を生き抜く力、「人間力」が養われます。「大学４年間で何か一生懸命に取り組んだことがありますか」と聞かれたら、「ゼミでの取り組みです」と答える学生が一人でも多くいることを期待して、筆を擱きます。

ゼミ指導型コース制について

1　専門演習（卒業論文）と科目パッケージ

政治経済学部では、３・４年次に配当される応用科目の選択の目安として４つのコースを設け、さらにそれを区分した科目パッケージを配置している。この科目パッケージは一つの履修モデルともなっている。専門演習（卒業論文）では演習担当教員の指導に基づいて、学生自身の研究テーマにふさわしい科目パッケージ・科目を選択し、卒業論文作成をゴールとした体系的な学習を行う。専門演習履修者はコース選択をする必要はない。

2　専門演習非履修者のためのコース制度

専門演習を履修しない場合は、応用科目を分類した、以下のいずれかのコースを選択しなければならない。選択したコースの科目を 20 単位以上修得することが、卒業要件となる。

【A　政治学・社会学コース】　　【B　経済学コース】

【C　地域行政学コース】　　【D　国際地域・文化論コース】

3　ゼミナール入室者の専門演習（卒業論文）の取り扱いについて

ゼミナールに所属している学生は、専門演習（卒業論文）は必須科目である。途中退室を希望する場合は、「ゼミナール退室およびコース登録願」を提出し、上記２にあるコースのうち１つを選択し登録した上で、そのコースが定める科目を 20 単位以上修得しなければならない。

コース別応用科目

A　政治学・社会学コース	B　経済学コース	C　地域行政学コース	D　国際地域・文化論コース
a　政治理論系パッケージ	d　国際経済系パッケージ	g　公行政系パッケージ	j　日本・アジア文化系パッケージ
自治体経営論、国家論、現代国家分析、都市政策、都市行政、政治過程論、政治体制論、政治体制変動論、比較政治論、比較政治論（東アジア）、計量政治学、政治行動論、公共政策学	国際経済学、経済地理学、開発経済学、国際経済政策、国際金融論、日本・ｱｼﾞｱ地域論 A～D、日本ｱｼﾞｱ文化論 A～D、ﾖｰﾛｯﾊﾟ地域論 A～E、ﾖｰﾛｯﾊﾟ文化論 A～E、ｱﾒﾘｶ地域論 A～D、ｱﾒﾘｶ文化論 A～D、連環地域文化論 A～D	自治体経営論、行政法、地域行政学、行政情報論、公共政策学、公会計学、都市政策、都市行政、地方財政論、社会保障論、地域開発論、環境経済学、地域政策論 A～J、身体文化論、スポーツ文化論	日本・ｱｼﾞｱ地域論 A～D、日本ｱｼﾞｱ文化論 A～D、連環地域文化論 A～D、身体文化論、ｽﾎﾟｰﾂ文化論、表象文化論、比較政治論（東ｱｼﾞｱ）、ｱｼﾞｱ政治論、民俗学 A､民俗学 B､社会人類学 A、社会人類学 B、異文化ﾋﾞｼﾞﾈｽ論概論、実践異文化ﾋﾞｼﾞﾈｽ論
b　国際政治系パッケージ	e　財政・金融系パッケージ	h　地域コミュニティ系パッケージ	k　ヨーロッパ文化系パッケージ
国際政治学、国際関係史、ｱｼﾞｱ政治論、ｱﾒﾘｶ政治論、ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ政治論、ｱﾌﾘｶ政治論、ﾛｼｱ政治論、東欧政治論、国際法 A、国際法 B、比較政治論､比較政治論(東ｱｼﾞｱ)、日本・ｱｼﾞｱ地域論 A～D、日本ｱｼﾞｱ文化論 A～D、ﾖｰﾛｯﾊﾟ地域論 A～E、ﾖｰﾛｯﾊﾟ文化論 A～E、ｱﾒﾘｶ地域論 A～D、ｱﾒﾘｶ文化論 A～D、連環地域文化論 A～D	現代日本経済論、金融論、金融政策、地方財政論、財政政策、租税論、国際金融論	社会福祉政策論、ｺﾐｭﾆﾃｨ福祉論、地域開発論、地域情報論、環境経済学、地域政策論 A～J、身体文化論、ｽﾎﾟｰﾂ文化論	ﾖｰﾛｯﾊﾟ地域論 A～E、ﾖｰﾛｯﾊﾟ文化論 A～E、連環地域文化論 A～D、身体文化論、ｽﾎﾟｰﾂ文化論、表象文化論、国際政治学、国際関係史、ｱﾌﾘｶ政治論、ﾛｼｱ政治論、東欧政治論、比較政治論、国際経済学、異文化ﾋﾞｼﾞﾈｽ論概論、実践異文化ﾋﾞｼﾞﾈｽ論
c　社会学系パッケージ	f　総合経済政策系パッケージ	i　産業社会系パッケージ	l　アメリカ文化系パッケージ
現代社会学 A、現代社会学 B、現代社会心理学 A、現代社会心理学 B､産業心理学､消費心理学、社会調査法、フィールドワーク論、比較社会学､民俗学 A､民俗学 B、社会人類学 A、社会人類学 B、地域情報論	現代経済政策、食料経済学、環境経済学、産業組織論、中小企業論、地域産業論、人口学、労働経済学、社会保障論、協同組合学、地域開発論、地域振興論	地域産業論、中小企業論、協同組合学、食料経済学、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、労働経済学、地域振興論、地域政策論 A～J	ｱﾒﾘｶ地域論 A～D、ｱﾒﾘｶ文化論 A～D、連環地域文化論 A～D、身体文化論、ｽﾎﾟｰﾂ文化論、表象文化論、国際政治学、ｱﾒﾘｶ政治論､ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ政治論、比較政治論、国際経済学、異文化ﾋﾞｼﾞﾈｽ論概論、実践異文化ﾋﾞｼﾞﾈｽ論

目　　次

学科	分野	ページ	指導教員名	ゼミナール名称
政治	理論部門	1	外池　力	比較政治体制論
		2	井田　正道	計量政治学
		3	西川　伸一	国家論
		4	ベナサリオ・ベルルッキ，アントニオ	比較政治論
		5	伊藤　剛	国際政治学
		6	野澤　千絵	都市政策
		7	西村　弥	行政学
		8	牛山　久仁彦	地方自治
		9	加藤　言人	政治過程論
	歴史・思想部門	10	重田　園江	現代思想
		11	髙山　裕二	政治理論史
		12	小西　徳應	日本政治史
		13	相原　耕作	日本政治思想史
		14	川嶋　周一	国際関係史
		15	水戸部　由枝	西洋政治史
	社会学関係	16	鍾　家新	社会学
		17	加藤　彰彦	比較社会学
		18	樋口　収	社会心理学
		19	水野　剛也	ジャーナリズム論
経済	理論部門	20	髙橋　聡	経済原論
		21	武田　巧	応用マクロ・ミクロ経済学
		22	平口　良司	経済成長論
		23	八木　尚志	理論経済学
		24	小林　和司	計量経済学
		25	大森　正之	環境経済学
		26	井上　朋紀	数理経済学
		27	鎌田　健司	人口学
		28	永原　裕一	経済統計学
		29	関根　篤史	統計学
		30	星野　泉	財政学
		31	廣松　悟	経済地理学・地域開発論
		32	大高　研道	協同組合学
		33	小早川　周司	金融論
		34	森下　正	中小企業論
		35	奥山　雅之	地域産業論
	歴史・思想部門	36	髙橋　信勝	経済学史
		37	中島　満大	社会学・人口学
		38	杉本　隆司	社会思想史
		39	奥山　誠	経済思想
		40	赤津　正彦	経済史
		41	日向　祥子	日本経済史

学科	分野	ページ	指導教員名	ゼミナール名称
経済	政策部門	42	齋藤　雅己	経済政策
		43	宮崎　イキサン	国際経済政策
		44	藤永　修一	国際経済政策
		45	藤本　穣彦	食料経済学
		46	末永　啓一郎	開発経済学・経済発展論
		47	小野島　真	財政政策
		48	加藤　久和	社会保障論・公共経済学
		49	原　ひろみ	労働経済学
国際文化	国際文化関係	50	池田　功	日本文化研究
		51	冨澤　成實	日本文化研究
		52	嶋田　直哉	日本文化研究
		53	植田　麦	日本文化研究
		54	ネルソン，リンジーＲ	日本文化研究
		55	羽根　次郎	アジア文化研究
		56	山岸　智子	西アジア地域研究と文化理論
		57	中村　幸一	台湾文化研究
		58	飯嶋　曜子	ヨーロッパ文化研究
		59	仮屋　浩子	ヨーロッパ文化研究
		60	前田　更子	ヨーロッパ文化研究
		61	佐原　徹哉	ヨーロッパ文化研究
		62	内田　兆史	連環地域文化研究
		63	柴﨑　文一	連環地域文化研究
		64	虎岩　直子	イギリス文化研究
		65	石山　徳子	アメリカ文化研究
		66	ジョージ，ジョニーＥ	アメリカ文化研究
		67	海野　素央	異文化ビジネス論・異文化間コミュニケーション論
		68	ヨーク，ジェームズ	遊戯文化論
		69	高峰　修	スポーツ文化研究
		70	後藤　光将	スポーツ文化研究

外池　力　ゼミナール【比較政治体制論】
担当科目：政治体制論、ロシア・東欧政治論

◆　ゼミナールの研究テーマ

各国の政治・社会を比較する

◆　研究内容

＜外国書研究＞

今まで、毎年、デモクラシー論や人権論関連の本を輪読してきた。(例えば今年は Naomi Zack, Democracy: A Very Short Introduction, Oxford Univ.Press,2023　(2100 円)

本年も同じような本を読むつもりなので、政治学の英語だけでなく、洋書にも慣れてほしい。

＜卒業論文・３年次＞

自分のやりたい国や地域、またテーマを決めて、その政治や社会などについて各自研究を進める。そして、政治と社会のかかわり方、デモクラシーや人権問題、社会問題などを通じて普遍的課題についても皆で考えていく。初めのテーマは、必ずしも卒業論文につながるものでなくてもよいが、発表、書評、レポートなどを通して、卒業論文に結実するよう指導するので、動機や関心がはっきりしているテーマを選び、持続して研究することが望ましい。

＜卒業論文・４年次＞

卒業論文指導も、発表やレポートを通じて行う。

＜卒業論文例＞

「カンボジアにおける貧困・教育問題」「ホームレスと人権」「承認欲求と古着」「ソ連と民族問題」「スポーツによる地方振興－スポーツツーリズム市場拡大のヒント」「現代の戦争伝承について」「マイナスポーツのプロスポーツ化について」「核兵器と映画」「子どもの貧困～貧困の連鎖を断ち切るために～」「非暴力の力」「タイ政治の安定性－クーデターの歴史」「戦争と PTSD」「アイヌ民族の歩み」「衰退する出版業」「教育格差と経済格差」 など

◆　応募学生に対する希望

研究テーマがはっきりしていて、ゼミ活動に積極的に参加する学生が望ましい。

◆　成績評価方法

卒業論文：授業での発表、議論への関与度、卒業論文の完成度によって評価する
外国書研究Ⅰ：授業での発表およびレポート
外国書研究Ⅱ：授業での発表およびレポート

研究分野…比較政治体制、人権研究、デモクラシー論、民主化研究、地域研究
募集人数…15 名程度
試験方法…作文、 面接
関連パッケージ… a 政治理論系、 b 国際政治系、 c 社会学系、 d 国際経済系、 g 公行政系、
h 地域コミュニティ系、 i 産業社会系、 j 日本・アジア文化系、
k ヨーロッパ文化系、 l アメリカ文化系
関連科目…なし

井田　正道　ゼミナール【計量政治学】
担当科目：計量政治学、政治行動論

◆　ゼミナールの研究テーマ

選挙と政治意識の実証的研究

◆　研究内容

＜外国書研究＞

春学期は「若者と政治」に関する英語文献、秋学期は日本政治に関する英語文献を読む予定である。和訳担当部分を割り当て、逐語訳をしてもらう。さらに関連する事項について教員から補足説明を行い、ゼミ生からの質疑応答を行う。

＜卒業論文・３年次＞

情報教室を使用し、データの分析の実習を行う。ゼミ内でグループをいくつかに分け、夏合宿では各グループによるプレゼンテーションを行う。10 月には学部ゼミナール研究論集『政経セミナー』 に原稿を提出し、同月にはホームカミングデーの際に行われる「ゼミナール報告会」 で発表する。

選挙データや世論調査データについて、実習を通して、分散、標準偏差、相関分析、回帰分析、など、統計学に関する基礎的かつ重要な知識を習得する。

＜卒業論文・４年次＞

就職活動との兼ね合いもあるが、春学期にテーマの決定、秋学期には随時、進行状況を発表し、論文執筆を進める。

＜卒業論文例＞

「小泉政権とマスコミ・世論」「イラク戦争に関する社説分析」「2015 年イギリス総選挙の分析」「選挙制度改革再考」「世襲議員の実態」

◆　応募学生に対する要望

合宿、ゼミナール発表会、『政経セミナー』執筆など、いずれもグループ作業になるので、各自の役割に対して責任感を持つこと。ゼミの行事（合宿など）に必ず参加すること。入ゼミ時点での知識は問わないが、データを扱う実証的研究に関心のある者が望ましい。なお、欠席の多い者はゼミを辞めてもらうことがあるので留意されたい。

◆　成績評価方法

外国書研究：平常点（発表の内容、議論への参加など）。
卒業論文（３年） 発表・作業への貢献度。
卒業論文（４年） 卒業論文の質に対する評価。

研究分野…政治意識論、選挙制度論、日本政治論、アメリカ選挙政治
募集人員…10 名程度
試験方法…オンラインによる面接試問
関連パッケージ…a 政治理論系　b 国際政治系　c 社会学系
関連科目…計量政治学、政治行動論、ＩCT 統計解析、政治過程論、社会調査法

西川　伸一　ゼミナール【国家論】

担当科目：国家論

◆　ゼミナールの研究テーマ

国家固有の作用を現代日本に焦点を当てて具体的に分析する。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

現代日本政治を扱った最近の文献を精読し、書かれている内容について議論し理解を深める。2024 年度の使用テキストは次のとおりであった。

Gavan McCormack, 2018. *The State of the Japanese State,* RENAISSANCE BOOKS. ☆精読に徹する。

＜卒業論文・３年次・４年次＞

「国家」は諸個人に対して強制可能な決定を作成し、執行する存在として至高の位置を占めている。たとえば、大学が学生に対して科すことのできる最も重い処分はせいぜい退学である。一方、国家は裁判の結果、死刑判決が確定した者に対してその命を奪うことができる。合法的に殺人ができるのは国家だけである。あるいは、覚醒剤の密輸や使用が毎日のように報じられている。これを規制する強制的措置を取りうるのもやはり国家のほかにはない。

私のゼミナールでは、このように国家に固有の作用に焦点を当てて研究を進めていく。その場合、私たちが生きている現代の日本に対象を定めて、具体的な根拠のある議論を展開したい。

ゼミは３・４年生合同の２時限連続で行う。学期別の進め方としては、春学期は３年生に知識をつけてもらうために、現代日本の政治や行政について書かれた最新の書籍を輪読する。2024 年度に用いたテキストは次のとおりである書。1）境家史郎（2023）『戦後日本政治史』中公新書、2）嶋田博子（2022）『職業としての官僚』岩波新書、3）糠塚康江（2020）『議会制民主主義の活かし方』岩波ジュニア新書。

そして、秋学期は４年生の卒業論文経過報告および３年生のテーマ報告となる。

このゼミは 2025 年度で 31 期生を迎える。これまで築き上げてきたゼミの「矜持」を掲げておく。

１．定刻に正確なこと。

２．無断欠席はしないこと。

３．ゼミ機関誌『BEYOND THE STATE』（明大図書館請求記号 009.7/260//H）を毎年度発行すること。

入室希望の学生はこれら３点をぜひ留意してほしい。

ゼミのホームページと私の個人ホームページは以下のとおりである。ゼミ選びの参考にしてほしい。

https://sites.google.com/view/nishikawazemi/

https://www.nishikawa-shin-ichi-online.com/

＜卒業論文例＞

「駅名変更にみる我田引鉄」「経済界主導の英語教育改革の課題」「実体験から見る町内会と政治・行政、或いは神社」「小池都知事のリーダーシップについて」「大学生男女間のジェンダー意識」「「居場所」を求める難民たち」「大麻経済と現代政治」「IR 誘致のすすめ」「発着枠における空の政治学」「工藤會四代目総裁、野村悟の恐怖政治」

◆　応募学生に対する希望

ゼミでの勉学に励むのはもちろん、ゼミ運営にかかわる様々な仕事をきちんとやってくれる学生に入ってほしいです。

◆　成績評価方法

卒業論文：各学期の平常点（演習への貢献度と参画度）＋卒業論文への取り組みの評価

外国書研究Ⅰ：春学期の平常点（演習への貢献度と予習の状況）

外国書研究Ⅱ：秋学期の平常点（演習への貢献度と予習の状況）

研究分野…現代日本の政治と行政

募集人数…12 名程度

試験方法…事前提出された身上書に基づく個別面接

関連パッケージ… a 政治理論系

関連科目…政治学説史、日本政治史、西洋政治史、そのほか a 政治理論系パッケージ配置の各科目

ベナサリオ・ベルルッキ　アントニオ　ゼミナール【比較政治論】

担当科目：比較政治論

◆　ゼミナールの研究テーマ

選挙と民主主義の比較研究

◆　研究内容

＜外国書研究＞

「選挙」は民主主義の根幹であり、政治学の中でも最も盛んに研究されている対象の一つである。「送り手」である政党や政治エリートの戦略的行動と共に、「受け手」である有権者の投票行動に注目する研究が多く蓄積されている。この授業では主に民主主義、代表、ポピュリズム、政党間競争、投票行動など、政治学の重要なテーマに関する文献を精読し、様々な分析課題に取り組む。毎回の授業では指定された論文や書籍を事前に熟読した上で、小レポート（1000 字程度）を作成し提出することが求められる。さらに、グループワークを通じて、履修者が議論や分析課題に取り組み、各週の文献内容の理解を深めていく。特にその課題の背景、理論、仮説、リサーチデザインに関わる問題に着目し、その現実世界上の意味を検討することに注力したい。

＜卒業論文　３年次＞

このゼミナールでは、履修者が自身の関心に応じたテーマを設定し、卒業論文完成に向けて研究をスタートさせることが３年次の目標である。履修者には、自身の研究テーマに関する先行研究を批判的に精読し、新たな疑問点を明らかにすることが期待される。研究したい内容が定まっていない履修者については、担当教員がブレインストーミングなどを通じて本人の関心に沿ったトピックを発見する手助けをする。

毎回のゼミは、毎週 1～2 名が研究報告をし、その後メンバー全員でその報告についてディスカッションをする形で実施する。研究テーマ、仮説、データ収集や適切な分析手法などについて相互にフィードバックを与え合うことを通じ、具体的かつ現実的な研究計画を立て、卒業論文の作成に取り組むことが期待される。

＜卒業論文　４年次＞

４年次では質の高い卒業論文を仕上げることを主な目標とする。履修者の選択したテーマに基づいて、実証分析によって仮説検証を行い、その検証結果を卒業論文にまとめる作業が中心となる。毎回、発表者は論文の内容とその進捗状況を共有し、他のメンバーからコメントやフィードバックを受けることとなる。

◆　応募学生に対する希望

担当教員の主な研究分野は「先進民主主義国における選挙の比較研究」であるが、権威主義体制の政治や民主化など、異なる関心を持つ学生も歓迎する。基本的には定量的分析（統計）を用いた卒業論文を作成してもらうことになるが、定性的アプローチを使用した事例研究を行いたい場合も相談の上で適宜対応する。

なお、当ゼミでは政治学の専門的な文献を英語で読み、英語でプレゼンテーションやディスカッションする機会も多くあると予想される。したがって、ある程度の英語能力を持っていることが望ましいが、今は自信がなくとも積極的に英語でのプレゼンテーションやディスカッションにチャレンジしたい学生も歓迎する。

さらに、政治に関する背景知識の共通理解を図るため、3 年次に担当教員の主要科目である「比較政治論」（日本語/英語）を履修することが望ましい。比較政治学の主要な概念を学び、それらをゼミでの議論や卒業論文作成に活かすことが期待される。

◆　成績評価方法

外国書研究Ⅰ（３年次春学期）：小レポート、グループワーク、授業態度/ゼミへの貢献度
外国書研究Ⅱ（３年次秋学期）：小レポート、グループワーク、授業態度/ゼミへの貢献度
卒業論文　３年次：授業態度/ゼミへの貢献度・参加度
卒業論文　４年次：授業態度/ゼミへの貢献度・参加度、卒業論文の内容、質および完成度

研究分野…先進民主主義国における選挙の比較研究
募集人数…１０～１２名
試験方法…面接
関連パッケージ…a 政治理論系、b 国際政治系
関連科目…比較政治論、比較政治論（東アジア）政治過程論、軽量政治学

伊藤　剛　ゼミナール【国際政治学】

担当科目：国際政治学

◆　ゼミナールの研究テーマ

現代国際政治の理論と政策

◆　研究内容

＜外国書研究＞

ここ数年は、海外で話題となった書籍を取り上げたり、New York Times, Japan Times, Foreign Affairs の記事・論文を抜粋して輪読しています。かつては、米国 Dushkin 社出版のアンソロジーを購入してもらっていました。どちらでもいいと思います。私は、ここ数年起こった国際現象を英語で読むことが大事だと思っています。皆さんが卒業して働き始めたとき、英語の HP を読まされることはこれから増えるのでないでしょうか。

＜卒業論文・３年次＞

ゼミに入るまで国際問題を勉強する機会は、なかなかないと思います。そこで、春学期は受講者の関心を聞いた後、共通するテーマを２～３抽出して、そのテーマの代表的な文献を輪読することにします。夏休みに皆で『政経セミナー』を執筆します。そして秋学期は各自の問題関心に応じてゼミを行います。

私の考えでは、「趣味」とはそれに関して数時間ばかり話ができて初めて趣味です。ましてや、「ゼミ」とは勉強のことですから、「趣味」以上に多くを人に熱く語れる学生になってください。学生のときに関心をもって一生懸命勉強した事柄は、きっといつまでも記憶に残るはずです。

＜卒業論文・４年次＞

３年次に勉強したテーマに沿って各自で研究トピックを一つ選び出して、学年末に卒業論文として提出します。６歳のときから「学校」に行き始めて、長い長い学校生活のしめくくりがこの卒業論文です。

＜卒業論文例＞

「アメリカ社会と外交」「ヨーロッパの民族紛争」「人民元と国際通貨」
「日本の対朝鮮半島政策」「カナダ外交の特徴」「国際政治理論と思想」
「文化と国際関係」「『自爆テロ』という隘路」「東アジア共同体」「ウクライナ戦争と台湾危機」

◆　応募学生に対する希望

文献を読む→まとめる→人の前で報告する→討論するという過程は、学生の間だけでなく、大学を卒業した後においてこそ重要とされる能力です。それを今のうちから厭わないことが大事。大学２年の今は 「やる気」と「意欲」だけで評価されます。しかし、４年の就職活動の時、そして社会に出てからは、人にはない何かの 「付加価値」 がないといけないのです。明治大学に通うこと、政治経済学部に所属すること、そして GO ゼミを選択することが、何かの縁であってほしいと願います。

GO ゼミはこれまで、『外交フォーラム』や、東進ハイスクール機関誌『ｋｉｋｉ』や、防衛庁（現防衛省）広報誌『セキュリタリアン』に紹介されました。ほかに大学のゼミ紹介している雑誌がないかなあと探しています。

◆　成績評価方法

卒業論文：平常点による
外国書研究Ⅰ：平常点による
外国書研究Ⅱ：平常点による

研究分野…対外政策の実証研究、日米中関係、国際政治の理論と思想、安全保障、国際政治経済など
募集人数…10 名程度
試験方法…応募の際に身上書を提出して下さい。身上書の用紙は先輩たちが毎年バージョン変えて苦労して作成し、それをゼミ・ガイダンスで渡しています。それをもとに面接を行います。なお、応募者が定員を超えた場合は、簡単な試験を受けてもらおうかと考えています。また、GO ゼミは十大学合同セミナーに３年時は参加することを前提としています。
関連パッケージ…ｂ 国際政治系、ｋ ヨーロッパ文化系、ｌ アメリカ文化系
関連科目…国際関係史、アジア政治論、アメリカ政治論、ラテンアメリカ政治論、アフリカ政治論、ロシア政治論、東欧政治論、国際法、比較政治論、比較政治論 （東アジア）、国際経済学、国際民族政策、国際金融論

野澤　千絵　ゼミナール【都市政策】

担当科目：都市政策、都市行政

◆　ゼミナールの研究テーマ

人口減少が加速化し、本格的な少子・超高齢社会が到来する中で、日本の都市は、更新すべき老いたインフラや公共施設を大量に抱えている。空き家が右肩上がりに増加しているにもかかわらず、長期的な維持管理費や解体費は考慮されぬまま、新規の住宅供給や居住地の拡大は続いている。こうした背景には、現行の都市政策や都市行政が、高度経済成長期につくられた枠組みから根本的に転換できていないという構造的な問題がある。こうした問題に興味を持ち、将来世代に多大な負担を押し付けることのないよう、都市政策や都市行政の構造的な問題を解明し、具体的な解決策を模索したい！という学生は、このゼミナール向きでしょう。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

世界の人口減少都市の都市政策・都市行政に関する英語資料・英語論文を輪読し、海外における思潮や具体的な取り組み事例を学ぶ。例えば、世界各国の都市再生・地方創生、 Shrinking Cities の現状、スマートシティや交通政策などの文献を輪読する。

＜卒業論文・３年次・４年次＞

卒業論文は、個々人のテーマ設定を歓迎する。ただし、そのテーマで調査が可能か否かも含めて、ゼミにおける議論で決めていく。３年次は、様々な自治体のデータ分析や計画図書等を読み解くなど、卒業論文や社会人となった際に必要な知識・分析手法等の習得を中心とする。３年次終了時点で、各自の卒業論文のテーマを決定し、４年次は、各自、テーマに関する分析・調査を進め、随時、ゼミナールで進行状況等を発表し、論文の執筆を進めていく。現状の都市政策や都市行政に対して、自らの視点に基づく明確な問題意識を持ち、解決策を提示したいという意欲的な学生を歓迎する。

＜ゼミで着目中の主なテーマ例＞

都市と地方が連携した都市再生・地方創生の仕組みづくり、空き家の発生予防方策と担い手支援、MAAS（≒様々な交通手段・サービスの統合化でより便利な移動を実現するための仕組み） によるまちづくり、スマートシティ、商店街の活性化、GIS や３D 都市モデルを活用した都市課題の分析、市町村間の広域連携、高経年団地のコミュニティ施策、災害ハザードエリアの土地利用コントロールなど。詳細は下記をご覧ください。

教員のウェブサイト　http://www.isc.meiji.ac.jp/~chienoza/index.html

野澤ゼミナール学生によるインスタグラム　https://www.instagram.com/chienoza2nd/

野澤ゼミナール学生によるブログ　https://nozawa-seminar.tumblr.com/

◆　応募学生に対する希望

欠席を繰り返す、専門演習・外国書研究やゼミ活動への参加度や意欲が低い学生は年度途中でもやめてもらうことがある。3〜４年の期間を就職活動だけで終わらせたくない、様々なチャレンジを躊躇しない学生を求む。

◆　成績評価方法

卒業論文：(1) ゼミへの事前準備、(2) 卒業論文に関わる調査等への取り組み方、(3) 卒業論文の内容

外国書研究ⅠⅡ：(1) 授業に対する事前準備、(2) 議論への参画度

研究分野…都市政策・都市行政に関する研究

募集人数…10 名程度

試験方法…身上書と面接。場合によっては、身上書で一次選考の上、二次選考で面接とする可能性あり。

関連パッケージ…a 政治理論系、g 行財政系　h 地域コミュニティ系

関連科目…自治体経営論、公共政策学、地方財政論、地域行政学、行政学基礎など

西村　弥　ゼミナール【行政学】

担当科目：行政学基礎、行政理論基礎

◆　**ゼミナールの研究テーマ**　現代の行政、政策形成・政策実施に関する実証研究

「行政」を切り口に考えられるテーマは無限にある。今日では、ゆりかごから墓場までのみならず、食品の成分表示から宇宙探査の実施まで、行政は広範な分野で重要な役割を果たしている。巨大化した行政とそれを動かす官僚の行動をどう捕捉・分析するか、いかに官僚制を民主的にコントロールするか。そして、行政機構をどう駆使し、いかなる政策を実施させるか、ともに考える場としたい。

◆　**研究内容**

＜外国書研究＞

行政学の英語論文を輪読し、海外における「行政のとらえ方」について触れる。

＜卒業論文・３年次＞

３年次は全員で自治体との共同研究もしくはフィールドリサーチを実施する。さらに、その成果を取りまとめ、「ゼミナール発表会」でのプレゼン（10 月）、および、さらに「政経セミナー」 への論文投稿（12 月）というかたちで結実させる。上記と併行して春学期は入門的な文献の輪読と小レポート（輪番）の発表を中心に進める。秋学期はミニレポートの執筆・発表とともに、教科書レベルの文献をもとにプレゼンテーションの練習を行う。

＜卒論論文・４年次＞

卒業論文のテーマと研究計画の立案、中間報告を経て、卒業論文をまとめる。なお、3 年生も議論に参加し、卒業論文についてのノウハウを習得する。

＜卒業論文例＞

学生各自の問題関心に根差しているテーマを歓迎する。一例として「自治体アンテナショップの運営実態に関する考察」(2023 年度)、「コーポレート・ガバナンス強化と『官僚出身』社外取締役の台頭」(2022 年度)、「国家安全保障体制の変容に関する考察-国家安全保障局長人事を糸口に-」(2021 年度)、「東京都におけるクラフトビール（地ビール等） 事業者の参入要因に関する考察」(2020 年度)、「フードバンク活動・団体に関する考察」(2019 年度)、「交通系ＩＣカードの格差に関する研究」(2018 年度)、「地方公務員における自律性と知事の政治任用権に関する研究」(2017 年度)、「ふるさと納税受入額を規定する要因に関する研究」(2016 年度)、「世襲と不祥事の関係性」(2015 年度）など。

◆　**応募学生に対する希望**

皆さんは 13 期生となる。活発なゼミ活動を「創造」する意思、意欲を持つ学生を歓迎したい。ゼミの授業、合宿に参加する意思のない学生は志望しないこと。無断欠席、遅刻を繰り返す学生と合宿不参加の学生は除籍する。

◆　**成績評価方法**

卒業論文：演習への貢献度と参画度（発表、発言等)、卒業論文の内容

外国書研究Ⅰ・Ⅱ：演習への貢献度と参画度（発表、発言等）

研究分野…現代行政に関する研究、政策形成・政策実施に関する研究

募集人数…12 名程度

試験方法…レポート課題（個別ガイダンス時にテーマ・字数を提示）＋面接（身上書要提出）

※面接方式は、受験者数に応じて決定する

関連パッケージ…a 政治理論系、g 公行政系、h 地域コミュニティ系

関連科目…国家論、自治体経営論、都市政策、都市行政、地域行政学など

牛山　久仁彦　ゼミナール【地方自治】

担当科目：自治体経営論

◆　ゼミナールの研究テーマ

自治体行政をめぐる制度・法・政策についての理論的、実証的研究

◆　研究内容

＜外国書研究＞

行政学・地方自治に関連する英語文献を読む。使用テキストについては開講時に指示する。

＜卒業論文・３、４年次＞

本ゼミナールは、自治体行政という市民生活に密接な関係をもつ問題について、現状を把握し、理論的・実証的研究を行うものである。したがって、地方公務員を志す学生諸君のみならず、市民として自治体行政に関心を持ち続けようという諸君も歓迎したい。この 10 年ほどの間に進められてきた地方分権改革は、国（中央政府）に統制されてきた自治体（地方政府）が、住民にもっとも身近な政府としてどのような政策をもち、それを実行するのかという問題を提起している。改革派知事らも積極的に地方分権の中で動き始めてきた。こうした動きを行政学や政治学ではどのように理解し、理論的に把握しているのであろうか。また自治体職員はどのように受け止め政策開発に努めているのであろうか。そうした視点から、ゼミ生のそれぞれの関心にあわせて、福祉、まちづくり、環境など、さまざまな分野における自治体行政のあり方を検討してみたいと思う。新型コロナ問題をめぐる中央・地方関係についても研究テーマとしたい。

なお、本ゼミに参加する諸君は、以下の点に留意し、志望してほしい。

①教員、他ゼミ生との信頼関係の醸成と共同研究のためのルール遵守

②ゼミの自治的な運営

③合宿研究会、実証的研究（実態調査）への参加

④公務員志望者については積極的に指導するが、受験予備校ではないことに注意

◆　応募学生に対する希望

無断欠席をしないこと。合宿や自主研究などの活動に積極的に参加することを希望する。

◆　成績評価方法

卒業論文：平常点および卒業論文の内容によって評価する

外国書研究Ⅰ：平常点により評価する

外国書研究Ⅱ：平常点により評価する

研究分野…地方分権にともなう自治体行政の改革とその現状

募集人数…15 名

試験方法…面接および身上書の内容によって決定する。

関連パッケージ… a 政治理論系、 g 公行政系、 h 地域コミュニティ系

関連科目…自治体経営論、地域行政学、都市行政・都市政策、地方財政論、公共政策学

加藤　言人　ゼミナール【政治過程論】

担当科目：政治過程論

◆　ゼミナールの研究テーマ

今の政治について「どうするべきか」を考えるためには、今の政治が「なぜ・どのように動いているのか」について検討する必要があります。現状を十分に検討せずに提言・提案を行えば、方向が間違っていたり、実現可能性が低かったりしかねないからです。本ゼミナールでは、政治の現状について客観的・論理的な理解を深めるために、科学的推論（実験・実証分析・数理理論）の方法を紹介します。そして、目の前にある問題について直感や思い込みを捨てて検討する力を身につけることを目指します。研究テーマとしては、一般有権者の政治行動・政治意識形成のプロセス、および一般有権者と政治家・政府・メディアとの関係を中心に、現代政治全般に関心がある人を歓迎します。地域的な関心は、日本やアメリカを始め、世界中どこの国でも構いません。卒業論文では、量的手法・数理理論を用いた分析をしてもらいます。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

受講者の関心に応じ、投票行動、政治参加、世論、政治コミュニケーション・メディア、政治心理、政治と社会的アイデンティティ・ジェンダー、政治家行動、選挙・政治制度などの分野から英語論文を購読します。各文献の担当者を決めて英文レジュメを準備してもらい、その人の司会でディスカッションをします。また数回に一回は、読んだ文献の内容に関連するトピックでグループ・ディスカッションを行い、実践的な理解を深めます。

＜卒業論文・３年次＞

科学的思考法を理解し、それに沿った研究を行えるようになることを目指します。前半は仮説検証の考え方、仮説検証の理想形である実験について学びます。後半は、世論調査などの観察データを用いた研究デザイン、および実証的な分析を行うツールとして、統計ソフトＲを用いた分析の行い方と、分析結果の適切な解釈について学びます。理論構築や数理理論の基礎については政治過程論の受講を勧めます。夏から秋にかけて、グループに分かれてサーベイ実験のレプリケーションに取り組んでもらう予定です。冬にかけて実験を実際に行い、分析と考察をしたいと思います。

＜卒論論文・４年次＞

各自の関心に応じてテーマを設定し、実験、実証分析、もしくは数理理論を用いた分析を卒業論文にまとめます。基本的には、仮説検証型の論文を書いてもらいます。ゼミ内では、進捗を発表し、討論を行います。

＜卒業論文テーマ＞

本年度がゼミの第２期なので、どんなテーマ・関心が受講者から出てくるのかを楽しみにしています。上で述べたテーマに加えて、現代政治の現状分析に関連していれば基本的に何でも歓迎します。

◆　応募学生に対する希望

＜文献の読み方＞

文献や知識を、情報としてただ受け入れるのではなく、それらを使って考え、ディスカッションに積極的に参加することを求めます。文献を読んだら、少なくとも２－３つは疑問やコメントを準備してきてください。ゼミ中に黙って発言しない場合は、読んでいないのと同じと見なします。誤解や論点のズレがあっても、むしろそれらは理解を深めるきっかけになるものですから、間違いを恐れず発言してください（理解間違い程度で減点はしません）。

＜英語について＞

現代政治分野の実証・科学的研究は、欧米圏で多くの成果があります。本ゼミナールでは短い新聞記事ではなく、学術論文・学術書をメインに英語文献を読むことを覚悟してください。英語の授業ではないので、１字１句の精読は求めませんし、勧めません。複雑な英語論文の要点をどう効果的につかみ、その論点について自分の理解が深められるか、という点に注力してください。年に数回、英語での特別講義を実施することも想定しており、学生の意欲がある場合、留学生がいる場合は、英語でディスカッションを行う可能性もあります。また、欧米圏における知見を、日本を含む非欧米圏のコンテクストにどう適用・応用していけるかについて考えるモチベーションがある学生を歓迎します。

＜分析手法について＞

本ゼミナールの卒業論文は、量的分析手法、もしくは数理理論を用いることを条件とします。具体的な手法・ツールについてはゼミ中に紹介するので事前知識は特に求めませんし、数学が得意である必要もありません。ただし、数字・統計を用いた論理的・客観的な思考法を育てる心の準備をしてきてください。

◆　成績評価方法

外国書研究：担当文献の発表・ディスカッションの司会、およびディスカッションへの参加度を総合的に評価します。

卒業論文：研究発表・ディスカッションの参加度、グループワーク・卒業論文のクオリティを総合的に評価します。

研究分野…実証・数理政治学（特に選挙、世論、民主主義）・政治学方法論

募集人数…10～12 名

試験方法…身上書（独自書式）、面接

関連パッケージ…a 政治理論系 b 国際政治系 c 社会学系

関連科目…政治過程論、政治行動論、計量政治学、メディアと世論、現代社会心理学

重田　園江　ゼミナール【現代思想】

担当科目：現代思想

◆　ゼミナールの研究テーマ

現代社会の諸問題への思想的なアプローチ

◆　研究内容

＜外国書研究＞

英語の新聞記事（あるいはネット上の英文記事）を選んで読み、取り上げた記事のテーマに関連するディスカッションをする。また、数週つづけて一つのテーマを扱うこともある。訳の担当者以外に、その日扱うトピックに関して話題提供者（通常２名）を決め、内容を補足し、議論の素材とする。

＜卒業論文・３年次＞

① 現代政治理論・社会理論に関連する文献の講読。春学期はこれに加えて、グループで共同論文を作成する（テーマについては受講者で相談して決める）。ゼミナール発表会に参加する。秋学期はトピックを絞って、ある程度専門的で難解な文章でもきちんと読めるような訓練をしたい。秋学期もグループ作業を取り入れる年もある。グループ報告と輪読を同時並行して行う。

② テーマを選んで他ゼミ（他大ゼミを含む）と交流する。

③ 学生が興味を持つテーマについて、ゼミ卒業生、他大学教員などから体験を聞き、質問する場をもうける。（②③は年度による）

＜卒業論文・４年次＞

卒業論文の構想を作る。テーマの選定に関しては、参考資料を集めながら熟考してもらう。論文にならないテーマについては再考を促す。目次づくりと資料収集を並行してすすめる。分野によってどのような経路で論文執筆にたどり着くかを指導する。中間報告を一人数回行う。草稿をくりかえし添削する。

＜卒業論文例＞

卒業論文は、思想史・現代思想のほか、現代社会理論・現代文化論や社会問題（国内・国際双方を含む） をテーマとして取り上げてよい。地域や分野を限定しないが、「現代」「現在」の社会と触れ合うテーマであることを希望する。

◆　応募学生に対する希望

応募の時点では、「体験」より「観察」と「熟慮」を重視する。また、博識であることより、よく考えることが大切。自分の意見や態度を決定する前に、目の前の文章が本当は何を言おうとしているのかを、よく理解しようとすることも必要である。楽しいけどきつい、気がつけば一生懸命というゼミを目指している。ゼミ生同士信頼し合えるよき友人となることで、ゼミそのものにも活気とやる気が溢れてくる。しかしそのために必ずしも社交家でなくともよい。重要なのは違った個性に対する許容度と想像力の方である。ゼミは、異なった個性の人たちが共同性を生み出す実験の場となりうる。それは「大学時代」という特異な時期が可能にする貴重な経験となるはずだ。

ほかに学生たちに頼みたいのは、遅刻しないこと。欠席の場合必ず理由を届けること。

◆　成績評価方法

卒業論文：３年次の演習への貢献度、４年次の演習への貢献度、グループ報告への熱意。ゼミへの貢献度（発表、報告、ゼミ内での役割分担、発表などへの意欲）、卒業論文の完成度

外国書研究Ⅰ：演習への貢献度、報告、ゼミでの発言、積極性

外国書研究Ⅱ：演習への貢献度、報告、ゼミでの発言、積極性

研究分野…現代思想・現代政治理論

募集人数…20 名以内

試験方法…身上書に基づく面接（オンラインでの面接）

関連パッケージ… a 政治理論系、 b 国際政治系、 c 社会学系、 g 公行政系、 k ヨーロッパ文化系

関連科目…政治学説史、日本政治思想史、西洋政治史、国際関係

髙山　裕二　ゼミナール【政治理論史】

担当科目：政治思想史, 政治理論史

◆　ゼミナールの研究テーマ

〈公共〉の理論・思想を学びます。それをもとにゼミ生が研究テーマを自由に選び、各グループに分かれて調査を行います。これまで、公教育の役割（学力格差・ジェンダー教育）や地域コミュニティの持続可能性、メディアの公共的役割などを研究し、成果を発表してきました。

「外書」では海外の記事を読み、国際社会で起きている政治経済の問題を理解した上で、ディベートを行います。他大との合同ゼミや留学生の受け入れ、フィールドワークにも取り組んでいます。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

イギリスの週刊紙 The Economist から最新の記事を選び、グループに分かれて英語でプレゼンし、ディベートを実施する。米中関係（安全保障・貿易摩擦）からジェンダー(LGBT)まで、さまざまな話題をとりあげるが、今年度は環境問題（気候変動）の記事を中心に扱う予定である。

＜卒論・３年次＞

①プレゼミ（3 月）で、政治学や法学の入門書を読んだ上で、プロゼミでは公共の理論・思想（正義論やケア論等）の文献を扱い、時事的な政治・社会問題に関してディスカッションを行う。

②プレゼミ（3 月）後に、グループごとに取り組むテーマを決め、共同研究を行う。そして、夏合宿や合同ゼミでその成果をプレゼンする。その後、『政経セミナー』に掲載する。

③立教大学法学部の政治理論ゼミとお互いのキャンパスで交流し、ゼミでの学びを深める。他に、大阪大学法学部等のゼミとの合同合宿の企画も検討中である。

＜卒論・４年次＞

アカデミックな論文を読んで論文の書き方を学びながら、卒論作成に取り組む。

＜卒業論文例＞

政治経済社会の問題の背景にある論理を掘り下げるものであれば、テーマや方法は限定しない。

例：教育格差、ポピュリズム、夫婦同氏制の是非、友好都市の課題、ネット選挙、主権者教育……

◆　応募学生に対する希望

このゼミでは、主体的に意見が述べられること、協働のコミュニケーション、２つの力を身につけることをめざします。そうした意欲のある学生の応募を期待します。無断遅刻・欠席は厳禁！

◆　成績評価方法

卒論：ゼミへの参加、卒論の内容により総合的に評価

外書国書研究Ⅰ：平常点（発表の内容、ディスカッションへの参加）

外書国書研究Ⅱ：平常点（発表の内容、ディスカッションへの参加）

研究分野…政治理論・政治思想（特に近現代フランスとアメリカ）

募集人数…１０～１２名程度

試験方法…面接（ゼミ指定のＥＳを事前提出）

関連パッケージ…政治理論系、国際政治系、ヨーロッパ文化系、アメリカ文化系など

関連科目…特になし

小西　徳應　ゼミナール【日本政治史】

担当科目：日本政治史

◆　ゼミナールの研究テーマ

『世界のなかの日本政治』を歴史的に分析する。ここで日本政治が意味するものは、政治的事象だけではなく、社会、経済、文化、教育、環境など多岐におよぶ。つまり、日本国内で起こったさまざまな事柄が、国内要因だけでなく、世界の動きと密接な関係を持ってきたことを確認し分析する。合わせて、政治学の基礎知識を確認しながら、理論と国内外の事例などを比較しながら「現実」を学ぶ。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

イギリス、アメリカ、日本で出された英字新聞・雑誌などから、時事問題を中心とした記事や論文を選び、それらを教材とする。これによって語学勉強だけでなく、国によって異なるさまざまな事象が報じられていることを知るとともに、異なった視点やアプローチのし方、論理などがあることも学ぶ。

＜卒業論文・３年次・４年次＞

このゼミは３年生と４年生が合同で、２コマ連続しておこなうことに特徴の一つがある。発表をするのは３年生だけだが、３年生を４つの班に分け、うち２つを歴史班、残りを政治班とし、歴史、政治の班ごとに週代わりで発表する。なお歴史班と政治班は春学期・秋学期で入れ替わる。

歴史を学ぶことの意義の一つは現在を理解することにある。しかし多くのばあい、現在と過去を結びつける作業が十分におこなわれていない。めまぐるしく動く「現在」に眼を奪われてしまう、もしくは過去を分析することが煩雑であるからだ。ゼミでは「現在」を知り理解するためにも「過去」との対話をくり返しおこない、また 「世界のなかの日本」 を理解することで、ゼミ員一人ひとりが独自の歴史観と政治観、ひいては社会と人間を見る眼を養うことを目的とする。合わせて、社会事象を政治学のパースペクティブからアプローチすることで、歴史の政治学的分析をおこなう。

なお４年生も４班に分け、３年生の研究指導にマン・ツー・マンであたる。また３年生の発表時には、司会や質問をおこなうことで、円滑にゼミを運営するとともに、問題の所在を明確にする。

卒業論文は、３年次の終わりまでに各自が自分の関心事にひきつけてテーマを選び、４年次では数回に分けて中間発表をおこなう。これによって、理論構成と文章の完成度を高めることとする。

＜卒業論文例＞

学生個人の問題関心に基づくため、論文テーマは多岐に及ぶ。昨年度までの例としては、「あるべき医療政策を考える」「国民の司法参加のあり方」「マレー半島における複合社会の形成」「わが国における食品安全問題」「公務員制度改革」「日本型雇用システムにおける人材開発の優位性」「地方交付税制度と市町村合併」「芸術文化の公的支援」「諫早湾干拓事業からみる公共事業」「地方銀行論」「日本の難民政策の改善に向けて」「戦争・紛争時における犯罪と国際刑事裁判所」「新時代の保育サービス」 などがある。

※その他の活動

ゼミだけではより幅広い視野を持つことに限界があるため、他大学との交流を積極的におこなっている。このインターカレッジ活動では「ディベート大会」(年２回) や研究会などがある。人的ネットワークづくりにも役立つ。またゼミでは、「３分間スピーチ」「ミニ討論」などをとおして論理に加え、口頭による表現のし方も学ぶ。

◆　応募学生に対する希望

現状の自分に満足している学生は必要としない。社会を根底から理解しようとするもの、やる気・研究心がある学生を望む。通常のゼミ活動自体が他ゼミと比べて極めてハードであること以上に、ディベートの勉強に際しては想像以上に時間とエネルギーをさかなければならない。自己満足しているもの、中途半端な気持ちでいるものにはついてくることさえ難しい。その意味でもチャレンジ精神や「変革のこころざし」 にあふれる学生を望む。リーダーになることを目指す者には最適だと考えている。

◆　成績評価方法

卒業論文：演習への貢献度実績に基づき判断する
外国書研究Ⅰ：演習への貢献度実績に基づき判断する
外国書研究Ⅱ：演習への貢献度実績に基づき判断する

研究分野…近現代日本政治一般。特に足尾鉱毒事件、および三木武夫研究。

募集人数…10 名程度。

試験方法…面接。

関連パッケージ…指定はない。各自の問題関心にあわせて選択すること。

関連科目…指定はない。各自の問題関心にあわせて選択すること。

相原　耕作　ゼミナール【日本政治思想史】
担当科目：日本政治思想史、日本政治文化論

◆　ゼミナールの研究テーマ

日本政治思想史の諸問題

＜外国書研究＞

日本は、中国や西洋の先進的な文明を輸入し、「翻訳」し続けてきました。「翻訳」は困難な営みですが、翻訳語が日本語として定着した結果、外来語であることに無自覚になり、「翻訳」に伴う問題にも気づかなくなっています。そのような状況から脱出することを目指して、中国や日本の古典の英語訳、日本政治上の重要文書の英語訳、英語で書かれた日本政治思想史の研究書などを、参加者の英語力と問題関心に合わせて読んでゆきます。

＜卒業論文・３年次＞

最初に基本的な文献を読み、日本政治思想史のテーマや論点を大まかにつかみます。そのうえで、参加者の問題関心に沿って、研究書や原典を講読します。こうした活動を通じて、卒業論文のテーマ設定を行い、調査を進めます。また、レポートの執筆を通じて、論文執筆の作法を身につけます。

＜卒論論文・４年次＞

参加者の問題関心に沿って、研究書や原典の講読を行いつつ、卒業論文の作成を進めます。中間報告、中間レポートの作成を積み重ねながら、卒業論文を完成させます。

＜卒業論文例＞

８期生の卒業論文のテーマは、戦争と平和、日本の安全保障、特攻と責任、近代日本の女性運動、日本の男女格差、ギャル文化、スポーツとナショナリズム、日韓関係とメディア、戦時期日本の国民意識、天皇の神性、桜とナショナリズム、日本の食と礼、ChatGPT 、後藤新平、三島由紀夫。現在、卒業論文に取り組んでいる９期生のテーマは、近代日本の戦争、大正デモクラシー、日韓の言語文化、英語教育、宗教と政治、国民性と政治、スポーツと政治、経済と幸福、民衆運動、刀、長州藩の思想、杉浦重剛など。「政治思想」は間口が広いので、直接的には「政治」に関係ないことでも、「政治」と関連づけられれば、どんなテーマでも構いません。

◆　応募学生に対する希望

「異質な他者」を拒絶するのではなく、「異質な他者」との出会いを求めて下さい。

ゼミの活動に熱意と責任をもって取り組んでください。無断欠席は厳禁です。

卒業論文演習は３・４年合同・２コマ連続で行います。 負担が増えても単位は増えませんが、 異なる学年の学生が共に学ぶことに意義を感じて下さい。

◆　成績評価方法

卒業論文：演習への貢献度、報告・討論への参加、レポートなどと卒業論文の内容を総合的に評価。

外国書研究Ⅰ：演習への貢献度、報告・討論への参加などを総合的に評価。

外国書研究Ⅱ：演習への貢献度、報告・討論への参加などを総合的に評価。

研究分野…日本政治思想史、江戸時代の政治思想、言語研究と政治思想の関係

募集人数…10 名程度

試験方法…身上書に基づく面接

関連パッケージ…政治理論系、国際政治系、日本・アジア文化系。なるべく幅広く学んで下さい。

関連科目…日本政治思想史、日本政治文化論

川嶋　周一　ゼミナール【国際関係史】
担当科目：国際関係史

◆　ゼミナールの研究テーマ

国際関係史：国境を超えた歴史はいかに現代の国際社会を形作ってきたか

◆　研究内容

本ゼミナールでは、国際関係の歴史や現在の問題を学びながら、現代の国際社会における様々な問題を考えることを目的としている。担当教員の専門分野はヨーロッパの国際関係史であるが、研究の対象をヨーロッパに限定せず、グローバルな世界の歴史を取り上げて、現代の国際社会が抱える様々な問題がいかなる歴史的な経緯のなかから生まれてきたのかを学んでいくことで、そのような問題をどのように解決していけばよいのかについて、 各人のなかで考えを養っていきたい。

３年生の間は、基本的文献の輪読に加え、インカレ団体への参加や他大との合同ゼミなど、多く学びに時間が割かれる。ゼミが始まった当初は議論も上手く行かないが、一年も経つと皆活発に議論できるようになるものである。 ４年生の間は、 卒業論文執筆に向けての取り組みに充てられる。卒業論文は、この世の中の問題に対して、自分で何が大切なのかを見つけ、そしてなぜそれが大事なのか、自分はどう考えるのかを、自分自身の言葉で書くことを重視して指導する。

専門的なことを勉強するのも、他者と議論するのに、一人で知識を深めることも、すべては自分自身の精神世界を広げ、世界を見る解析度を挙げていく作業である。自分にすべてが返ってくるがゆえに、あまり硬くならず、楽しく、まじめに、そして大きな目標をもって進めていきたい。

＜外国書研究＞

各自が興味を持つ英語の論説記事（ただし、媒体はこちらで指定）を取り上げ、その内容を適切に読解しながら議論する。

＜卒業論文・３年次＞

国際関係の歴史を学ぶ際に欠かせない国際関係論の基本的な議論や、国際関係史の基本的な視座を学びながら、各人が関心を持つ国際社会上の問題について、書籍やウェブといった様々な媒体から情報を獲得しながら議論を組み立てていく訓練を行う。

ここ最近、春は３・４年合同のゼミ合宿を、夏にはそれぞれの学年に分かれて合宿を行っている。また、3 年生春学期の間に、約 3 か月間のインカレ勉強会（十大学合同セミナー）に参加し、3 年生秋学期には、慶応義塾大学・法政大学・東京大学法学部との合同ゼミを行っている。

＜卒業論文・４年次＞

卒業論文の作成のために、個別具体的な指導を行う。エピグラフを付ける、二万字以上、四章構成を卒論執筆の際の必要要件として定めている。

＜卒業論文例＞

「ヘンリー・A・キッシンジャー：理論と実践のはざまに」「大日本帝国と日本地政学：小牧實繁の思想と理論」「オランダのサスティナビリティ意識の定着」「ドイツと日本における緑の党の形成と定着」「冷戦期アメリカの第三世界に対する人口抑制政策の思惑と衰退」「ロック・ミュージックは政治を動かすのか」

過去のゼミ生の卒論タイトルは、ゼミの HP に掲載しているので、 そちらを参照して欲しい。卒業論文のテーマは、 ゼミ生が決めることである。教員の役割は、ゼミ生が選んだテーマをいかにして実証的に、論理的に、そして学問的にするかについてのアドバイスをすることに留まる。

◆　応募学生に対する希望

国際関係や現代史など、ゼミの研究内容に興味があること。無断で遅刻欠席しないこと。

◆　成績評価方法

卒業論文：卒業論文の論理構成、説明の妥当性・説得性、論述の質、テーゼのオリジナリティを元に総合的に判断する。
外国書研究Ⅰ：毎回のゼミナールでの発表を元にして評価する
外国書研究Ⅱ：外国書研究 Ⅰ と同じ。

研究分野…ヨーロッパ統合史、EU 論、国際関係史
募集人数…10 名程度
試験方法…自分が入室後研究したいテーマに沿った、国際関係、政治、近現代史に関する新書・文庫を一冊書評すること。この書評と身上書を元に面接を行う。詳しくはゼミの SNS やゼミガイダンス資料を参照のこと。
関連パッケージ…政治理論系　b. 国際政治系パッケージ、k. ヨーロッパ文化系パッケージ
関連科目…国際関係史、国際政治学、比較政治論等の a. および b の.政治学、国際関係論関係科目

水戸部　由枝　ゼミナール【西洋政治史】

担当科目：西洋政治史

◆　**研究テーマ**

ジェンダー・セクシュアリティと政治社会の関係性を探る

欧米（特にドイツ）と日本におけるジェンダー・セクシュアリティに関する思想や考え方の歴史的変遷を明らかにしながら、それらと政治社会との関係性について考察する。具体的には、1)恋愛、結婚、家族、出産・子育て、産児制限（避妊・妊娠中絶）、労働、性教育、生殖補助医療、LGBTQ⁺、性暴力などの事柄が公的に議論されるなか、性道徳はどのように形成され、男女関係のあり方や個人のセクシュアリティはどのように考えられてきたのか、また、2)これらの事柄に対して政治はどのように干渉・介入あるいは保護してきたのかを考える。さらに今後の課題についても検討したい。

研究テーマはゼミ生の要望に応じて決める。政治社会史に関するテーマであればジェンダー・セクシュアリティ以外でもよい。例)2023 年度テーマ「戦時性暴力の日独比較：男性から男性に対する性暴力の実態」、2024 年度テーマ「戦後日本の生殖をめぐる政治：近代家族から新たな家族へ」

◆　**研究内容**

＜①外国書研究・原典研究（３年次）／②卒業論文（３年次）＞

毎回 5-6 人の各担当者が、① 30 行程度の英文（論文・記事）を全訳し、訳文を確認したのち、内容について議論する、② 日本語文献に関する概要・意見・問題提起などをレジュメにまとめ報告する。成果は「ゼミナール発表会」と『政経セミナー』で発表する。2024 年度の主要文献は下記の通りである。

・Virginie Rozée, Sayeed Unisa (eds.) (2016), Assisted Reproductive Technologies in the Global South and North, Routledge 2016; Anne-Kristin Kuhnt et al. (2022), Families formed through assisted reproductive technology, in Elsevier: Reproductive Biomedicine & Society Online.（外国書研究・原典研究）

・柘植あづみ（2022）『生殖技術と親になる事：不妊治療と出生前検査がもたらす葛藤』みすず書房

・柘植あづみ（2012）『生殖技術：不妊治療と再生産医療は社会に何をもたらすか』みすず書房

＜卒業論文（４年次）＞

資料収集の方法、資史料の読み方、論文の書き方を指導する。毎週 2-3 人が中間報告を行い、その内容について全員がコメントする。卒業論文テーマは政治・社会・文化・ジェンダー・セクシュアリティに関連していれば自由とする。これまでの主な卒業論文のテーマは下記の通りである。

・世界：ナチズム（メディア戦略・戦後補償）、インテリジェンス、人種・民族問題、移民／外国人労働者、多文化共生、デモクラシー、リベラリズム、ナショナリズム、ポピュリズム、テロリズム、サッカー（民族・人種問題、地域活性化）

・日本：米軍基地、日本海軍、学生運動、若者・消費文化、絵画、戦争と映画、暴力団、教育格差、貧困、ヤングケアラー、小児医療、生命倫理、いじめ、高齢者の労働活用、地方・住民自治、e スポーツ、「進撃の巨人」、AI、デジタル技術

・ジェンダー：LGBTQ、異性装、性表現、結婚、母性論、産児制限、生殖医療、風俗産業、性教育、男性の育児、スポーツの男女格差、痩身、男女共同参画、女性音楽家、ディズニー映画、宝塚歌劇団

※9 月開催の 3・4 年生合同合宿の際に、3 年生はゼミナール発表会、4 年生は卒論の内容を発表する。

◆　**応募学生に対する要望**

無断で遅刻・欠席をしないこと。レジュメや訳文は毎回事前に Oh-o! Meiji 上で公開するので、授業日までに各自予習をし、質問や意見を用意してくること。**好奇心が強く、試行錯誤しながら広く柔軟に物事を考える人、ひとの意見をしっかり聞き、自分の意見を積極的に述べる議論好きな人を希望する。**

◆　**成績評価の方法**

①外国書研究／原典研究：授業への取り組み状況（報告・発言・出席）40%、訳文の正確さ 60%

②卒業論文（３年次）：授業への取り組み状況 40%（報告・発言・出席）、レジュメ・報告の内容 60%

③卒業論文（４年次）：授業への取り組み状況 40%（報告・発言・出席）、レジュメ・卒業論文の内容 60%

研究分野…ドイツ近現代史（政治、社会、ジェンダー、セクシュアリティ）

募集人員…12 名程度

試験方法…面接（指定の身上書を事前に提出すること）

鍾　家新　ゼミナール【社会学】

担当科目：社会学、社会福祉政策

◆　ゼミナールの研究テーマ

「福祉医療」「老死孤独」「排除差別」「貧困格差」にかんする国際比較

◆　研究内容

個人化とグローバル化のなかで、年金・福祉、健康・疾病・障害、生殖テクノロジー、老い・死、自殺、孤立・孤独、障害者・同性愛者・外国人などにたいする差別・社会的排除、貧困、ホームレス、野宿者、階層・格差・不平等の再生産などの社会問題がある。これらの問題は急激な社会変動の産物であり、現代社会の本質と人間の生きる希望と苦悩を凝縮している。本ゼミナールでは社会学的なアプローチから、これらの問題の現状を実証的に分析し、より生きやすい社会に改造するためのアイデアや方策を考案する。本ゼミナールの主な特徴の一つは日本だけではなく、中国・東アジアなども含む、国際的な視野のなかで比較研究するところにある。本ゼミナールの探究はゼミ生の今後の人生設計や生き力の向上に役立つ。

＜外国書研究＞

Lewis A.Coser, *Masters of Sociological Thought* から抜粋した、現代社会学の基礎になっている代表的な社会学思想家の基本概念・主な考え方に関する内容を精読する。外国書研究によって、英語の文献に慣れ、現代社会の分析と人間認識に役立つ社会学的思考法の真髄を習得する。

＜卒業論文・３年次＞

(a)卒業論文を書くための必要な知識と分析技法の習得。教員が指定した教科書をグループで分担して発表し、全員で質疑を行い討論する。

(b)調査研究を中心とする共同研究の発表。「福祉医療」「老死孤独」「排除差別」「貧困格差」などの社会問題にかんする関心の違いから、異なるグループを作る。各グループは共同に研究したいテーマを設定し、社会調査あるいは文献研究によって研究し、発表する。聴き取り調査など、社会調査できるテーマは社会調査を行う。共同論文として『政経セミナー』に提出し、「学部ゼミナール発表会」や「オーペンゼミ」で発表する。たとえば、以下のようなテーマである。

「地域福祉と住民参加」「家族・地域の変化と高齢者の孤独問題」「ジエンダーの視点からみる介護問題」「民生委員が語った町内会の実態」「地方へ移住した家族と孤立」「生活保護からみる母子家庭の貧困」「介護分野における外国人労働者の受け入れの実態」「東日本大震災における遺族と死の受容」「日本社会における無縁死」「日本人の自殺と死生観」「日本における安楽死と尊厳死の現状」「現代人の身体観と摂食障害」「代理母などの生殖にかんする医療技術と生命倫理」「終末医療における自己決定」「健康と教育格差」「非正規労働者の増加と格差社会」「階層と健康・寿命の格差」「地方の教育・医療の格差」「ホームレスに関する施策」「戦争と中国残留孤児問題」「同性愛者に対する差別とその背景」「日本型社会的排除の実態」「病気遺児家庭の生活と貧困」「中国の＜社区＞福祉」「中国社会における都市部と農村部の格差」　など。

(c)外国からの教授の講演を聴く（年度による）。３年次では、各自の問題関心と課題を発見する能力とゼミ生自身の資料収集の能力、プレゼンテーションの能力の向上を目的とする。

＜卒業論文・４年次＞

４年次の 4～10 月、ゼミ生は卒業論文を執筆し、発表する。11～12 月、教員からの卒業論文にかんする個別指導をうける。

＜卒業論文例＞

「若者の年金不安と年金観」「超高齢化社会における高齢者の ICT 技術との関わり方」「老老介護の実態と課題――老人のインタビューを事例として」「日本社会の無縁死の現状」「日本人の自殺と日本文化」「母子家庭の貧困と対策」「カンボジアの貧困と児童労働」「家族の格差と子どもの学歴への影響」「日本における外国人労働者の実態」「結婚観への家族階層の影響について」「終末医療における自己決定」「東日本大震災からみる家族・近隣」「地域間での医療格差に関する調査」「ニートとフリーターの生活と福祉問題」「同性愛者がどう差別を感じたか」「日本における社会的排除の諸形態」「中国の＜社区＞と地域福祉」「東日本大震災における遺族と死の受容」。

◆　応募学生に対する希望

知的好奇心と学習の意欲をもつ学生と東アジアなど海外の社会問題を研究したい学生を歓迎する。明るく笑い声が響く知的なゼミナールを一緒に創りましょう。

◆　成績評価方法

卒業論文：３年次の演習への貢献度、４年次の演習への貢献度、ゼミでの発表・発言、提出された卒業論文の完成度による総合評価
外国書研究Ⅰ：演習への貢献度、ゼミでの発表・テストによる総合評価
外国書研究Ⅱ：演習への貢献度、ゼミでの発表・テストによる総合評価

研究分野…社会学、社会福祉政策、日本型福祉国家研究、日中比較社会学
募集人数…10 名程度
試験方法…身上書（ゼミ独自の様式）と面接
関連バッケージ…c.社会学系、g.公行政系、h.地域コミュニティ系
関連科目…社会学、社会福祉政策論、コミュニティ福祉論

加藤　彰彦　ゼミナール【比較社会学】

担当科目：比較社会学

◆　ゼミナールの研究テーマ

家族・人口・コミュニティの比較研究、および人口減少社会のデザイン（地方創生×人口政策）

◆　研究内容

＜外国書研究・原典研究＞

ゼミナールの研究テーマに関する専門書を読み知識を吸収しながら、本年度の現地調査（フィールドワーク）の具体的な研究課題を設定する。

＜卒業論文・３年次＞

全国のさまざまな地域から数カ所を選んで、現地調査の計画をたて、フィールドワークを行う。研究は班に分かれて行い、各班につき１本の共同論文を書き上げる。全体を総合して『政経セミナー』に投稿し、ゼミナール発表会にも参加する。卒業論文執筆のための方法と技能を習得すると同時に、広く世間を体験して、就職活動はもちろん、卒業後に社会人として必要なコミュニケーション力とプレゼン力を身につけることが目的である。近年の研究テーマは「『社会による子育て』とは何か」「観光による地方創生」「ローカル・インダストリーの比較社会学」「自然と文化からみる地方創生」「地方創生のための公共インフラ」「まちづくり×ひとづくり―地域の持続可能性を高める」など。調査地は「長野・栃木・宮崎」「岡山と宮城」「三重と群馬」「全国 11 県」「北陸３県」「東北４県」など。

＜卒業論文・４年次＞

卒業論文を執筆する。研究のステップ――(1)問いの設定、(2)文献研究、(3)仮説の構成、(4)資料収集・調査・分析、(5)草稿の執筆と検討――に応じて、報告と討論を行いながら進めていく。

＜卒業論文例＞

「平成生まれの就職･恋愛･結婚」「出産の過去･現在･未来」「親権法の国際比較」「家族政策･人口政策の歴史」「日本の食文化の歴史と地域性」「地域社会における互助組織の再生」「公民連携地方創生の可能性」「LRT による交通まちづくり」「再生可能エネルギーによる地方創生」「東日本大震災と復興」「これからの減災対策」「原子力に揺れる町・上関」「地方銀行の挑戦」「漁師という職業」「地域史と家族史」「北海道に受け継がれた思想」「アイヌ文化の伝承」「東北地方の歴史と未来」「東京一極集中と地方社会の持続可能性」「九州のこれから」「日本型多文化共生社会の実現」「近代世界システムとナショナリズム」「飢餓と食品ロス」「イスラームとキリスト教」「西欧と日本の自然観」「スペインの地域性」「フィンランドの子育てと教育」「スウェーデンのソフトパワー」

◆　応募学生に対する希望

グローバル志向の人、ローカル志向の人、いずれも歓迎です。国際交流を行うためには、母国の社会･文化･歴史に関する知識･見識と、これらについて語る力が不可欠です。国内派の人は日本の社会･文化の多様性と地域性を学びましょう。留学希望者も地方出身者も歓迎します。グローカルなゼミの創生が目標です。

◆　成績評価方法

卒業論文：卒業論文内容、ゼミ活動への参加、発表内容、討論への貢献度による総合評価

外国書研究・原典研究Ⅰ・Ⅱ：ゼミ活動への参加、発表内容、討論への貢献度による総合評価

研究分野…比較社会学・家族人口学（家族・人口・社会構造の地理的・歴史的比較研究）
募集人数…10 名程度
試験方法…提出課題と面接
関連パッケージ…とくに指定しない。各自の問題関心に応じて選択すること。
関連科目…社会学系、国際系、地域系、政策系の科目

樋口　収　ゼミナール【社会心理学】

担当科目：現代社会心理学、心理学概論

◆　ゼミナールの研究テーマ

判断や行動の心理学的基盤に関する研究

◆　研究内容

＜外国書研究・原典研究＞

社会心理学の専門書あるいは英文学術誌を輪読する。まずは von Hippel et al.（2020）Evolutionaryfoundations of social psychology, *Handbook of Basic Principles (3rd Edition)*から読み始め、その中で引用されている論文の中で関心をもった論文を読み進める予定である。

＜卒業論文・３年次＞

３年次春学期には、教員が選定した論文をもとにグループごとに実験研究を実施する。春学期の最後に実験研究の成果をまとめて発表し、さらにそれを論文形式 （5000 字程度）でまとめる。３年の秋学期は卒業論文に向けて、関心をもった領域の文献を読み進める。

＜卒業論文・４年次＞

各自が関心のある論文を選定し、それにもとづき実験（あるいは調査）を行い、実験 （調査） 論文としてまとめる。あるいは、関心をもった領域の論文をまとめ、レビュー論文としてまとめる（熱意ある者は、心理学の学術論文投稿まで指導する）。

＜卒業論文例＞

(1)自己肯定化が脅威情報に対する反応に及ぼす影響、(2) ワーキングメモリとスポーツにおける能力との関連性、(3) 進化心理学の視点から解く異性間の恋愛に対する考え方の違い、(4) なぜアイドルオタクは辞められないのか、(5) コストリーシグナリングの観点から検討した手紙の価値、等々。

◆　応募学生に対する希望

このゼミナールでは社会心理学的実験・調査を行い、人の心の働きを明らかにしていく。人や社会に対して関心がある学生、ゼミナールを通じて自分を成長させたいという熱意のある学生、素直な学生を希望する。

◆　成績評価方法

卒業論文：卒業論文への取り組み（発表等）40%、卒業論文の評価 60%

外国書研究・原典研究Ⅰ：授業での発表および貢献度 100%

外国書研究・原典研究Ⅱ：授業での発表および貢献度 100%

研究分野…判断や行動におけるバイアス、対人関係心理学、心の進化的基盤

募集人数…10 名程度

試験方法…身上書、面接（状況によっては Zoom による面接をおこなう）

関連パッケージ…c 社会学系

関連科目…現代社会心理学、消費心理学、産業心理学、社会調査法

水野　剛也　ゼミナール【ジャーナリズム論】
担当科目：ジャーナリズム論

◆　ゼミナールの研究テーマ

目標は２つある。第１は、ジャーナリズム、つまりマス・メディアがになう多くの役割のなかで、とくにニュースの報道や時事問題についての解説や論説に焦点をしぼり、その特質や問題点を総合的に論じること、第２は、最高学府における就学の総決算として、最終的に受講者すべてが学術的に意義のある「卒業論文」を執筆すること、である。

なお、本教員が指導できる分野は、ジャーナリズムに関わる諸問題（とくに歴史）である。アンケート調査や統計などを使った量的な研究は指導できないことを断っておく。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

３年次（とくに春学期）ではジャーナリズムに関する特定の題材を設定し、ひたすらディスカッションをくり返すが、その準備のため多くの文献（英文を含む）を精読する。

＜卒業論文・３年次＞

春学期では建設的な討論（ディスカッション）をくり返す。建設的な討論とは、共通の問題に対して受講者がお互いの意見を交換しあい、個人的に、また全体としてより深い問題解決・理解を目ざす共同作業を意味する。具体的には、ジャーナリズムに関する特定の題材を設定し、グループあるいは個人間でその内容についてひたすらディスカッションをくり返す。

秋学期では、当初はディスカッションをおこない、中盤以降から、卒業論文執筆への実質的な準備をはじめる。研究テーマの選び方、論文の構成、アウトラインの作り方、論述の方法、文献・資料の集め方、注釈・文献一覧の作り方など、学術的な論文を書くために最低限必要な手順・方法・規範などを身につける。その上で各自が専門書籍（テキストやブックレットは不可）を最低５冊読み、仮の研究計画書を作成し、発表する。

＜卒業論文・４年次＞

春学期では、早めにトピックを選定し、関連する文献や資料をできるだけ多く集め、それらを読み、論文全体の骨格を示したアウトラインを作成するまでを最低限の目標とする。

秋学期では、引きつづき文献や資料を精読しつつ、論文を完成に近づけてゆく。何回も経過を発表し、お互いに評価しあい、書き直す。この作業をひたすら何度もくり返す。

＜卒業論文例＞

「酒類広告の形成とその規制」、「高齢者の交通事故と朝日新聞の報道の変化」、「東京五輪が与えた新型コロナウィルスの新聞報道への影響」、「阪神・淡路大震災と東日本大震災発災から 10 年間の災害報道 全国三大紙の報道の量的・質的分析」など。

◆　応募学生に対する希望

最終目標である卒業論文の執筆は決して簡単な作業ではなく、多大な努力が長期間にわたり要求される。フルマラソンを走るようなもので、「数日徹夜すれば書ける」「どうにかなるだろう」などといった理由で受講すると、深く後悔することになる。少なくとも丸２年間は頻繁に顔をあわせることを含め、くれぐれも慎重に考えた上で応募すること。

◆　成績評価方法

卒業論文、外国書・原典研究Ⅰ、外国書・原典研究ⅠⅠいずれについても、日常的な継続的努力とその成果を重視する。欠席は大きな失点となるが、かといって単に出席しただけで単位は取得できない。自発的かつ積極的な取り組みが評価を大きく左右する。なお、とくに３年次後半以降は就職活動と重なる場合が多いが、卒業後の人生と在学中の演習とはまったく無関係であり、評価においては考慮しない。

研究分野…ジャーナリズム論
募集人数…10 名程度
試験方法…「身上書」により選抜するが、任意で１点に限り追加的に書面を提出してもよい（内容・書式・分量などは各人による）。応募者が募集人員を超えなくても、内容により落選する場合がある。なお、下記の関連科目、とくにジャーナリズム論を履修していることが望ましい。
関連パッケージ…c　社会学系、j　日本・アジア文化系、l　日本・アジア文化系
関連科目…ジャーナリズム論、マスメディア論、メディアコミュニケーション論、メディアと世論

髙橋　聡　ゼミナール【経済原論】

担当科目：経済原論、教養演習

◆　ゼミナールの研究テーマ　日本型企業社会とこれからの働き方/休み方

現在わが国は人口の大減少期に突入し、労働力の再生産と社会の持続が困難になりつつあります。この事態の一因として、企業・税・社会保障制度が前提する性別役割分業(「男性稼ぎ主モデル」)が考えられます。急激な高齢化、共稼ぎ世帯と男性育休取得率の急増からも予想できるとおり、今の大学生は、ワーク(賃労働)とライフ(ケアと自由時間)のバランスという難題に男も女も今後必ず向き合うはずです。そこで本ゼミでは、ジェンダーの視座から働き方と休み方の現在とこれからを論じます。ジェンダーというと男対女の二項対立思考にとかく陥りがちです。しかし本ゼミでは、企業や家庭で男も女も感じる縛りや生きづらさの根拠を問い、今より自由で、今よりましな生き方を語りあう場にする予定です。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

授業前半は、論文作成で利用可能な OECD のデータ解説を読みます。後半は、学生に考えてもらって英語を使ったゲーム、プレゼンやスピーチ(日本語)のエクササイズをおこなっています。

＜卒業論文・３年次＞

具体的テーマから日本型 WLB の企業・家族・政府間のリンクを検討します。以下 25 年度のテーマ例

(1)働き方(賃労働・ケア）と時間創出政策

(2)グローバル企業の働き方とケアの担い手(家族[=女性]、地域、行政、企業、NPO ?)

(3)新しい消費行動とライフスタイル（シェアエコノミー、イミ消費、エシカル消費、生活の芸術化）

ゼミ試直後から懇親をかねたプレゼミを月 1、2 回行い、4 月以降はテキスト報告→関連文献リサーチ→ディスカッションのサイクルをグループで回します。6 月より共同論文を始め、夏休みはミーティングと合宿で進捗を確認するのが恒例。また任意のサブゼミとして教養・文化の公共空間（Public Space）づくりの遊び：週末読書(映画)会、同人誌(ZINE)発行、シェア型書店での書籍販売、歴史散策など(@K_quartierlatin)。

＜卒論論文・４年次＞

自分がこれからどのような社会を生きていくのか？いかなる社会が望ましいか？を考えてテーマを決め、定期報告を行います。合同自習時間や専門書読解トレーニング(任意)なども取り入れて卒論を完成させます。

＜卒業論文例＞

(1)労働：WLB、共働き、女性のキャリア形成、非正規労働、外国人労働者 (2)金融：環境金融、地域通貨 (3)教育・福祉：教育格差、ケアと社会的企業、住宅保障 (4)文化経済：芸術とまちづくり

◆　応募学生に対する希望

せっかく大学に入ったのだから、遊び友達だけでなく知的交流のできる人間関係もつくって卒業してほしいと願っています。本ゼミに関心を持った方は次の 3 点を検討して下さい。(1)研究時間の確保➡テキスト輪読、文献リサーチ、ブックレビューを行います。(2)グループワーク➡現在ゼミで行っている学びの手法はいずれも学生の提案から始めたもの。学生主導でゼミを動かしているので、マネジメントに協力的で語り(＝支え)合いを楽しめる人向き。(3)研究レベル➡note(下のゼミ紹介 QR コードからアクセス）と『政経セミナー』掲載論文で確認を。

◆　成績評価方法

卒業論文：出席、報告、論文（完成に至るプロセスも評価対象）　外国書研究Ⅰ Ⅱ：出席、報告

研究分野…資本主義経済の研究

募集人数…8 名　＊政治学科、地域行政学科の学生も在籍しています。

試験方法…1.身上書 2.課題(推し本紹介)3.面接　＊詳細はゼミ note で告知

関連パッケージ…e,f

関連科目…労働経済学、財政政策、租税論、社会保障論、コミュニティ福祉論

武田　巧　ゼミナール【応用マクロ・ミクロ経済学】
担当科目：マクロ経済学、ミクロ経済学

◆　ゼミナールの研究テーマ

グローバル化が進展するなかで、国内外経済が現在直面する諸問題について理論面から考察・解明する。

◆　研究内容

本ゼミナールでは、今日の国内外経済が抱えている諸課題のうち、マクロ経済的問題、ミクロ経済的問題、経済制度に関わる問題の計４テーマを選択し、各テーマについて、リサーチ⇒報告⇒討論⇒レポート⇒ディスカッションといった順序で理論的に考察していく。今まで取り扱ってきたテーマは「日本は財政健全化に舵を切れ」「日本銀行は量的引締めに舵を切れ」「日本は二酸化炭素の排出量取引を導入せよ」「終身雇用と訣別せよ」 等で、最終的には英語で討論している。

＜外国書研究＞

各テーマに関する主要文献や *Wall Street Journal, Financial Times* などの最新記事を選択し、配布、講読、議論する。加えて、上記経済紙などを用いて、各自が主要記事を毎週要約し配信することも義務付けている。尚、本ゼミには多数の交換留学生が在籍するため、最低限、外国書研究の時間は使用言語を英語としている。その他、TOEIC 受験を課している。目標は最低 800 点。

＜卒業論文・３年次＞

上記過程に加えて、『日本経済新聞』の読解と「マクロ経済学」「ミクロ経済学」 の理解を深めることを通して、グローバル化が進展するなかで国内外経済が今日抱える諸問題への理解を深め、かつ報告や討論の仕方、レポート作成術を学ぶ。経済学の知識を高めるべく、経済学検定試験（ERE）の受験も奨励している。目標は最低 A。

＜卒業論文・４年次＞

卒業論文完成に向けて、研究テーマ発表、中間報告、討論、個別指導を行う。

＜卒業論文例＞

「日本の新陳代謝機能を取り戻せ―外資誘致策による日本経済の活性化―」
「少子・高齢化への対策―人口減少社会への適応―」
「現代貨幣論にみる財政規律の再考」
「温暖化解決に向けて」
「女性が働きにくい国、日本―仕事と子育てが両立できる社会とは―」 等

◆　応募学生に対する希望

幅広く経済に関心を持ち、ゼミ活動に積極的に取り組む意思と熱意のある学生を求めている。ゼミ HP は下記の通り。
https://sites.google.com/site/takedasemi/
右は LINE アカウントの QR コード。
志望者は本ゼミ HP から所定の「身上書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、指定された要領にて提出すること。

◆　成績評価方法

卒業論文：卒業論文および演習への貢献度、課題発表、提出レポートをはじめとする総合評価
外国書研究Ⅰ：演習への貢献度、課題発表をはじめとする総合評価
外国書研究Ⅱ：演習への貢献度、課題発表をはじめとする総合評価

研究分野…多様な経済システム間の比較制度分析とグローバル化の中での今後のあるべき日本経済システム
募集人数…12 名程度
試験方法…対面による筆記試験（マクロ、ミクロ、時事問題）と面接を予定。英語は TOEIC ないし TOEFL の点数をもって代替する。面接を特に重視する。
学科指定…なし。ただし「マクロ経済学」「ミクロ経済学」を履修済であることが望ましい。
関連パッケージ…ｄ　国際経済系、ｅ　財政・金融系、ｆ　総合経済政策系
関連科目…経済政策原理、近代経済学、国際経済学、開発経済学、国際経済政策、国際金融論、現代日本経済論、

平口　良司　ゼミナール【経済成長論】
担当科目：ミクロ経済学、マクロ経済学

◆　ゼミナールの研究テーマ

来年度の本ゼミナールのテーマは「経済成長と格差」です。日本にはいま、所得格差、資産格差、世代間格差など、様々な格差があり、日本経済に大きな影響を与えています。政府は様々な政策を通してこの問題に対処していますが、まだ十分とは言えない状況です。ゼミのメンバー同士で調査・発表・討論などをしながら、日本の社会が包摂的(inclusive)に成長・発展していくため、経済格差の問題に対しどう向き合うべきかについて考えていきます。

◆　研究内容

＜外国書研究・原典研究＞

経済成長と格差に関する基礎的な英語文献を輪読します。輪読文献は、David Weil 著 ”Economic Growth” (Routledge) は雑誌 Economist の記事("Globalisation may not have increased income inequality, after all " [2024 年 3 月]など）です。

＜卒業論文・３年次＞

まず新聞・雑誌記事の調査などを通して日本経済の実情の把握に努めます。同時に経済成長と格差に関する基本書・研究書を輪読し、その内容に関する発表、問題演習、ディスカッションを通して理解を深めます。今年度は統一成長理論というのを学ぶ予定です。その後様々な格差の問題を経済学的知見に基づき分析します。その中で卒業論文テーマ選定の方法などについての助言を行います。

輪読予定文献

1. オデッド・ガロー著　(2022)「格差の起源」NHK 出版
2. みずほ総合研究所編（2017)「データブック　格差で読む日本経済」岩波書店

＜卒業論文・４年次＞

ゼミ生の関心に基づいてテーマを設定し卒業論文の完成をめざします。ゼミにおいては、定期的にスライドなどを用いた進捗状況の報告が求められます。

＜卒業論文例＞

「経済成長と労使関係」「オタクの経済分析」「ジョン・スチュアート・ミルの経済思想」など

◆　応募学生に対する希望

勉強に熱意のある学生を希望します。

◆　成績評価方法

卒業論文：演習への積極的な参加や提出論文に基づく総合評価
外国書研究・原典研究Ⅰ：平常点とレポートに基づく総合評価
外国書研究・原典研究Ⅱ：平常点とレポートに基づく総合評価

研究分野…日本経済論と経済成長論についての分析
募集人数…10 名程度
試験方法…身上書に基づく面接（共通フォーマットの身上書を提出してください）
関連パッケージ… e　財政・金融系パッケージ　 f　総合経済政策系パッケージ
関連科目…近代経済学・経済統計学・経済変動論

八木　尚志　ゼミナール【理論経済学】

担当科目：近代経済学、ミクロ経済学、マクロ経済学

◆　ゼミナールの研究テーマ

理論経済学、経済システム分析

◆　研究内容

＜外国書研究＞

専門演習（外国書研究Ⅰ，Ⅱ）では、経済学や金融の論文・テキスト、世界経済レポートなどを用いています。受講生の英語力・経済学の学力を見て、授業の進度を調整する予定です。

＜卒業論文・３年次＞

３年次専門演習（卒業論文）では、西村和雄著『ミクロ経済学入門』岩波書店、の輪読を行います。マクロのテーマについては、西村・八木『経済学ベーシックゼミナール』、西村・友田『経済学ゼミナール・上級編』（実務教育出版）を利用します。３年の夏合宿で卒業論文作成に向けたテーマの発表、冬合宿で卒業論文のテーマの確定、１月末の研究発表会で発表を行います。またゼミナール発表会での報告、『政経セミナー』の共同論文作成などに取り組んでいただきます。ゼミナール発表会と『政経セミナー』の研究内容は産業連関表を用いた産業連関分析での共同研究を継続しています。そのほか、国内・海外からの研究者を集めた国際会議を毎年９月に実施していますが、その会議に参加していただきます。

＜卒業論文・４年次＞

卒業論文の研究課題について指導します。卒業論文のテーマの選択は自由ですが、参考として

1)　理論経済学の個別のテーマ「経済成長」「インフレーション」「為替レートの理論」「課税の理論」「消費者行動理論」など著書・論文を選んで進める研究テーマ

2)　経済学者、たとえばケインズ、シュンペーター、マーシャル、ワルラス、サミュエルソン、スミス、リカードウ、フィッシャー、など特定の経済学者を取り上げて研究するテーマ、

3)　産業連関分析の理論と実証：国、都道府県の産業連関表あるいは国際産業連関表を用いた研究テーマ

などのテーマが過去の多くの卒業論文の例です。途上国の経済や教育の経済学などのテーマもありました。

テーマの絞り込みについては、３年夏ごろからゼミ生の関心を聞いてアドバイスをします。４年では卒業論文に関する研究発表をゼミの時間に行っていただき、報告に基づいて卒業論文の作成や改善をしていきます。

◆　応募学生に対する希望

毎週のゼミ及び合宿、『政経セミナー』の共同論文作成、９月国際会議運営に必ず参加してください。卒業論文の作成やゼミでの勉強に積極的に取り組んでいただきます。

◆　成績評価方法

卒業論文：１）演習での貢献度、２）合宿での発表、３）研究報告会報告・卒業論文、等の総合評価。

外国書研究Ⅰ、Ⅱ：１）演習への貢献度（50%以上)、２）期末試験、の総合評価

研究分野…理論経済学・経済システム分析

募集人数…８名程度

試験方法…面接、身上書を提出していただきます。

関連パッケージ…経済・経済政策総合コースのパッケージで以下のような優先順序を考えています。

e 財政・金融系、d 国際経済系、f 総合経済政策系

小林　和司　ゼミナール【計量経済学】

担当科目：計量経済学

◆　ゼミナールの研究テーマ

データによる経済分析や経済予測について学ぶ。

◆　研究内容

３年次においては、 計量経済学のテキストを輪読し知識を深めたのちに、 グループに分かれて興味のある話題を選んで共同論文を作成する。 外国書研究のためのテキストは、 ゼミ員の興味、 関心に合わせたものを用意する予定である。

具体的には、 テキスト内容や関連論文の内容や必要な予備知識についてレポートを作成し発表した後にコメントを受けて書き直す作業を通じて論文を書くとはどういうことかを学ぶ。

４年次においては、 各自がテーマを見つけ卒業論文を書くことが中心の課題である。 授業はそのための手助けになるように組まれる。

具体的には、 ３年次における経験をもとに、 論文を書くために必要な課題に答えるレポートを作成したのちに、 下書きを作成、 修正し、 提出ならびに口頭発表を行う。

＜卒業論文例＞

「ＣＤ売り上げチャートから見る国内音楽業界衰退の原因とその打開策」

「医療は効率化をはかれるか」

「気候変動の費用便益分析」

◆　応募学生に対する希望

ゼミで卒業論文を書くということは、 学問を作る作業を体験するということである。 学問の最小構成単位が論文であり、 論文とは、 問・答・アイデア・註といった構成要素をできるだけ高いレベルでまとめた文章である。 しかしながら、 「できるだけ高いレベル」 を客観的な数値などで表現することは困難であり、 提出レポートに対するコメントを通じてレポートを書き直してもらうことによって伝えていくことになる。

したがって、 当ゼミではレポート課題に対して、 教室以外の場所で授業以外の時間にレポートを作成し、授業で発表し、 その後書き直すということが本質的に重要である。

◆　成績評価方法

卒業論文：３年次の教科書論読と共同論文作成、 および４年次の論文作成について、 達成度と取り組む姿勢を評価する

外国書研究：専門用語の理解と取り組む姿勢を評価する

研究分野…計量経済学における分析方法

募集人数…10 名程度

試験方法…筆記試験および面接による。

関連パッケージ…ｄ 国際経済系、 ｅ 財政・金融系、 ｆ 総合経済政策系

関連科目…応用数量分析

大森　正之　ゼミナール【環境経済学】

担当科目：環境経済学

◆　ゼミナールの研究テーマ

環境経済と環境政策が３・４年の共通テーマです。

ゼミナールの共同研究テーマは３年生全員が担当教員と協議して決定する予定です。

担当者の腹案を例示すれば、「環境にやさしい総合商社は儲かるか」、「環境補助金は環境問題の解決に役立っているか」など。入ゼミ希望者はそれぞれ各自の研究テーマ案を持って参加することが求められます。本年度の個別テーマは、①「日本企業のＲＥ100 達成可能性を精査する」 ②「耕作放棄地の持続可能な再利用策」 ③「再エネ普及策の地域的最適性を検討する」です。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

環境経済に関する英文文献の輪読か上記テーマに関する英文文献のグループごとの輪読。

＜卒業論文・３年次＞

上記の三つのテーマで共同研究（４－12 月）

法政大学経済学部松波淳也教授のゼミナール他との研究発表会（12 月）、この間、環境装置の展示会、環境関連の企業（工場）訪問、日本経済新聞社主催のエコプロダクツ展に参加。

＜卒業論文・４年次＞

４年次は各自のテーマでの卒業論文準備状況の報告。

＜卒業論文例＞

卒業論文の例は当ゼミのホームページを参照してください。

◆　応募学生に対する希望

妥当な理由のない授業や夏季研究合宿の欠席は認めていません。体育会員でもダブルスクールの学生でも欠席せず、他のゼミ員に妨害的でなければ歓迎します。共同研究が中心なのでリーダーシップと各自の責任感・協調性が強く求められます。環境問題だけでなく広く社会問題全般に強い関心があることが「ゼミ持続」の条件です。ゼミ生と共に行っている都市養蜂プロジェクトに協力して下さい。

◆ その他

問い合わせについて。ゼミ活動の詳細および担当者に関するより詳細な情報が必要ならば、下記の研究室直通電話（03-3296-2138）メールアドレス omori@meiji.ac.jp）に問い合わせて下さい。

◆　成績評価方法

卒業論文：論文作成までの努力と最終提出論文の内容とで評価します。

外国書研究Ⅰ：毎週の予習と授業時の発言、授業後のレポートで評価します。

外国書研究Ⅱ：毎週の予習と授業時の発言、授業後のレポートで評価します。

研究分野…環境経済理論、環境経済史、環境経済政策

募集人数…12 名前後

試験方法…試験前日に身上書（氏名、連絡先、出身高校、志望動機、希望進路、３年次の共同研究テーマ案、１・２年次のゼミ・演習での成果、環境経済学に関して読んだ文献リスト、自己アピールを記入した Ａ４用紙２枚程度）を作成の上、各上記メールアドレスに添付してください。試験時間中に「大学に入って何を学んだか」（個人的アルバイト経験などではなく、勉学あるいは社会貢献活動で学んだこと）をテーマに論述してください。

上記を資料とした面接を行います。

関連パッケージ…ｆ　総合経済政策系、ｇ　公行政系、ｈ　地域コミュニティ系、ｉ　産業社会系

関連科目…特になし

井上　朋紀　ゼミナール【数理経済学】

担当科目：数理経済学

◆　ゼミナールの研究テーマ

ミクロ経済学、特にゲーム理論を用いて経済現象を分析する。

◆　研究内容

ミクロ経済学とゲーム理論の基礎を習得する。英語やプレゼンテーションをレベルアップする。論文の書き方を習得する。

＜外国書研究＞

Maschler, Solan, and Zamir (2020) *Game Theory*. 2nd Edition. Cambridge University Press を輪読する予定。外国書研究に限らず、輪読においては、担当者は報告内容をよく理解した上で、板書をしながら他の受講者にわかりやすく説明すること。単なる翻訳にならないようにすること。

＜卒業論文・３年次＞

神取道宏（2014）『ミクロ経済学の力』日本評論社を輪読する予定。また、各自の興味ある経済現象を「簡単な」ゲームのモデルで分析し、論文の形にまとめる。

＜卒業論文・４年次＞

Maschler, Solan, and Zamir のテキストの輪読を継続しつつ、関連する専門論文も読む予定。各自の興味ある経済現象をゲームのモデルを立てて分析し、卒業論文としてまとめる。

＜卒業論文例＞

牛丼価格競争

ダフ屋行為のゲーム理論による分析

通信キャリアの選択におけるスイッチングコストを用いた分析

複占市場における最低価格保証宣言の効果

◆　応募学生に対する希望

数理モデルを立てて、経済現象を分析したい人に向いている。

「数理経済学」を必ず履修して単位を修得すること。専門的にミクロ経済学やゲーム理論を学ぶためには数学の学習も必要であるが、ゼミナールでは十分に時間が取れない。数学については自分でコツコツ勉強するようにしてもらいたい。

◆　成績評価方法

卒業論文：３年次と４年次の輪読でのパフォーマンス、３年次の論文と４年次の卒業論文の質

外国書研究Ⅰ：輪読でのパフォーマンスと平常点。テキストに登場する演習問題をレポートとして課す場合もある。

外国書研究Ⅱ：輪読でのパフォーマンスと平常点。テキストに登場する演習問題をレポートとして課す場合もある。

研究分野…一般均衡理論、協力ゲーム理論

詳しい研究成果については、https://sites.google.com/site/tomokiinoue/ を参照。

募集人数…７名程度

試験方法…筆記試験（ミクロ経済学と数学）および面接。共通フォーマットの身上書を記入して持参すること。

関連パッケージ…d 国際経済学系、e　財政・金融系、f 総合経済政策系

関連科目…数理経済学

鎌田　健司　ゼミナール【人口学】

担当科目：人口学

◆　ゼミナールの研究テーマ

人口に関する諸問題についての実証分析・地域人口分析

◆　研究内容

＜外国書研究＞

春学期は社会科学的アプローチの実践指南書である Babbie, E. 2015, *The Practice of Social Research, Cengage Learning.*を輪読することで、概念化・操作化、研究計画、質的分析から量的分析まで幅広い分析手法の基礎と実践について学びます。

秋学期は人口学の Rowland, D. T., 2003, *Demographic methods and concepts,* Oxford.を輪読しながら、ワークシートを用いて人口分析を行います。授業は担当者の報告と内容に関する議論、担当者以外の人は内容に関する課題提出という形式で進めます。

＜卒論・３年次＞

春学期は統計学や実証分析に関する書籍を輪読しながら、R、QGIS などのソフトウェアの使い方を学びます。秋学期は人口学に関する主要な書籍や論文を読むことによって、卒業論文に向けた各自テーマの設定を目指します。

また、地域人口分析の一環として「まち・ひと・しごと創生法」に基づく都道府県・市区町村の「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」について１つの自治体を選択し、その内容を報告するとともに将来推計人口に関するシミュレーションに挑戦してもらいます。

＜卒論・４年次＞

卒業論文の完成に向けて、文献研究から研究計画、分析結果などについて報告・議論する形式で進めます。

＜卒業論文例＞

人口の変動要因である出生、死亡、移動に関する事柄はすべて人口であるといっても過言ではなく、就学・就職・結婚・子育て・居住選択・住宅・少子化対策・社会保障などテーマの範囲は広いです。

◆　応募学生に対する希望

少子高齢化、未婚化、少子化、長寿化、東京一極集中など人口問題に興味関心がある人を歓迎します。

◆　成績評価方法

卒論：演習への参加度、卒業論文に関する報告と内容を総合的に評価

外国書研究Ⅰ・Ⅱ：演習への参加度、担当部分の報告／課題提出

研究分野…地域人口の変動要因と地域の出生力に関する研究

募集人数…10 名程度

試験方法…身上書および面接

関連パッケージ…c 社会学系　f 総合経済政策系

関連科目…社会科学方法論、社会調査法、統計学、社会保障論

永原　裕一 ゼミナール【経済統計学】

担当科目：経済統計学

◆　ゼミナールの研究テーマ

経済・金融データの統計分析、 行動ファイナンス、 リスク管理、 金融規制論

◆　研究内容

＜外国書研究＞

外国書を通し統計学の手法や重要性を理解する。

＜卒論・３年次＞

前期は、 経済統計学の基礎的知識の習得に重点を置き、 適切なテキストを用いて輪読する。

後期は、 ３年次末の卒業論文テーマ選定のために、 マクロ経済及び金融関連の文献を取り上げ、 レクチャーや輪読を行う。 テーマとしては、 景気変動などマクロ経済指標の統計的分析、 金融・証券市場の実証分析、 金融機関におけるリスク・マネジメント、 行動ファイナンス、 統計学史等を考えている。

＜卒論・４年次＞

３年次までに決定したテーマに従い、 研究結果を卒業論文としてまとめる。

前期は、 文献・論文調査、 データ分析等を行い、 夏休み明けまでに卒業論文のベースになるレポートを作成する。 論文の書き方、 プレゼンテーション能力の向上にも重点を置く。

後期は、 卒業論文の内容を適宜発表し、 討論する機会を持つ。

◆　応募学生に対する希望

統計学に興味のある学生はもちろん、 経済理論や金融・証券分野に興味がある学生も歓迎します。

◆　成績評価方法

卒業論文：演習への貢献度と提出物の評価

外国書研究Ⅰ：演習への貢献度と提出物の評価

外国書研究Ⅱ：演習への貢献度と提出物の評価

研究分野…確率分布及び時系列分析手法の研究、 マクロ経済及び金融・証券市場の実証研究、 ファイナンス理論及びその応用研究、 統計学史の研究

募集人数…約 10 名

試験方法…身上書

関連パッケージ…e 財政・金融系パッケージ

関連科目…経済統計学

関根　篤史 ゼミナール【統計学】

担当科目：統計学、経済統計学

◆　ゼミナールの研究テーマ

本ゼミナールの研究テーマは、「経済データの統計分析」である。本ゼミナールでは、経済データの統計分析で広く用いられる手法を、統計・計量ソフトウェアである R と共に学ぶ。具体的には、回帰分析、パネルデータ分析、操作変数法、制限従属変数モデル、時系列モデルである。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

計量経済学の基礎と R の基本的な使い方について英語で学ぶ。以下の教科書を輪読する。

Heiss, F. (2020)『Using R for Introductory Econometrics』Independently Published.

Wooldridge, J. M. (2019)『Introductory Econometrics: A Modern Approach』South-Western College Publishing.

＜卒業論文・３年次＞

統計学と計量経済学、時系列モデルの基礎について学ぶ。以下の教科書を輪読する。

ウォルター・エンダース（2019)『実証のための計量時系列分析』有斐閣。

沖本竜義（2010)『経済・ファイナンスデータの計量時系列分析』朝倉書店。

久保川達也・国友直人（2016)『統計学』東京大学出版会。

西山慶彦・新谷元嗣・川口大司・奥井亮（2019)『計量経済学』有斐閣。

＜卒論論文・４年次＞

ゼミ生が関心を持っているテーマに関連する研究論文を輪読する。そして各自研究テーマを設定し、卒業論文の完成を目指す。

＜卒業論文例＞

「FRB の金融緩和政策とイールドカーブの分析」

「日本のフィリップス曲線の変化について」

◆　応募学生に対する希望

経済データの統計分析に強い関心があり、ゼミに積極的に貢献したいという学生を希望する。「統計学」の単位を取得済みであることが望ましい。また、３年次に「経済統計学」を受講すること。

◆　成績評価方法

卒論：提出論文と演習での貢献度に基づく総合評価

外国書研究Ⅰ：毎回の報告と演習での貢献度に基づく総合評価

外国書研究Ⅱ：毎回の報告と演習での貢献度に基づく総合評価

研究分野…経済データの統計分析

募集人数…10 名程度

試験方法…面接

関連パッケージ…d 国際経済系パッケージ、e 財政・金融系パッケージ

関連科目…統計学、経済統計学、計量経済学、マクロ経済学、金融政策

星野　泉　ゼミナール【財政学】
担当科目：財政学、地方財政論

◆　ゼミナールの研究テーマ

財政と地方財政の国際比較を通じて、日本の財政、税制、社会保障、地方自治制度のもつ特徴について実証研究を行い、課題整理の上、改革案をみんなで考察、提案したい。

日本は、今や一人当たり GDP は OECD 平均をかなり下回る。また、最近まで総体で GDP 世界第 3 位ではあったが、アメリカ、中国を大きく下回る。とはいえ、数字よりも課題に対する問題意識が乏しいことが気になる。少子高齢化、農業の衰退、多様性に乏しく地域格差や男女格差が大きいことを確認し、問題意識を実感するところから始めたい。多くの課題解決には予算と地方自治が必要である。しかし、日本では、ひたすら税負担を嫌うため、少ない予算でのやりくり、社会保険料引き上げ、国債の大量発行。結果として、分断が生じ、世代、地域、深刻な与野党対立を生むことになっている。少子化だから、高齢化だから、ということで、高齢者と若年層の対立を生んでいる例はもはや悲劇である。

スウェーデンはなぜ、経済、人権、格差の少ない社会の面で世界トップランナーの一角をなしているのだろうか。消費税 25%、所得税の最低税率 30%、といった高負担を国民が支持してきたのはなぜか。増税したら経済が悪化するなら北欧は世界最低の経済となるはず、なのにそうはなっていない。日本人は、我々の税金は高いと思っているけれど、日本は世界でも税金の低い国。それなのに経済が停滞しているのはなぜか？

◆　研究内容

＜外国書研究＞

OECD 統計など、世界の統計資料を読み、日本の位置を確認するところから始めたい。

＜卒業論文・３年次＞

３年次の演習では、財政の基本的な制度や国際比較分析について、テキストを決め、輪読のかたちで進める。各回、資料を作成し、みんなで議論したい。本年度は東京、温泉所在都市などの研究も考えている。

＜卒論論文・４年次＞

４年次では、卒業論文の進行状況を無理なく進められるよう、予定を立てて作成指導を行う。他に、就職活動用に、政治、経済トピックを取り上げて紹介する。

＜卒業論文例＞

自治体の財政分析、社会保障の研究、スウェーデンの年金制度、配偶者控除の研究など。

◆　応募学生に対する希望

まずは休まないこと。何が問題かを知りたい学生、新聞、本、テレビ、ラジオからの情報収集に関心をもつ学生を望む。

◆　成績評価方法

卒業論文：平常点および論文の内容によって評価
外国書研究Ⅰ：平常点で評価（出席状況、報告、議論への参加度など）
外国書研究Ⅱ：平常点で評価（出席状況、報告、議論への参加度など）

研究分野…財政と地方財政の国際比較研究
募集人数…10 名程度
試験方法…身上書および面接
関連パッケージ…e 財政・金融系パッケージ g 行財政系パッケージ
関連科目…財政学、財政政策、地方財政論、公会計学

廣松　悟　ゼミナール【経済地理学・地域開発論】

担当科目：経済地理学、地域分析法、教養演習(地域とは?)

◆　ゼミナールの研究テーマ

共通テーマ「ポリティカルエコノミー・グローバリゼーションと空間形成」に関連した個別研究テーマ。具体的には、日本を含む世界各地の都市圏やその周辺地域における空間利用形態とその経済及び制度的背景等に関するさまざまな個別テーマを予定。北米カナダや南米パラナ地域をはじめとしたいわゆる＜新大陸＞やアジア・ヨーロッパ諸地域の都市や地域問題についても、比較対照事例群としてあわせて取り組んでいきたい。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

このところ一貫して、"Globalization & Geography"を主要テーマとした論文集に取り組んでいる。それに関連した英語によるスピーチ・プレゼンテーションの練習も適宜、参加者の意向に即しながら行う予定である。パワポファイルを利用した個人プレゼンも行いたい。

＜卒業論文・３年次・４年次＞

上記個別研究テーマに関連した個別・グループ課題に関する調査 & 論文指導。

＜卒業論文例＞

『盆栽のまち大宮の成立と今後の展望』
『ウォーターフロントフロント開発の光と影・・・MM21 と幕張新都心の現状から・・・』
『グローバリズムとデジタルディバイド問題・・・サブサハラ地域の事例から・・・』
『アーバン・ツーリズムの現状と課題』
『メディアによる観光戦略の効果と地域活性化・・・香川県の観光戦略をもとに・・・』
『地域創成とラジオの役割』
『J・ジェイコブスと中心市街地活性化問題』
『中東湾岸地域における都市・地域開発・・・カタールの事例に学ぶ・・・』
『地域に資する再生可能エネルギー・・エネルギーの地域内自主管理とは・・・』
『地域における道の駅の役割と今後』
『愛媛県における温州みかん・中晩柑類の産地形成プロセス』
『コンテンツ・ツーリズムと新たな地域開発』
『賃金の地域不均衡とその要因に関する一考察』
『刑務所の立地論理に関する政治経済学的分析～公共的迷惑施設立地の変遷とその背景に関する考察～』
『カーボンニュートラル時代の天然ガス供給―本邦ガス事業者の挑戦―』

◆　応募学生に対する希望

既存のデータだけでなく、現地での直接・間接の関連一次情報収集およびその分析も行うので、出来る限りオフ・キャンパス活動としてのフィールドワークや PC・ネットを利用した地道なデータ解析作業の双方を厭わない事。明晰な頭脳 & 軽快なフットワークを備えた総合力のある人が望ましい。

◆　成績評価方法

卒業論文：卒業論文内容(60%・発表を含む)、取組み姿勢・参加度 40%)
外国書研究Ⅰ：担当部分報告内容(60%・プレゼンテーションを含む)、参加度(40%)
外国書研究Ⅱ：担当部分報告内容(60%・プレゼンテーションを含む)、参加度(40%)

研究分野…ポリティカルエコノミーと空間形成、都市と地域の比較経済地誌学
募集人数…10 名程度
試験方法…直接面接（ゼミ試験当日）
学科指定…学科を含め特に指定しない。
関連パッケージ…b 国際政治系、d 国際経済系、f 総合経済政策系、g 公行政系、
h 地域コミュニティ系、i 産業社会系、l アメリカ文化系
関連科目…地域開発論、地域振興論、国際経済学、開発経済学、都市政策、アメリカ地域論(ラテンアメリカを含む)

大高 研道 ゼミナール【協同組合学】
担当科目：協同組合学

◆ ゼミナールの研究テーマ

- **人間らしい仕事・暮らし**とは何か？ **「生活者」**の視点から政治経済のあり方を考える。
- 営利追求や競争を重視する市場経済とは異なる経済・社会の可能性を探求する。
- **貧困・社会的排除問題**の解決や**地域づくり**に取り組む**協同組合**の実践から学ぶ。

◆ 研究内容

本ゼミナールでは、暴走する市場経済に対するオルタナティブとしての非営利・協同組織（協同組合、NPO・社会的企業）の調査研究を通して、上記の問いへの「答え（自分なりの生きる道）」を探求する。

＜外国書研究・原典研究＞

海外の協同組合や NPO の最新情報を中心に**「いま世界で何が起きているのか！」**、リアルな世界を肌で感じる。

＜卒業論文・３年次＞

春学期は、受講生の関心のある文献を題材に、とにかく**ディスカッション／ディベート**をする。秋学期は自由論題報告を行う。これらと並行して、地域づくりに取り組む社会的企業の**フィールド調査**を行い、その成果は関西大学・立教大学・明治大学経営学部等の他ゼミとの研究交流会で報告する。

＜卒業論文・４年次＞

各自が関心のある社会問題（地域活性化・地域づくり/教育/子ども・若者問題/労働問題/ジェンダー差別/障がい者支援/高齢者福祉/食糧問題等）の解決に取り組んでいる協同組合・NPO・社会的企業の実践について調べ、卒業論文としてまとめてもらう。

＜卒業論文例＞

地域づくりや非営利･協同組織と何らかの形で接点があれば、**テーマ設定は自由**。むしろ、テーマを決める（問いを立てる）ことが難しい。その生みの苦しみを体感してもらいたい。

◆ 応募学生に対する希望

社会問題に関心のある学生、**社会教育**や**NPO・ボランティア**活動等に関心のある学生に向いている。逆に、社会のあり方に疑問を持たない、他人の話に興味のない学生には向かない

ゼミでは一方通行の教育ではなく、教員を含めた**フラットな関係**と学生主体の**対話型の学び**を大切にしたい。よって、**仲間と話し合い、協同で行動することが好きな学生**に向いている。

◆ 成績評価方法

卒論：報告内容と議論への参加度＋卒論のオリジナリティと完成度
外国書研究・原典研究Ⅰ・Ⅱ：報告内容と予習の状況＋議論への参加度

研究分野…協同組合、地域づくり、社会教育、NPO・社会的企業
募集人数…12 名程度
試験方法…身上書とレポートに基づく面接
学科指定…なし　＊例年、政治・地域行政・経済すべての学科の学生が在籍します。
関連パッケージ…f.総合経済政策系、i.産業社会系
関連科目…協同組合学（春学期集中）は必ず履修すること。併せて食料経済学履修を推奨。

小早川　周司　ゼミナール【金融論】
担当科目：金融論、金融政策

◆　ゼミナールの研究テーマ

本ゼミでは、金融制度と金融システムの国際比較を柱として、外国書研究と卒業論文作成を目指します。具体的には、①金融の基礎知識を身につけること、②こうした知識を使って、身の廻りの金融経済現象への理解を深めること、③日本と海外の金融システム等を比較することを通じて、海外への視野を広げること、④これらの取り組みを進める過程で社会人に求められる情報発信力やコミュニケーション力の素養を身につけることを狙いとします。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

ゼミ生が関心を持った英字新聞記事等を通じて、通貨とは何か、技術革新によって通貨はどう変わるかといった大きなテーマを中心に、ディスカッションを行います。また、金融経済全般を巡る海外メディアや雑誌等を用いて、英文読解力の向上を目指します。必要に応じて、英語でのプレゼンテーションや意見交換の機会も設けます。

＜卒業論文・３年次＞

ゼミ生の理解度をみながら、国際金融やフィンテックの基礎の取得を目指したテキストや資料の輪読を行います。基本的には、ゼミ生による担当箇所の発表と討論形式で進めます。この過程では、プレゼンテーション資料の作成や発表の訓練を行います。また、他大学とのインゼミも実施します。

＜卒業論文・４年次＞

ゼミ生は３年次の終了時点までに、各自のテーマを選択し、それに関連する貨幣・金融制度、金融システム、金融政策等の知識を深めます。その上で４年次では、春学期半ばを目途に卒業論文テーマの最終設定を行い、その後はゼミでのプレゼンやゼミ生とのディスカッション等を通じて、卒業論文の完成を目指します。卒業時には、ゼミナール卒業論文集の刊行を目指します。

◆　応募学生に対する希望

ゼミは、ゼミ生同士や他のゼミ生とのネットワークの中で、アカデミックの面で互いに鍛えあうと共に、社会で求められる人間力の素養を磨く場です。このため、ゼミナール活動にコミットできる学生、ゼミの活動に積極的に貢献できる学生、プレゼン力の向上に意欲を持つ学生を歓迎します。

◆　成績評価方法

卒業論文：テーマ設定、プレゼン内容、ディスカッションへの参加・貢献
外国書研究Ⅰ：プレゼン内容、ディスカッションへの参加・貢献
外国書研究Ⅱ：プレゼン内容、ディスカッションへの参加・貢献

研究分野…貨幣論、フィンテック、キャッシュレス、決済システム改革
募集人数…15 名程度
試験方法…身上書に基づく面接
関連パッケージ…ｅ　財政・金融系パッケージ

森下　正　ゼミナール【中小企業論】

担当科目：中小企業論

◆　ゼミナールの研究テーマ

大企業、中堅企業、中小企業、ベンチャービジネスの経営革新と産業集積の活性化に関する実証的研究

◆　研究内容

＜外国書研究＞

先進諸国はじめ、経済成長・発展が著しい東アジア諸国でも、ベンチャー・中小企業が果たす機能と役割に対する期待が高い。そこで、企業のマネジメント手法及び企業家精神を学ぶために「Women Entrepreneurs ONLY」を教材として利用する。

＜卒業論文・３年次＞

資本主義経済の成長と発展の過程は、そのスタートが異なることから、国や地域、産業分野ごとに異なっている。そのため、異質多元で多様な企業が存在する。そこで、中小企業を対象とした研究は、フィールドワークによる実態調査から、科学的方法論を駆使した実証分析や論理的な理論分析に至るまで、多種多様となる。また、中小企業を含む全ての企業経営は、人に深くかかわるため、人間学的心理学的な考察も必要となる。

具体的には、中小企業に関する文献と政府刊行物を利用して、中小企業の実態と課題を研究する。これと並行して、実証分析に必要な科学的な思考方法と分析方法の習得と、現地調査に基づく企業インタビューや工場等施設視察による研究活動を行う。

＜卒論論文・４年次＞

４年次では、３年次に習得した知識と技術を活用して、ゼミ員全員で中小企業や産業集積が抱える経営課題を共同研究のテーマとした卒業論文の執筆を行う。作成にあたっては、資料や統計からは判断できない実際の企業経営を探求するために、現地調査に基づく企業インタビューや工場等施設視察による研究活動を行うことで、実証的かつ独創的な論文作成を目指す。

＜卒業論文例＞

『地方活性化に資する地域産業に関する研究―埼玉県秩父地域を事例として―』

『観光産業活性化に資する地域資源の活用』

『地場産業における中小製造業の持続的発展に関する研究～伝統的産地を中心として～』

『物流産業の効率化と新規事業の展開～トラック運送業を中心として～』

『地域経済再生に資する社会的中小企業の機能と役割』

『中小製造業の事業承継と持続的発展～人口減少に伴う経営危機からの脱却～』

◆　応募学生に対する希望

共同作業による実態調査に基づく卒業論文の作成を行うので、協調性と責任感、真面目さと素直さがあって、最後まであきらめない忍耐力のある学生を望む。

◆　成績評価方法

卒業論文：課題図書に基づくレポート提出 15%、発表実績 15%、実態調査への貢献度 30%、論文 40%の総合点

外国書研究Ⅰ・Ⅱ：課題図書に基づくレポートの提出 50%、発表実績 50%

研究分野…ベンチャー・中小企業及び連携・組織化に関する理論的・実証的研究
発展途上国における中小企業の経済的機能と役割に関する研究
中小企業の経営革新と改善・ロジスティクスに関する実証的研究
中小企業による産業クラスターの活性化に関する実証的研究

募集人数…14 名程度

試験方法…面接および筆記試験

関連パッケージ…総合経済政策系・産業社会系・社会学系・地域コミュニティ系

関連科目…中小企業論、地域産業論、地域政策論Ⅶ、地域政策論Ⅷ、協同組合学、経済地理学、地域情報論、産業心理学、地方財政論、地域開発論

奥山　雅之　ゼミナール【地域産業論】

担当科目：地域産業論

◆　ゼミナールの研究テーマ

地域活性化（都市・郊外・地方・離島の持続的発展）、各地域・各分野の産業問題、地域産業のグローバル化、およびプレイス・ブランディング（無形の地域資源に着目した地域のブランディング）に関する実証的研究

◆　研究内容

＜外国書研究＞

国内外の都市・地域を選び、その都市・地域のアンバサダー（Ambassador、大使）になったつもりで、シティセールス（都市・地域の魅力についての情報発信）のプレゼンテーションを実施する予定である。並行して、外国文献を輪読する。文献例としては、地域と産業との新しい関係を示す Moretti, E.（2012） *The New Geography of Jobs*、政治学と経済学の両方を描く Hirschman, A. O. （1970） *Exit, Voice, and Loyalty* などがある。2024 年度は離島観光の持続可能性を示した Graci, S. and R. Dodds（2010）*Sustainable Tourism in Island Destinations* を輪読した。

＜卒業論文・３年次＞

研究の基本は「文献研究」と「フィールドワーク」である。まず、地域産業に関連する文献研究によるディスカッション、経済センサスなどを用いた統計分析演習などにより研究の基本的技法を習得する。また、地域に足を運び、地域産業、地域観光、地域産品の開発・テストマーケティングなどをテーマとしたフィールドワークを行う。フィールドワーク先は、福井県、福島県、東京都多摩地域など多様である。合宿では、2017 年度は北海道・十勝、2018 年度は岐阜・飛騨高山、沖縄、2019 年度は岡山・倉敷児島、長崎・五島列島、2020 年度は大分・別府、2022 年度は沖縄、2023 年度は伊勢志摩・しまなみ海道、2024 年度は小豆島・直島、宮古島でフィールドワークを実施した。また、民間企業や NPO と連携した新しいまちづくりや上野動物園とのコラボなどを企画する。

＜卒業論文・４年次＞

３年次の活動の中から執筆テーマを決め、論文を執筆する。論文は単独執筆でも共同執筆でも可とする。執筆の過程で学生の発表、およびそれに基づくグループ・ディスカッションを行う。必要に応じて、追加のフィールドワークを実施する。

＜卒業論文例＞

地域産業・地域活性化に関する論文（「北海道十勝地域の食産業集積の課題」「沖縄における観光産業の経済効果と政策のあり方」「地域の幸福に関する研究」など）

各分野の産業問題に関する論文（「日本のファッション産業の変遷と今後の方向」「AI（人工知能） が小規模小売店舗に与える影響」「離島の産業集積に関する考察」など）

◆　応募学生に対する要望

フィールドワークを通じて社会人と付き合うための積極性、主体性、マナーはもちろん、ゼミ生は 「一生の友」となるので、チームワークを大切にする学生を望む。※学科指定なし（すべての学科可）

◆　成績評価方法

卒業論文：発表、フィールドワークなどによる演習への貢献度 50%、卒業論文・レポート 50%

外国書研究Ⅰ：課題発表 50%、発言などによる貢献度 50%

外国書研究Ⅱ：課題発表 50%、発言などによる貢献度 50%

研究分野…地域産業・地域活性化（都市・郊外・地方・離島の持続的発展）、各分野・各業種の産業問題、地域産業のグローバル化、およびプレイス・ブランディング（無形の地域資源に着目した地域のブランディング）に関する実証的研究

募集人数…15～20 名程度

試験方法…身上書の提出および面接

関連パッケージ…i 産業社会系、f 総合経済政策系、g 行財政系、h 地域コミュニティ系

関連科目…地域産業論、中小企業論、地域政策論、地域振興論、協同組合学、産業組織論、経済地理学

髙橋　信勝　ゼミナール【経済学史】
担当科目：経済学史

◆　ゼミナールの研究テーマ

市場経済社会の特質を「経済学の歴史的知見」にもとづいて把握する。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

経済思想の歴史を俯瞰すべく、比較的読みやすい英文のテキストを精読する。毎回３名ぐらいを目安にあらかじめ割り当てた箇所を和訳してもらい、その内容を出席者全員で検討する。

＜卒業論文・３年次＞

論文を書く際に守るべきルール、報告・文献探索の仕方等を、定評あるガイドブックに依拠しつつ学ぶ。また、ゼミ生が２人１組となってそれぞれチームをつくり、ゼミの共通テーマ「経済思想の視点から消費社会の歴史的形成をとらえる」に関連するテキストを自分たちで選び、レジュメの作成と報告とをペアーで行ってもらう。

＜卒業論文・４年次＞

卒業論文の素材となるレジュメの個人報告を中心にすすめる。20000 字以上の卒業論文を完成させ、「ゼミナール論文集」としてまとめることが最終目標。

◆　応募学生に対する希望

現実の人間との対話だけでなく書物のなかで過去の人間と真摯に対話しようとする学生を望む。

◆　成績評価方法

卒業論文：演習への貢献度、レジュメ作成の熟達度、積極的な意見発表の有無などを評価軸として総合的に評価する

外国書研究Ⅰ：演習への貢献度、期末テストにもとづいて評価する

外国書研究Ⅱ：演習への貢献度、期末テストにもとづいて評価する

研究分野…英仏古典派経済思想
募集人数…10 名前後
試験方法…筆記試験と面接
関連パッケージ…なし
関連科目…近代経済学史

中島　満大　ゼミナール【社会学・人口学】
担当科目：社会科学方法論

◆　ゼミナールの研究テーマ

【社会学＋社会調査】自分で見つけた問題について、調査し、分析していく。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

社会調査法・方法論に関するテキストを読んでいく。2024 年度は Tom Clark et al., 2021, Bryman's Social Research Methods, Oxford University Press をテキストとして採用した。加えて日本で行われたインタビュー調査、数量データ分析、フィールドワークなどを使った研究を、お手本として参照しながら読み進めていく。

＜卒業論文・３年次＞

春学期は、社会学の論文（日本語）を読みながら、論文の型や社会学の考え方を学んでいく。そのなかでさまざまな社会問題にふれてほしい。2024 年度は、就職氷河期と自己分析、家庭における食事の準備、シングルマザーとケア、若者と恋愛などをテーマとする論文を扱った。

秋学期は、ゼミ生がそれぞれ「○○の社会学」という講義を計画する。学生自らが作成した教案に基づいて、担当者が 60 分間講義を行う。2024 年度の講義タイトルは、「スティグマの社会学」「演劇の社会学」「家族間介護の社会学」「スポーツとジェンダーの社会学」など。ゼミ生が各自卒業論文と関連しそうなテーマで講義を計画・実施する。

＜卒業論文・４年次＞

卒業論文について、定期的に報告してもらう。最終的に卒業論文を完成させる（本当に大切、何度でも言います）。

＜卒業論文例＞

2024 年度の 4 年生が取り組んでいるテーマを紹介します。公民教科書における障害者像、子どものスポーツクラブにおける母親の役割、地方出身者の女子大学進学の問題、就職四季報からみる「求める人材」、映画レビューサイトのコメントからみるレイシズム、犯罪報道におけるジェンダー差、女性役員割合と企業の業績、親の社会経済的地位と子どもの自己肯定感、ディズニー映画におけるプリンセス像の変容などです。

◆　応募学生に対する希望

本ゼミの特徴は「少人数」「卒業論文への着手が早い（その割に卒論の提出がギリギリになる学生が多い（なぜ？））」「卒論のテーマ、そして調査法の選定の幅がある程度広い」です。こういった特徴を長所として捉えてくれる人とは相性がよいと思います。また社会問題で卒業論文を書きたいテーマがある、もしくはいろんな社会問題に関心があるという人を歓迎します。

そして今、直面している社会の現状がいかにしてつくられてきたのか、それがどのように維持されているのか、それにかわる選択肢はないのかというふうに考えてくれる学生も希望します。もちろんこれからこういった考え方を身につけたい学生もどうぞ。

◆　成績評価方法

卒業論文：演習への参加、卒業論文に関する報告と卒業論文による総合評価
外国書研究Ⅰ：演習への参加と報告と課題
外国書研究Ⅱ：演習への参加と報告と課題

研究分野…歴史からみる日本社会の人口と家族に関する研究
募集人数…8～10 名前後
試験方法…エントリーシートと面接（対面もしくは Zoom による）
関連パッケージ…c 社会学系、 d 国際経済系、 f 総合経済政策系、 h 地域コミュニティ系、
j 日本・アジア文化系
関連科目…人口学、社会調査法、フィールドワーク論、統計学、ICT 統計解析など

杉本　隆司　ゼミナール【社会思想史】

担当科目：社会思想史

◆　ゼミナールの研究テーマ

19 世紀ヨーロッパの近代社会思想を研究しています。産業革命とフランス革命を経たこの時代は、貧困や失業など「社会問題」に対処するために、社会の原理として科学と産業に基づく社会組織思想がキリスト教に代わって登場しました。ここから多くの社会学や社会主義の思想が生まれましたが、その思想は単に経済的な豊かさだけでなく、精神的な道徳や宗教の重要性も説くもので、特に現代の社会倫理の問題に通ずるこの後者の面に光を当てながら研究しています。

◆　研究内容

ゼミの内容は、基本的には毎年ゼミ員の問題関心に応じて決めている。昨年度は、19 世紀の自由主義思想と現代というテーマで、J・S・ミルの『自由論』やニーチェを題材に人間の自由意志の問題や社会と個人の自由の限界について学んできた。そのほか学生の関心に応じて、宗教問題や環境問題といった哲学・倫理学的な問い含めて、一緒に考えていきたい。

＜外国書研究＞

去年に引き続き、19 世紀フランスの社会思想家 A・コントと J・S・ミルの思想史研究を輪読する。授業では昨年までの内容を補足しながら、それぞれ社会学と自由主義の思想を生んだ二人の思想家の分岐点を経済学批判と功利主義から読み解いていく。

Mary PICKERING, *Auguste Comte : An Intellectual Biography, Volume* I, Cambrige University Press,1993

＜卒業論文・３年次＞

３年次の合宿までに卒業論文のテーマと研究計画について発表してもらう。それまでにゼミ員同士のディスカッションを通じて各自のテーマを決定し、その問題点を洗い出していく。

＜卒業論文・４年次＞

４年次の夏休み前までに論文の概要を各自報告し、夏休みを執筆に充て、秋以降に研究論文に相応しい内容に仕上げる。

＜卒業論文例＞

「ロバート・オウエンとディヴィッド・リカードウ：協同主義と市場主義」

「経済"成長"と経済"発展"：統合された用語」

「マックス・ウェーバーと資本主義の根源：禁欲と欲望を巡って」

◆　応募学生に対する希望

経済思想・哲学、宗教・文学等の幅広い問題関心と他者に対する豊かな想像力のある学生歓迎。

◆　成績評価方法

卒業論文：テーマに対する問題意識と論文の完成度によって総合的に評価する。

外国書研究・原典研究Ⅰ：平常点（原典講読の予習とゼミへの貢献度）によって評価する。

外国書研究・原典研究Ⅱ：平常点（原典講読の予習とゼミへの貢献度）によって評価する。

研究分野…19 世紀フランスの実証主義・産業主義の社会思想

募集人数…10 名程度

試験方法…面接および筆記試験

関連パッケージ…総合経済政策系、社会学系、ヨーロッパ文化系

関連科目…経済思想、経済学史、政治学説史、協同組合学

奥山　誠　ゼミナール【経済思想】

担当科目：経済思想

◆　ゼミナールの研究テーマ

アダム・スミス、カール・マルクス、ジョン・メイナード・ケインズなど過去の偉大な経済学者たちの思想と学説に習熟することを通じて、現代の経済社会が抱える諸問題 （たとえば格差、失業、貧困など）を重層的かつ複眼的な視座から捉えることのできる力を養う。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

経済思想の歴史に関する基本的な英語文献、あるいは個別のトピック （たとえば企業家論，株式会社論など）に焦点を定めた専門的な英語論文を輪読する。文献の性質上、授業では多読よりも精読を重視する。

＜卒業論文・３年次＞

ガルブレイス著『経済学の歴史』、ハイルブロナー著『入門 経済思想史』など過去の経済思想を生き生きとした筆致で描いた定評のある概説書を読み、その内容要約と発表、さらには討論を通じて多様な経済学説に習熟していく。概説書を通じて主要な経済思想を一通り押さえた後は、スミス、ケインズなど特定の人物に関する経済思想をさらに深く学んでいくか、もしくは産業革命、世界恐慌など経済思想とも密接に関連するテーマを選定し、それについて書かれた論文および著書を輪読する。

＜卒業論文・４年次＞

ゼミ生の問題関心にもとづいてテーマを設定し、中間報告を繰り返しながら卒業論文の完成を目指す。「経済思想」および「経済」や「思想」・「歴史」に関連する、多様なテーマを歓迎したい。

＜卒業論文例＞

「現代日本の福祉政策の在り方を考える ― ハイエクの経済思想を手がかりとして―」、
「アダム・スミスから解く現代日本の貧困」、
「恒久的な世界平和を求めて ― アダム・スミスの戦争論を手がかりに ―」、
「日本の通信販売における新結合 ― シュンペーターのイノベーション論を手掛かりとして ―」、など。

◆　応募学生に対する希望

歴史や思想に関心のある、本を読むことが好きな学生を希望する。課題図書の要約・発表と卒論の作成には真摯に、粘り強く向き合うこと。無断欠席は厳禁とする。

◆　成績評価方法

卒論：平常点（出席状況と発表）と卒論による総合評価
外書研究Ⅰ：平常点 （出席状況と発表）とレポートによる総合評価
外書研究Ⅱ：平常点 （出席状況と発表）とレポートによる総合評価

研究分野…世界恐慌期の経済政策思想、19 世紀から 20 世紀のドイツ語圏を中心とした経済思想
募集人数…10 名程度
試験方法…身上書にもとづく面接
関連パッケージ…d 国際経済系、e 財政・金融系、 k ヨーロッパ文化系
関連科目…経済学史、近代経済学史

赤津　正彦　ゼミナール【経済史】

担当科目：経済史、国際経済史

◆　ゼミナールの研究テーマ

歴史・実証的方法による経済社会の把握と分析

◆　研究内容

＜外国書研究＞

経済史・経営史の古典的業績の原典を輪読し、そこから歴史・実証的な研究の方法について学ぶ。

＜卒業論文・３年次＞

経済史・経営史の古典的業績を読み、要約・報告・討論することを通じて、歴史・実証的な研究の方法について学ぶ。また、経済社会上の時事的なテーマについて、歴史・実証的方法を用いて合同でレポートを作成し、プレゼンテーションする。

＜卒業論文・４年次＞

卒業論文作成に必要とされる諸段階（テーマの設定、先行研究の整理、仮説の設定と方法の検討、資料の収集、論文構成の設定、など）を踏んでゆき、また、そのつど経過を報告する。遅くとも 10 月には論文執筆に入り、個別の指導・添削を受ける。

＜卒業論文例＞

「米国クラフト・ビール業界の発展とその要因」、「アメリカ・デトロイト市荒廃の要因に関する一考察」、「環境政策と経済発展」、「イギリスの文化産業発展に関する一考察」、「ファストフードの発展に関する考察」、「日本ゲーム業界におけるソーシャルゲーム発展の要因に関する考察」、など。

◆　応募学生に対する希望

歴史（過去）を使って社会に対して何かを提案・提言したいと思っている学生の入室を希望します。

◆　成績評価の方法

卒業論文：平常点：40%、卒業論文：60%

外国書研究 I：平常点：80%、課題：20%

外国書研究 II：平常点：80%、課題：20%

研究分野…経済と環境の関係を中心とした近代イギリス経済史研究

募集人数…10 名程度

試験方法…身上書と面接

関連パッケージ…d（国際経済系パッケージ）、e（財政・金融系パッケージ）、f（総合経済政策系パッケージ）、g（公行政系パッケージ）、h（地域コミュニティー系パッケージ）、i（産業社会系パッケージ）、など。

関連科目…国際経済史、現代経済史、など。

日向　祥子　ゼミナール【日本経済史】
担当科目：日本経済史、現代経済史

◆　**ゼミナールの研究テーマ：**　「事件から時代を逆照射する」

ある「事件」が「事件」とされるのは、それが「絶対的に悪いこと」だからではなく、「望ましくないと、同時代的に広く受け止められたこと」だからでしょう。
「事件」の観察を通じて、社会がどのように変容してきたのか、そこにどれだけの多様性がありうるのか、考えていきます。政治学科や地域行政学科の学生による履修も歓迎します。

◆　**研究内容**

＜外国書研究＞

Penelope Francks, *The Japanese Consumer*, Cambridge University Press, 2009. を精読する。日本人の衣食住にかかる消費活動の歴史的変遷を、社会状況と対応づけつつ論じる本です。

＜卒業論文・３年次＞

武田晴人『事件から読みとく日本企業史』の輪読を行う。企業が歴史的にどのような役割を果たしてきた（期待されてきた）のか、多様なステイクホルダーとの関係を軸に論じる本です。
読了後、卒業論文執筆に向けて、各自が分析対象とする「事件」を探し、情報収集を進めます。

＜卒論論文・４年次＞

３年次に引き続いて各自調査を進め、相互に報告・コメントをしながら研究を進めていく。

＜卒業論文例＞

例えば、特定の企業の経営破綻や「不正」、労働争議、特定の企業が関わる裁判、汚職事件、あるいは企業に異議を申し立てた市民運動などを分析素材とすることが考えられます。
単に「事件の経緯」を「調べる」に止まらず、「そのような事柄が、そのように事件化したことが、その時代のどのような性格を反映しているか」考察していきます。

◆　**応募学生に対する希望**

① 武田 『事件から読みとく日本企業史』 に強い興味をもっていること。同書あるいは類書（武田『財閥の時代』、同『日本経済の事件簿』など）を手に取って眺め、自分と相性が良さそうかどうか確認しておいてください。
② 辞書や事典を引く作業を面倒と受け止めないこと。
③ 他者との意見交換に関心をもっていること。

◆　**成績評価方法**

卒業論文：平常点 50%、卒業論文 50%
外国書研究Ⅰ：平常点による
外国書研究Ⅱ：平常点による

研究分野…近代（あるいは現代）日本における企業と社会との関係
募集人数…6ー8 名程度（全員が議論に十分コミットできる規模）
試験方法…課題文献についての感想文提出、面接
関連パッケージ…c. 社会学系、e. 財政・金融系、f. 総合経済政策系、i. 産業社会系など
関連科目…各種〇〇史、現代日本経済論、現代経済政策、地域産業論、社会保障論、労働経済学など

齋藤　雅己　ゼミナール【経済政策】

担当科目：経済政策、経済政策原理、数量経済分析

◆　ゼミナールの研究テーマ

グローバル経済における経済政策の形成とその原理に関する研究

◆　研究内容

現在のグローバル経済で生じている様々な問題に対応していくためには、我々は、世界経済を富ましめ地球上に住むすべての人々を豊かにする**＜富世豊人＞**を基本的理念として、確固たる理論的基盤のもとに新しい経済現象を認識・把握するとともに、克服すべき政策課題を明らかにして経済政策の形成と実践を図っていかなければならない。本演習では、上記のテーマのもとで各自が個人研究テーマを選択・決定し、卒業論文としてまとめていくことが課題となる。なお、本ゼミでは、政経学部内の政策関連ゼミナール討論会（MEPS）に参加する予定である。

＜外国書研究＞※使用言語：英語/日本語

日本経済および世界経済における政策諸課題について学ぶため、IMF や OECD のレポートを取り上げて議論していく。本ゼミナールでは交換留学生を積極的に受け入れる予定であり、Wall Street Journal の記事に関する発表やディスカッションも含め、英語で演習を行う。

＜卒業論文・３年次＞

卒業論文をまとめていくために必要な**＜体系的知識＞**としての経済学 （経済理論） をしっかりと身につけたうえで、春学期はそれらを現実に応用するテキストを用いながら様々な政策課題について議論していく。秋学期には，各自が卒業論文のテーマを決定するための予備的・基礎的研究報告を行う。また、経済政策の研究に不可欠な**＜体験的歴史＞**を蓄積していくために、毎週，　演習の初めに現実経済に生じている重要な問題を取り上げ、その政策課題および政策対応を検討していく。

＜卒論論文・４年次＞

卒業論文をまとめるために、３年次の研究に基づいて個人研究テーマをさらに深く追究し、研究報告を行う。なお、春学期には、ゼミ生全員が毎週１冊の本を読んで発表していく。

＜卒業論文例＞

「高等教育機会の不平等の是正」、「デフレ下における金融政策の有効性」、「インバウンド観光振興による観光先進国の実現にむけて」、「日本における今後の外国人労働者政策のあり方」、「日本の長時間労働の解決に向けて」、「女性を幸せにする少子化対策と女性活躍促進政策」、「自治体による少子化対策～婚活段階からの支援～」、「新自由主義思想の分析と展望」、「アフリカにおける国連の開発援助の有効性～Ruhiira Millennium Village Project を事例に～」、「新たな仮想通貨の出現と中央銀行デジタル通貨の実現可能性」、「日本における人工知能と技術的失業」、「金融システムによる気候変動への貢献可能性」、「無形資産投資促進による日本企業の生産性向上」、「日本におけるナッジの政策的応用可能性」 など。

◆　応募学生に対する希望

ゼミナールでの学問研究は決して一人で行うものではありません。積極的に参加して、ゼミ生同士がお互いを磨き合い、知的にも、精神的にも、肉体的にも強く健全でバランスの取れた人間を目指してください。なお、演習では、日常的に経済情報の収集・整理を行う必要があるとともに、積極的に留学生を受け入れていく方針のため、留学生のサポートと英語によるコミュニケーションにも前向きに取り組んでもらいたいと思います。

◆　成績評価方法（卒業論文，外国書研究Ⅰ・Ⅱのいずれも以下のとおりとする。）

平常点 50%、演習への取り組み（課題・発表など） 30%、目標到達度評価 20%

研究分野…グローバル経済の分析と経済政策、経済成長理論と経済成長政策に関する研究
募集人数…10～14 名程度
試験方法…身上書の事前提出、および面接
関連パッケージ…d 国際経済系／e 財政金融系／f 総合経済政策系パッケージ
関連科目…国際経済学、開発経済学、国際経済政策、金融政策、財政政策、現代経済政策

宮崎　イキサン　ゼミナール【国際経済政策】

担当科目：国際経済学

◆　ゼミナールの研究テーマ

以下の 4 点を中心にゼミナールでの学習・研究活動を進める。

1. 実体経済に対する基礎的な理解
   一国経済を理解・把握するうえでの基礎的な知識や視点を学び、かつそれらの視点や知識を基に自ら経済の現状を理解し、重要なポイントに関して議論を深める。
2. プログラミング言語を使った基礎的なデータ分析手法の習得
   （経済）データ分析に関する基本的な概念の理解とともに、プログラミング言語を使い、データ分析の基礎について学ぶ。
3. 国際経済（国際貿易）についての理解
   国際経済学の中でも特に国際貿易について、その学術的な蓄積について平易な説明と豊富な実例を含む英文テキストを利用して学習する。
4. 卒業論文の執筆
   学生の興味関心に合わせ、国際経済あるいはそれに関連する分野についてのリサーチを行い、学生の発表・議論を中心とした学生主体の研究活動を通じて卒業論文の執筆を進める。
5. MEPS への参加（サブゼミ）
   政策提言に関する共同ゼミナール活動である MEPS へ参加する。活動自体は正規のゼミナール時間外に学生主体で行うものである。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

英文テキストを中心に、国際貿易が抱える問題点について学び議論する。

使用テキスト：Douglas, Irwin (2020), *Free Trade Under Fire Fifth Edition*, Princeton University Press, Princeton

＜卒業論文・３年次＞

・実体経済を捉えるための基礎的な知識を身に付ける。
　使用テキスト：三上真寛（2022）『景気把握のためのビジネス・エコノミクス』 学文社

・プログラミング言語を利用し、基礎的なデータ分析の手法について実際にコードを書きながら学ぶ。
　使用テキスト：原泰史（2021）『Python による経済・経営分析のためのデータサイエンス分析の基礎から因果推論まで』 東京図書

＜卒業論文・４年次＞

春学期では卒業論文の本格的な執筆に向けたテーマの予備的リサーチ（背景や先行研究をまとめ、論点の整理など）と絞り込みを行い、ゼミナール内で報告する。秋学期以降は卒業論文の執筆過程を発表しゼミナール内で議論することで、より質の高い論文の執筆を目指す。

＜卒業論文例＞

「特定の有名選手の招へいがプロスポーツチームの利益に与える影響」「マルチエージェントシミュレーションを用いたセルフレジにおけるレジ待ち分析」「債権回収率の国際比較とリスク評価」「国内キャッシュレス決済比率増加に向けた政策提言」

◆　応募学生に対する希望

ゼミナールや関連活動に対して十分に熱意を持ち、時間と労力を割く決心のある学生であること。入室後、ゼミナール内で設ける（常識的な）ルールを順守できない、ゼミナールや関連活動に対して十分に時間と労力を割けないと判断した場合、ゼミナール除籍とすることがある。

◆　成績評価方法

３年次：指定された文献内容の理解やそれに基づく発表の内容、他の学生の発表内容に対するコメントや議論などを基に評価する。

４年次：学生自身の卒業論文執筆に向けた準備や執筆開始後の経過など、その都度発表した内容および他の学生の発表内容に対するコメント、他の学生との議論や完成した卒業論文を基に評価する。

研究分野…国際貿易に関わる諸要素に関する分析

募集人数…最大 15 名

試験方法…事前の身上書の提出（オンライン提出）、試験当日の筆記試験および身上書に基づく面接試験

関連パッケージ…d 国際経済系、 e 財政・金融系、 f 総合政策系

関連科目…国際経済政策、国際金融論、開発経済学、金融論、金融政策、現代経済政策

藤永　修一　ゼミナール【国際経済政策】

担当科目：国際経済政策

◆　ゼミナールの研究テーマ

グローバリゼーション、TPP、米中貿易摩擦などの国際経済の現状分析

◆　研究内容

＜外国書研究＞

OECD が毎年発行している *Economic Outlook*、*Japan Economic Survey*、*United States Economic Survey* を通じて、国際経済、日本経済や米国経済について理解を深める。また、時事問題についても、随時経済雑誌の記事を利用して学んでいく。

＜卒業論文・３年次＞

前期

国際経済全般に関する基本的知識の理解に努める。

テキスト：椋寛『自由貿易はなぜ必要なのか』有斐閣

グローバリゼーションに焦点を絞り、その現状分析や対外政策について学ぶ。

後期

政経セミナーへの論文作成、ゼミナール発表会でのプレゼンテーション、MEPS への論文作成と討論会に向けて、ゼミ員が協働で進めていく。

＜卒論論文・４年次＞

卒業論文に向けて各自が選んだテーマについて発表を行い、ゼミ員相互に議論し合う。

＜卒業論文例＞

「グローバリゼーションの光と影」

「米中貿易摩擦が世界経済に与える影響」

「TPP の経済効果について」

◆　応募学生に対する希望

意欲と自主性のある学生を希望する。

◆　成績評価方法

卒業論文：演習への貢献度・発表・卒業論文などで総合評価

外国書研究Ⅰ：演習への貢献度・レポート・発表などで総合評価

外国書研究Ⅱ：演習への貢献度・レポート・発表などで総合評価

研究分野…グローバリゼーション、米中貿易摩擦についての分析
募集人数…10～15 名
試験方法…レポート、面接　（特に面接を重視する）
関連パッケージ…d 国際経済系、 e 財政・金融系、f 総合経済政策系
関連科目…国際経済学、開発経済学、国際金融論

藤本　穣彦　ゼミナール【食料経済学】
担当科目：食料経済学

◆　ゼミナールの研究テーマ

「食と農をローカルにつなぐ」をテーマに、世界的な食料問題とローカルな食農連携の双方を視野に収めながら、食と農の新しい「かたち（＝デザイン)」を研究する。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

「食と農」をめぐる最新事情を学びながら、問題が発生するメカニズムについて考える。

＜卒業論文・３年次＞

問いを立てること、考えること、対話すること、書くこと、伝えることを基本からトレーニングする。その上で、食農連携の現場（食品企業や農業・農村等）でフィールドワークし、現場で／から考える習慣を身につける。各人が理論（ゼミ）と実践 （現場）の往還サイクルのなかで、自分の問いを考え抜く基盤をつくることが３年次ゼミの目標である。

また地域づくりの実践者や国内外の企業人を交えた「地域デザインゼミ」や農村・農業コミュニティでのゼミ合宿（海外のフィールドにもいきたい）という学びの場ももちたい。

＜卒業論文・４年次＞

「問い」を立て、探究する。研究のステップ――「問い」の設定、フィールド（現場）研究、資料・データの収集と分析、考察とまとめ――に応じて報告と討論を行う。

＜卒業論文例＞

2020 年度より開講された新しいゼミ。食と農、コミュニティ、デザインと何らかの形で接点があれば、テーマ設定とアプローチは自由である。テーマを決める（自分の問い／学問的な問い／実践的な問いの重なりを設定する）ことが難しい。容易に答えの出ないことに向かって、問い続けてほしい。

◆　応募学生に対する希望

食べることが好きな人。ゼミナールでの学びを深めながら、それぞれの 「ライフデザイン」 と 「キャリアデザイン」を描いてほしい。世界の見通しがきかなくなることもある。じっくりとよいものをつくる、落ち着いて、丁寧に物事を考える、なかなか難しいけれど、そういうふうになってほしい。

ゼミの出席は前提。地域デザインゼミやゼミ合宿を含め、無断で欠席することは認めない。

◆　成績評価方法

卒業論文：報告内容と毎回のゼミへの参加と貢献、卒業論文のオリジナリティと完成度

外国書研究Ⅰ・Ⅱ：十分な予習と報告内容、毎回のゼミへの参加と貢献

研究分野…「食と農の地域自給圏」構築のための食料経済学研究、地域づくり、フィールドワーク
募集人数…10 名前後
試験方法…身上書と面接（応募人数に応じて追加の課題がでる場合がある）
関連パッケージ… f. 総合経済政策系パッケージ i. 産業社会系パッケージ
関連科目…食料経済学（春学期）は必ず履修すること。協同組合学を併せて履修するとよい。

末永　啓一郎　ゼミナール【開発経済学・経済発展論】

担当科目：開発経済学

◆　ゼミナールの研究テーマ

経済発展と経済開発――グローバル経済の下でのイノベーション、キャッチアップ、貧困――

◆　研究内容

Economic development（経済発展・開発）について、開発経済学、経済発展論、イノベーション論、キャッチアップ論、アジア経済論、シュンペーター学派、進化経済学などの観点から研究を行う。本ゼミナールでは、途上国だけに焦点を当てた狭義の開発経済学（Development Economics）だけでなく、先進国・途上国を含む様々な国々に焦点を当てた広義の経済発展（Economic Development）について研究する。なぜなら、先進国がどのように発展したかを理解することなく、途上国の経済発展を理解することは出来ないためである。経済発展というのは、アダム・スミスの『国富論』にみられるように経済学の本流・骨格をなすものであり、その意味で、本ゼミで研究する経済発展（Economic Development; Development Economics）は、最も幅広い知識を必要とする学問でもある。本ゼミでは、特に、理論的考察力、データ分析力、独創力の向上に力点を置く。なお、担当教員の研究内容の詳細については、http://gyoseki1.mind.meiji.ac.jp を参照のこと。また、本ゼミは、MEPS（経済政策関連ゼミの討論会）や ISFJ（日本政策学生会議）に参加すると同時に、例年、海外での現地調査・フィールドワークなども行っている。なお、海外でのゼミ合宿は、関連団体の協力を必要とするとともに、リスクを伴うため、実施の有無は協議の上で決定する。

＜開発経済学＞

経済発展・開発に関する講義を行う。ゼミ生は必修。

＜外国書研究＞

外国語文献を渉猟するとともに、Stata を用いた計量分析も行う。

＜卒論・３年次＞

3 年次は各班に分かれ、特定のテーマについて論文を執筆し、『政経セミナー』と ISFJ に投稿する。テーマは、ゼミ生と教員との協議の上で決めるが、夏合宿での現地調査との兼ね合いも考慮する。2017 年度はタイのスラムにおける起業家、2018 年度はタイの都市・農村間関係、2019 年度はインドの IT・教育・スラム、2022 年度はタイの教育・スラム・農村、2023 年度はフィリピンの児童労働・IT-BPO 産業、2024 年度はベトナムの地場企業・エネルギー開発を取り上げた（2020・2021 年度はサバティカルのため、ゼミは未開講）。

＜卒論・４年次＞

３年次の研究をベースに、個人研究を行い、卒業論文をまとめる。

＜卒業論文例＞

「大分岐とその後の日本社会」、「中国の金融業の発展を通した経済成長」、「珠江デルタの所得向上・都市化・産業発展に関する研究」、「フィリピンのスラム改善――セブ島のスラムでの体験を終えて」、「ベトナム自動車産業のゆくえ――EV 政策によるキャッチアップを目指して」、「カンボジアの持続的経済発展――FDI 誘致による新たな産業基盤の育成」、「ネパールの持続的成長のための提言」、「教育と持続的経済成長――タンザニアにおける教育問題」、「アフリカにおける農村電化の方法とその導入に向けて」など

◆　応募学生に対する希望

積極性と向上心に富んだイノベーティブで協調性あふれる学生を希望する。また、本ゼミは、学生主体のゼミのため、主体的かつ積極的に取り組める学生が望ましい。特に 3 年次は、研究活動がハードになるため、忍耐力のない学生にはお勧めしない。本ゼミは、研究に重点を置くゼミであるが、文部科学省の提唱する学士力だけでなく、経済産業省の提唱する社会人基礎力の向上にも力点を置く（過去には経済産業省主催社会人基礎力育成グランプリ受賞）。また、海外留学を推奨するとともに、留学生の受入れも積極的に行っている。なお、就職に有利だからという理由だけでゼミに入りたいという学生はお断りする。当然のことであるが、遅刻や無断欠席は厳禁である。

◆　成績評価方法

演習への取り組み（課題・発表など）、演習への貢献度など

研究分野…開発経済学、経済発展論、イノベーション論、キャッチアップ論、進化経済学
募集人数…10 名前後
試験方法…事前課題と面接
関連パッケージ…国際経済系
関連科目…マクロ経済学、ミクロ経済学、経済政策原理、現代経済政策、国際経済学、国際経済政策、計量経済学

小野島　真　ゼミナール【財政政策】

担当科目：租税論、財政学

◆　ゼミナールの研究テーマ

各国の税・財政制度

◆　研究内容

＜外国書研究＞

前期は Rosen 著 Public Finance の租税理論に関する箇所を中心に輪読してゆく。租税理論についての体系的な知識を得た後に、後期には Slemrod, J and J.Bakija 著 Taxing Ourselves-A Citizen's Guide to the Great Debate over Tax Reform- の重要箇所について輪読する。諸外国における税制改革に関する議論について理解を深め、社会および経済的環境の変化を踏まえた今後の日本の税制改革はいかなるものであるべきか、受講者との議論を通じて展望してゆく。

＜卒業論文・３年次＞

春学期は財政学・租税論についての基礎知識を得ることを目標とする。財政学、租税論、地方財政について基本的なテーマをいくつか設定するので、小グループに分かれ、それぞれのテーマについて報告してもらい、それを題材に全員で議論する。報告の際には、Power Point などを用いて効果的なプレゼンテーションをするよう心懸けて欲しい。また、政経セミナー等の投稿のための準備も行っていく。

秋学期は、卒業論文の執筆に向けて、各自テーマを設定して報告をしてもらう。報告に対する討議のなかで、論文執筆のスキルを高めるとともに、問題意識をさらに深めていって欲しい。３年次までに、卒業論文が４割程度完成していることを目指す。

尚、春夏の長期休暇中には、ゼミ合宿を兼ねて地方自治体の財政調査を行う予定である。これまでに岩見沢市・名古屋市・沖縄県などの調査およびゼミ合宿を行った

＜卒業論文・４年次＞

３年次までの成果を踏まえ、数度の発表と討議を経て、論文の質を高めてゆく。なお 12 月に他ゼミと合同で卒業論文発表の合宿を行う予定である。

＜卒業論文例＞

「地方消費税の再考－カナダの Dual VAT を参考として－」

「北欧諸国の地方分権」

「相続税の国際比較研究」

「電子商取引の課税問題」

◆　応募学生に対する希望

熱意を持って研究に取り組み、何事にも積極性のある学生の応募を期待する。新しいゼミの歴史を築き、そして良き伝統を継承しようとする気持ちを持っていて欲しい。

◆　成績評価方法

卒業論文：平常点（演習への貢献度・報告・論文 etc）

外国書研究Ⅰ：平常点（演習への貢献度・報告 etc）

外国書研究Ⅱ：平常点（演習への貢献度・報告 etc）

研究分野…財政学・租税論・地方財政論

募集人数…15 名程度

試験方法…身上書及び面接（方法は未定）により評価する。

関連パッケージ… e　財政・金融系、 f　総合経済政策系、 g　公行政系

関連科目…財政政策、地方財政論、社会保障論、自治体経営論　など

加藤　久和　ゼミナール【社会保障論・公共経済学】
担当科目：社会保障論

◆　ゼミナールの研究テーマ

公共経済学やこれに関連する分野（人口問題・社会保障・財政・労働市場等）の実証分析と政策論文の作成

◆　研究内容

このゼミでは、経済社会の政策課題を理論面及び実証面からアプローチする方法を学び、その課題の解決に寄与する政策提言等を行ないます。3年次には大学外部で主催される政策提言論文のコンテスト（ISFJ、日本政策学生会議）に応募するとともに、他学部や他大学のゼミとの研究交流を通じて、実証的な研究姿勢を学び，課題解決型の論理構築や発表方法を身につけることを目指します。

そのために、このゼミでは経済学の基本的な思考法の理解、現実経済社会の課題の把握、及び実証分析の基本的な手法を学ぶことになります。

同時に、ゼミの方針として海外の留学生をできる限り受入れるとともに、グローバルな視点の醸成にも力を入れています。短期・長期での海外留学を目指す学生を積極的に受入れたいと考えています。

＜外国書研究＞

欧米諸国で評価の高い経済学の入門的なテキストなどを用いて、その内容に関するディスカッションを行ないます。なお、海外提携校などからの交換留学生と一緒に学ぶため、外書研究はすべて英語でのコミュニケーションとなります。2024 年度の授業は、Miller, Benjamin, and Douglass (2018), *The Economics of Public Issues, 20thed.*, Pearson.などを使用し、各章のテーマに関するプレゼンテーションとディスカッションを行なっています。

＜卒論・３年次＞

３年次の目標は、さまざまな政策課題を理解するために必要な公共経済学の基礎，　政策分析に欠かせない実証分析の手法の修得にあります。前述したように政策提言論文コンテストへの出場を前提にゼミを運営しますので、そのために必要な現実の政策課題の把握や実践的なデータ分析の手法が不可欠になるからです。加えて、他学部や他大学のゼミとの交流も積極的に行ないます。

＜卒論・４年次＞

３年次の１月以降、各自の問題意識をもとに卒業論文のテーマを設定し、これに関連する文献等の研究を行ないます。卒業論文は基本的に実証分析を必要条件としています。加えて、近年の経済社会事情などに関する文献の輪読も行ないます。

＜卒業論文例＞

これまでの卒業論文のタイトルは、「合計特殊出生率のシミュレーション分析」「日本型雇用システムについての現状分析」「ソーシャル・キャピタルの形成要因に関する実証分析」「離婚率と労働環境の関係」「地域間教育格差の要因分析」「投票行動の分析」「持続可能な医療保険制度を目指して」「英語力向上の決定要因」「社会的排除と生活困窮者の就労支援」「ふるさと納税制度に関する実証分析と課題について」「肥満者割合に影響を及ぼす要因における実証分析」などです。研究対象はそれぞれの学生の興味と関心にしたがって柔軟に設定します。

◆　応募学生に対する希望

ゼミでは、学ぶことの楽しさと厳しさを経験できる場所だと考えています。ゼミでは、教える、教わるのではなく、一緒に学び、議論することを大事にしたいと思います。このゼミの歴史を一緒に築いてくれる、協調性と責任感、主体性（と体力）のある学生を望みます。学びたい気持ちを持つ学生を決して後悔させないことが、このゼミの方針でもあります。

ゼミでは ISFJ への参加など実証的な視点から政策研究に力を置いています。こうしたことに興味を持つ学生の皆さんの応募を待っています。

グローバル化もゼミの方針です。そのため、海外への留学についても積極的に応援します。また、海外からの交換留学生とのゼミ内外での交流も多いので、英語を通じて積極的にコミュニケーションを行う学生に入室してもらいたいと考えています。

成績評価…ゼミにおける報告や共同論文作成への貢献度などから成績を評価します。
研究分野…公共経済分野等に関する実証分析・政策提言
募集人員…10～12 名程度
試験方法…身上書及び面接による選考
関連パッケージ…総合経済政策系パッケージ、財政・金融系パッケージ
関連科目…労働経済学、財政政策、応用数量分析

原　ひろみ　ゼミナール【労働経済学】

担当科目：労働経済学

◆　ゼミナールの研究テーマ

労働経済学やその周辺分野（教育、医療、家族やジェンダー等）に関する実証分析。

◆　研究内容

日本や諸外国の労働市場で起こっている事象のメカニズムを経済理論を用いて考えるとともに、統計データを丁寧に調べたり、実際にデータ分析を行うことで、エビデンスベースで労働市場に対する理解を深めます。また、知識の習得だけでなく、毎回のゼミへの参加や卒業論文の執筆を通じて、「読む」・「分析する」・「論理的に考える」・「伝える」スキルを獲得することも本ゼミナールの目標です。なお、ゼミ合宿等の活動については参加者と相談しながら決めていきます。

＜外国書研究＞

Blau and Winkler, The Economics of Women, Men, and Work (9th edition) 等の労働経済学の基礎的なテキストを輪読します。毎回の授業では、レポーターの発表に基づいて、全員でディスカッションを行います。

＜卒業論文・３年次＞

テキストの輪読とディスカッション、プレゼンの練習を行いながら、卒論のテーマを考えます。また、計量経済学に基づいた実証分析が行えるようデータ分析の手法や統計パッケージの使い方も学びます。政経セミナーへの投稿も予定しています。

＜卒業論文・４年次＞

３年次に考えた卒論のテーマに基づいて、各自、卒論の執筆を進めます。毎回のゼミでは、定期的に卒論の中間発表を行い、卒業論文の完成を目指します。

＜卒業論文例＞

本ゼミナールは 2022 年度から始まった新しいゼミで、2023 年度に初めての卒業生が出ました。2023 年度・卒業論文のタイトルは、「長時間労働の職場環境及び仕事満足度における実態分析」、「リモートワークにおけ　る実態調査分析」、「最低賃金の引き上げが若年者の雇用と賃金に及ぼす影響」、「夫の転勤が妻の就業状態に与 える影響に関する研究」、「個人による能力開発の効果に関する研究」、「転職が賃金に与える影響に関する分析」、「女性の同一企業での就業継続に関する分析」等です。

◆　応募学生に対する希望

毎回のゼミは、レポーターによる報告と全員参加のディスカッションが中心になります。また、ゼミ生の自主性、会話を通じた相互理解を大事にします。よって、ゼミの活動に積極的に参加する意思のある学生及び入室後にゼミでのルールを守れる学生を希望します。

◆　成績評価方法

卒論：演習での発表、ディスカッションへの参加、卒業論文の完成度で総合的に評価。

原典研究Ⅰ・Ⅱ：口頭発表や授業への貢献、ディスカッションへの参加で総合的に評価。

研究分野…労働経済学やその関連分野に関する実証分析
募集人員…12 名程度
試験方法…エントリーシートおよび面接
関連パッケージ… f 総合経済政策系
関連科目…労働経済学、ミクロ経済学、計量経済学

池田　功　ゼミナール【日本文化研究】
担当科目：国語表現、日本文学

◆　ゼミナールの研究テーマ

「病」を通してみた日本の社会及び文化の研究をテーマとします。まず、社会病理に関しては、個人、家庭、学校、地域の４つの病理が考えられます。個人病理では少年犯罪、自殺などを、家庭病理では離婚、夫婦間暴力などを、学校病理では校内暴力やいじめなどを、地域病理としては公害や市町村合併、ゴミ問題などを扱います。

また、病を通しての文化研究としては、心の病を描いた文学作品を扱います。具体的には摂食障害を扱った松本佑子『巨食症の明けない夜明け』、引き籠もりを扱った田口ランディ『コンセント』、ED を扱った新井満『尋ね人の時間』、知識人の心の闇を描いた夏目漱石『行人』、芥川龍之介『歯車』、幻視、幻聴の世界を描いた色川武大『狂人日記』、あるいは癒しを描いたとも考えられる石川啄木短歌や志賀直哉『暗夜行路』等です。

◆　研究内容

＜原典研究＞

池田功著『新版こころの病の文化史』（おうふう)に従い、明治時代からの心の病を扱った文章を読み、文化、社会、家庭などの問題を考えます。

＜卒業論文・３年次＞

春学期は「政経セミナー」に載せるための共同研究をします。１期生は「少年法改正と少年犯罪」 で、２期生は「自殺」を、３期生は「フリーター・ニートを考える」を、４期生は「教育問題を考える」を、５期生は「家族と教育問題を考える」、６期生は「ネット社会の病理」、７期生は「若者の居場所を考える」、８期生は「若者の幸福とは何か」でした。20 期生の皆さんが何にするかは、アンケートをとり相談によって決めたいと思っています。

秋学期は卒業論文に向けて個人テーマを決め、それをレポートし討論することによって深めてゆきたいと思っています。

＜卒業論文・４年次＞

卒業論文は社会病理でも、病を扱った文化研究でもどちらでも結構です。400 字詰めで 30 枚以上です。また４年生の終わりに「ゼミ卒業文集」を出す予定でいます。

＜卒業論文例＞

「里親制度の現在」「青少年期における自殺」「『ごみ問題』 について」「日本の年金問題とその課題」 「高齢化社会について」「一人っ子の心理を探る一村上春樹『国境の南、太陽の西』」「摂食障害という病について」「現代日本における環境ホルモン問題の現状とその対策」「地方における医療の問題」 「ふるさと納税の考察」「リサイクル文化」「女性専用車両の考察」「いじめ問題の考察」などです。

◆　応募学生に対する希望

身近な社会問題に関心のある学生、ゼミコンパ、ゼミ合宿などにも意欲的に参加する学生、無断欠席や遅刻をしない学生を希望します。

◆　成績評価方法

卒業論文:卒業論文発表会での発表 30%　卒業論文提出 70%
原典研究工二授業出席 20%　授業での発表 30%　レポート 50%
原典研究Ⅱ :授業出席 20%授業での発表 30%レポート 50%

研究分野…病を通してみた日本近代の社会及び文化の研究
募集人数…15 名前後
試験方法…筆記試験のみ
関連パッケージ…j 日本・アジア文化系
関連科目…日本・アジア文化論Ⅰ、日本・アジア地域論 Ⅰ

冨澤　成實　ゼミナール【日本文化研究】
担当科目：国語表現、日本文学、教養演習

◆　ゼミナールの研究テーマ

近現代日本の文化と社会を考察する。

◆　研究内容

＜原典研究＞

樋口一葉『にごりえ・たけくらべ』と森鴎外『阿部一族・舞姫」（いずれも新潮文庫)をテキストに、各作品を取り上げながら、明治・大正期 （その比較のために幕末も含む）の家族や風俗、 広く社会・文化について考察しましょう。

ゼミ員は各自、担当した箇所についての研究成果をレジュメにまとめたうえで口頭発表し、 全員で討論をしながら相互に理解を深めます（以下の<卒論・３年次>の形式も同じ)。

＜卒論・３年次＞

３年次では、共通テーマである<家族>を通じて近現代の日本文化について考察します。

授業では、園井ゆり他編『第 4 版 家族社会学: 基礎と応用』(九州大学出版会、2022 年 11 月）をテキストに、日本の家族の変容過程を視野に収めながら、結婚や離婚、 親子関係、高齢化社会といった現代家族が抱える家族の問題（婚活、事実婚、夫婦別姓、少子化、幼児虐待、ニート、 DV、熟年離婚、孤独死、イクメン…）について考えます。

＜卒論・４年次＞

３年次の研究を基礎に、近現代日本文化に関わるテーマを各自がそれぞれ決め、研究計画の報告や中間発表などを経て、このゼミにおける研究の集大成である卒業論文を完成します。

＜卒業論文例＞

「現代のパラサイト・シングル」、「無縁社会をどう生きるか」、「『もののけ姫』から見る宮崎駿の思想について―人と自然の関係」、「『サザエさん』と日本の家族の変動―戦後日本におけるサザエさん一家の存在意義」、「夏目漱石の日本近代化観― 『吾輩は猫である』 を中心として」

◆　応募学生に対する希望

積極的にゼミ活動に参加し、発言できる学生を歓迎します。無断欠席などないように心がけてください。また各回のゼミで対象となる作品や章を事前に読んでおくことが、授業参加の前提です。

◆　成績評価方法

卒論 :卒論や口頭発表、 平常点などにより総合的に評価する。

原典研究Ⅰ:口頭発表や平常点などにより総合的に評価する。

原典研究Ⅱ :口頭発表や平常点などにより総合的に評価する

研究分野…近代日本の文学と文化
募集人数…10 名程度
試験方法…筆記試験
関連パッケージ…・j 日本・アジア文化系
関連科目…・日本・アジア文化論、 日本 ・アジア地域論など

嶋田　直哉　ゼミナール【日本文化研究】

担当科目：日本文学、国語表現、教養演習、日本・アジア地域論、日本・アジア文化論など

◆　ゼミナールの研究テーマ

日本現代演劇研究

原則として、日本の劇団と劇作家、演劇作品を研究の対象とします。

授業では日本の演劇史を学習し、名作名演を舞台映像で鑑賞します。その後、各自で劇団や演劇作品について調査分析を行います。演劇作品の魅力を、自身の言葉で語れるようになることが目標です。

◆　研究内容

＜原典研究＞

古典芸能では、世阿弥『風姿花伝』、能『井筒』、河竹黙阿弥『白浪五人男』などの芸能論や作品を実際に読みます。近代以降の戯曲では岸田國士『隣の花』『驟雨』『屋上庭園』、三島由紀夫『鹿鳴館』、三好十郎『炎の人』、清水邦夫『真情あふるる軽薄さ』、つかこうへい『熱海殺人事件』、野田秀樹『パンドラの鐘』などを読みます。

授業では各自担当する劇作家や作品について調査分析、口頭発表し、その後、関連の舞台映像を実際に鑑賞し、全員で討議します。

＜卒業論文・３年次＞

西堂行人『日本演劇思想史講義』（論創社、2020 年）を読み、古典芸能から現代演劇までの基礎知識の習得をします。その後、卒業論文執筆を目指した演習発表を行い、全員で討議をします。また希望があれば、共通テーマを設定し、全員で研究・調査なども可能です。

＜卒業論文・４年次＞

劇団や劇作家、演劇作品を選び、3 年次の学習内容に基づきながら各自でテーマを決め、研究を進めます。卒業論文についての研究発表、中間発表などを経て、卒業論文を執筆します。 2 万字以上の執筆が目標です。

＜卒業論文例＞

日本現代演劇関連であれば、自由に設定できます。ただし卒業論文として執筆可能かどうかは指導教員と相談の上、変更や修正が必要なことがあります。例としては以下の卒業論文のテーマが考えられます。

・井上ひさしとヒロシマ―『父と暮せば』をめぐって
・コメディと政治―三谷幸喜『笑の大学』に表現された検閲制度
・演劇の経済学―劇団四季公演『キャッツ』を例にして
・宝塚版と東宝版『エリザベート』の違いについて―小池修一郎の演出をめぐって
・隊列を組むことと崩れること―ミュージカル『レ・ミゼラブル』における階級闘争
・宝塚歌劇団におけるジェンダー構成―『ベルサイユのばら』をめぐって
・都市と演劇―PortB（高山明）の戦略
・地域行政と演劇―杉並区と座・高円寺の事業
・2.5 次元ミュージカルの世界観―『テニスの王子様』と『弱虫ペダル』について

◆　応募学生に対する希望

日本現代演劇に興味がある学生を歓迎します。自身のペースで構わないので、日頃から実際に劇場へ足を運び、舞台作品に親しんでいることが望ましいです。演劇の知識がゼロでも、演劇への愛があれば問題ありません。指定された文献について、事前に入手してしっかりと読むことはもちろんのこと、演劇（研究）のためならば、手間と時間と多少の出費を厭わない覚悟が大切です。

具体的な学習内容や、受講の心構えなどは、個別ガイダンスで説明しますので、必ず出席のこと。個別ガイダンスにて、本ゼミ入室試験提出用の身上書の入手方法についてお知らせします。個別ガイダンスでゼミの説明を受けていない学生は、原則として入室試験を受験する資格はありません。何らかの事情で、個別ガイダンスに出席できない学生は、事前に担当教員（嶋田）まで相談に来ること。また、担当教員が講義をする「日本・アジア地域論Ａ」（春学期）と「日本・アジア文化論Ａ」（秋学期）の両方を履修することを強く希望します。

無断欠席や遅刻をしないこと、体調管理をしっかりとすること、約束を守ることを心がけて下さい。失礼な態度を取る学生については、容赦なく相応の指導をします。

◆　成績評価方法

卒業論文：卒業論文、 口頭発表、 平常点など
原典研究Ⅰ：口頭発表、 平常点など
原典研究Ⅱ：口頭発表、 平常点など

研究分野…日本現代演劇研究
募集人数…10 名程度
試験方法…身上書・面接
関連パッケージ… j 日本・アジア文化系
関連科目…日本文学、 日本・アジア地域論、 日本・アジア文化論など

植田　麦　ゼミナール【日本文化研究】

担当科目：国語表現、日本文学

◆　ゼミナールの研究テーマ

本ゼミナールの研究テーマは「ことば」です。「ことば」がいかなる機能を果たすのか、「ことば」 が何を生み出すのかを考えます。

具体的には、主として言語統計学とテキストマイニング技術をもちいた研究を進めます。どちらも本稿をお読みのみなさんにはあまり馴染みのない語かもしれません。「言語統計学」 は言語を計量的に計測することで、対象となるテキストの要約・推測を行うものです。テキストマイニングはテキストを機械的に分析して、その中身から価値を発掘（マイニング）するものです。最近だと、政治家の演説の分析や株価動向の分析などに使用されています。

現在、テキストマイニングは多く、AI との関わりで語られます。AI は機械がヒトの手本をもとにして、ヒトの手には及ばない量の情報を処理するものです。テキストマイニングは、大量の文書を機械的に処理して、それらの文書が何を語るのかを読み解く技術です。その分析の際、AI 技術を活用することがあります。

本ゼミナールでは、基礎的な統計学の知識を身につけ、テキストマイニング技術を習得することで、「ことば」が社会をどのように反映しているのか、あるいは「ことば」が社会をいかに形作っているのかを読み解くことを目的としています。

◆　研究内容

＜外国書研究・原典研究＞

文学作品を機械的に読解します。ヒトが読むために書かれたテキストをどうすれば計量化することができるのか？また、テキストを機械が読むとどうなるのか？

＜卒業論文・３年次＞

統計言語学に基づいたテキストマイニング技術の習得を行います。また、学外コンテストの準備、そして４年次に執筆する卒業論文に向けての研究を進めます。

＜卒業論文・４年次＞

３年次の研究内容をもとにして、卒業論文を執筆します。

＜卒業論文例＞（「ことば」に関わるものであれば、広く問題設定が可能です）

・言葉・社会・人間の意識の相互作用 －国語辞典の語釈の変遷にみる女性観の変化及び語釈変化の要因を軸として―
・テキストマイニングによる「特定複合観光施設区域整備法」の分析の試み
・流行語の分類と使用回数の変化
・宿泊予約サイトのクチコミからみるユーザーの特徴分析
・中央競馬におけるレース後コメントの分析

◆　応募学生に対する希望

広く「ことば」に興味のあること。また、パソコンの利用に未習熟であっても、積極的に習熟したいという熱意があること。

授業では、windows を OS としたノートパソコンが必要です。この時点で「パソコンは苦手……」 と考えるひともいるでしょう。ですが、２年修了時でほとんどパソコンに触れたことがない、という学生も本ゼミナールには多くいます。それが、４年修了時にはパソコンの使い方に習熟して卒業していきます。

◆　成績評価方法

卒業論文：研究発表および卒業論文
外国書研究Ⅰ：研究発表
外国書研究Ⅱ：研究発表

研究分野…日本語学・日本文学
募集人数…10 名程度
試験方法…身上書に基づいた面接（オンライン）を予定
関連パッケージ…日本アジア文化系パッケージ

ネルソン・リンジー R　ゼミナール【日本文化研究】
担当科目：政治経済

◆　**ゼミナールの研究テーマ**

The Language of Cinema

◆　**研究内容**

This course is a basic introduction to film: how to talk about it, how to write about it, and how to think about it.　Topics for discussion will include mise-en-scene, framing, narrative structure, editing, the film industry, representations of gender and race in film, and Japanese film history.

You will frequently be asked to watch films (in Japanese or in English with Japanese subtitles) outside of class. A typical class will include small group discussions, individual presentations, individual writing activities, short lectures, and short videos. The class is mostly taught in English and reading materials will be in English, but they will be short.

たまにディスカッション、講義に日本語で話します。

By the end of the seminar, you should be able to: 1) understand and use a new selection of vocabulary related to film; 2) have simple conversations about film in English; 3) write about film in English; and 4) be able to think, write, and speak about film in a way that moves beyond "I liked this movie" or "I didn't like this movie"

＜卒業論文・３年次＞

During the third year of the seminar we will focus on discussions, presentations, film viewing, and short writing projects. During the fourth year I will work individually with each of you to develop your 卒業論文. I am flexible about the topic (it just needs to be related to cinema in some way). In the past students have done very creative things for their 卒論--creating a short film and writing about the process of making that film, for example.

◆　**応募学生に対する希望**

Highly motivated students who are comfortable with English. You do not need to be perfectly fluent (in the past students with very different levels of English have joined the seminar). You should, however, be willing to speak English during class.

◆　**成績評価方法**

Class participation; presentation; quizzes; short writing assignments;graduation thesis 3000-4000 words in English (4th year)

研究分野…日本映画・日本のポップカルチャー・メディア論
募集人数…８～12 名程度
試験方法…面接
関連パッケージ…無し
関連科目…なし

羽根　次郎　ゼミナール【アジア文化研究】
担当科目：中国語、教養演習、日本・アジア文化論III

◆　ゼミナールの研究テーマ

中国革命とレーニン主義，戦後日本の労働運動（とくに 1950～60 年代の北海道）における中ソ対立の影響，明治維新期の日中関係史（とくに 1874 年台湾出兵），中国医療・衛生史，「安全・安心」イデオロギーの階級性とナショナリズムの問題，プチブル急進主義と「人民」概念，など

◆　研究内容

＜外国書研究＞

中国語で書かれた中国史の学術論文を翻訳しながら理解を深めていく。**と，言いたいところだが**，本年度春学期はゼミ生の中国史理解が十分でないため，**天児慧『新版　中華人民共和国史』**を輪読して，まずは基礎知識の充実に努めている。無理はしない。秋学期は中国語文献を読む（陳其南《臺灣的傳統中國社會》、池子华《中国流民史》を予定）。いずれにせよ，（読めるに越したことはないが）**英語を必須としないゼミ**である。

＜卒業論文・３年次＞＜卒論論文・４年次＞

2024 年度の卒業論文指導（いわゆる狭義のゼミ）は，３・４年生合同で行っている。

春学期は，鶴見良行『バナナと日本人』、レーニン『帝国主義論』を，順番にレジュメを切って輪読した。7 月のゼミ合宿では，4 年生の卒論中間発表を集中的に行った。秋学期は，①**借款と中国侵略の問題**、②**中国革命と秘密結社の問題**（三谷孝『現代中国秘密結社研究』など）、③**矢内原忠雄『帝国主義下の台湾』の問題**（独占資本主義と地主制の問題の検討）などを研究する予定。2025 年度も，**同様の問題認識**でゼミは行われる。

＜卒業論文例＞

中国をはじめ**東アジアの近現代史**を軸に，自由にテーマを決めること。以下，本年度の卒論テーマ。

「アメリカ小麦戦略と日本における「ソウルフード」普及の関係について――餃子を例として」「福建省における 1950 年代土地改革の特色」「一人っ子政策と中国の家族問題」「現代中国の宗教政策について」など

◆　応募学生に対する希望

・ゼミのための事前準備に時間をかけられること。また、**金曜午後**はゼミ以外に履修登録をしないこと。
・ゼミ合宿に**必ず参加すること**が条件である。2024 年は 3 月に中国（上海・南京），7 月に山中湖に行った。
・食事や酒席などゼミ時間以外の交流の場に積極的に関われない学生は，ゼミ選びを再考されたい。なお，交流の場で教員は喫煙しないが，「間接喫煙」をタテに喫煙学生を非難することはない。
・仲の良い小ぢんまりとしたゼミで和気藹々と学びたい学生に向いていると思われる。
・「やりたいこと」は，「やるべきこと」を済ませない限りできないことを知っている学生の応募を歓迎する。
・「感染リスク」を気にせず自分を傷つけてでもアンパンを分け与えてくれるアンパンマンのような強さを持つ学生の応募を歓迎する。また，そんなアンパンマンを，カレーパンマンら仲間たちが，「メリットがない」「感染症になる」「同調圧力を感じる」などと叩かないことに共感し連帯できる学生の応募も歓迎する。

◆　成績評価方法

ゼミ生それぞれの目標の達成度に応じて評価する。無断欠席・無断遅刻は厳禁とする。

研究分野…中国近現代史、日中関係史、清末台湾史
募集人数…5～10 名程度（現 3 年生は 6 名（男 4：女 2））
試験方法…身上書と面接
関連パッケージ…特に指定しない。
関連科目…ゼミ入室許可者に直接紹介する。

山岸　智子　ゼミナール【西アジア地域研究と文化理論】
担当科目：日本・アジア地域論/文化論、文化論概論

◆　ゼミナールの研究テーマ

西アジア地域研究、カルチュラルスタディーズ

◆　研究内容

基本は西アジアの地域研究である。当該地域では混乱と破壊、スポーツなどのメガイベントの招致活動、国際関係の多極化など多様な注視すべき出来事が展開しており、その背景をきちんと理解することが本来の目標だが、パレスティナ人サイードが提唱したオリエンタリズムの問題、中東北アフリカ出身者が問題視されることの多い移民や難民の問題、ジェンダーと宗教言説、脱植民地（ポスト=コロニアル）主義の思潮、覇権主義への異議申し立てなど、近代という「大きな物語」を見直すためのさまざまなトピックを扱うことで、西アジアという地域に限定しない研究への展開も見込まれる。

＜外国書研究＞

西アジア関係やカルチュラルスタディーズの英語の論文や記事を精読する。

＜卒業論文・３年次＞

研究するトピックの設定→資料収集→そのトピックについての研究発表→質問やコメントで理解を深める、というのがゼミナールの基本的なかたちである。その過程で、資料収集の方法、プレゼンテーションの技術、話の内容を聴きとって建設的なコメントをする能力、などを養ってゆく。映像資料の利用、インタビューやフィールドワークなども条件が整えばとりいれてゆきたい。

＜卒論論文・４年次＞

卒業論文執筆に向けて、個々の研究を展開する。３年生との合同ゼミなどを通して、より経験の浅い者にアドバイスする練習も行う。

＜卒業論文例＞

2018 年以前には、「イランの自動車産業」「サッカーチームのマネージメントについて」「ドイツの移民問題」など多様なトピックの卒業論文が提出された。文化と政治経済の交錯する問題について考察を深めるテーマが推奨される。

◆　応募学生に対する希望

見慣れないもの、聞きなれないものを恐れず、むしろ新しい出会いとして楽しむ心性を育ててゆきたいと思っているので、その方針に対応できる人に来てほしい。

◆　成績評価方法

卒業論文：各学期において各自の設定目標に到達することと、最終提出物の内容で評価する
外国書研究Ⅰ：授業での貢献度と期末レポートで評価する
外国書研究Ⅱ：授業での貢献度と期末レポートで評価する

研究分野…西アジアについての学際的研究と文化理論
募集人数…10 名程度
試験方法…面接、場合によってはエッセイの提出を求めるかもしれない
関連パッケージ…パッケージの枠を横断して勉強することが期待されるが、あえていえば j,k,f
関連科目…文化論概論、日本・アジア地域論Ⅳ、日本・アジア文化論Ⅳ

中村　幸一　ゼミナール【台湾文化研究】
担当科目：英語、教養演習（台湾文化研究）

◆　ゼミナールの研究テーマ

台湾文化・言語研究

◆　研究内容

台湾は日本とは真逆の多言語国家である。台湾語、台湾華語（＝國語)、客家語、オーストロネシア語族の諸言語（アミ語、アタヤル語、パイワン語など）が用いられている。台北の地下鉄（MRT）では、これらの言語＋英語でアナウンスが行われ、中心部（中山駅、台北駅など）ではこれらに日本語が加わることさえある（台北に原住民語のアナウンスはないが、花蓮などでは聞くことができる)。

テレビ番組でも、台湾華語で話していた人が、突然、台湾語に変え、また台湾華語に戻ったりなどは当たり前のこと。そして、この台湾語、台湾華語には多くの日本語からの借用語がある（歐吉桑（おじさん)、便當、阿娜答（あなた)、奇檬子（気持ち)、卡哇伊（かわいい))。したがって、台湾語は、よく呼称される「閩南語」とも同じではない。「常用國字標準字體表」には漢字が 4808 字もあり、台湾人が覚えなくてはならない漢字は日本人（2136 字）の 2 倍以上である。例えば台湾の小学 6 年生が覚える字にはこんなものがある：囂（xiāo　ㄒㄧㄠ)、噩（è ㄜˋ)、甄（zhēn ㄓㄣ)。

英語に関しては、3 歳児も、漢字を学習する前から「幼児園」で学んでおり、英語教育は日本以上に盛んかつ徹底的である。英語のニックネームもこのとき先生や親からつけられる（賴清德総統は英語の時は、 William Lai と名乗っている)。第二外国語としては、スペイン語、韓国語、日本語の人気がある。これはなぜであろうか？

こうした言語にかかわる現象はすべて、台湾の歴史、地政学的な状況に深く関わっている。したがって、本ゼミナールの研究対象は台灣文化研究ではあるのだが、政治的問題にもふれないわけにはいかないだろう。

＜外国書研究＞

台湾華語の易しいテクストを読む。台湾の食べ物、文化、宗教、習俗、歴史に関するもの。もし英語が読みたいという希望があれば、台湾と比較的利害関係の少ない英国の雑誌より台湾関係の記事を読んでもよい。こういうことは諸君の主体性にまかせる部分が大きい。

＜卒論・３年次＞

台湾文化に関する本、資料を読みつつ、いろいろと話し合う。

＜卒論・４年次＞

引き続き、台湾に関する資料、本を読みつつ議論を深める。

＜卒業論文例＞

「ゴシック建築の精神とその変遷」、「トロイア戦争の英雄・神々から学ぶ人生哲学」、「日本人の宗教観の分析――日本人は本当に宗教的なのか」、「バードランド・ラッセルに学ぶ幸福の獲得」、「カタルーニャ国民の日に行われるデモの背景」、「退屈の分析」、「カエサルに見るローマ帝国の隆盛」、「SNS 社会の現状整理と今後の考察」。

◆　応募学生に対する希望

◯中国語は既習である必要がある。簡体字は使わないので、正體字に慣れておくこと。
　注音符号（ㄅㄆㄇㄈ）はとりあえず覚えても覚えなくてもよい。
◯台湾に対して、単なる好奇心を超えるポジティヴな関心をもっていること。

◆　成績評価方法

卒業論文：形式をきちんと守っていること、どれだけ調べたのかを示せばよい。
外国書研究Ⅰ：訳読の質、意見の質による。
外国書研究 II：訳読の質、意見の質による。

研究分野…比較言語学、 台灣文化研究。
募集人数…10～15 人前後。
試験方法…面接および筆記試験による。
関連パッケージ…日本・アジア文化系パッケージ
関連科目…国際文化、言語関係。

飯嶋　曜子　ゼミナール【ヨーロッパ文化研究】

担当科目：ドイツ語、 ヨーロッパ地域論Ⅱ

◆　ゼミナールの研究テーマ　　ドイツ語圏の地域政策

本ゼミナールでは、ドイツ、オーストリア、スイスの地域政策の特性・課題・新たな動向を把握するとともに、なぜそうした政策がとられてきたのかを地理学的に考察します。これらの地方分権型国家では、どのような地域問題や地域間格差が生じており、そこでいかなる対策がとられているのでしょうか。「農村振興」、「コミュニティ開発」、「地域連携」などをキーワードに、地方自治体だけではなく、連邦、州政府、コミュニティ、そしてＥＵなどの様々なレベルでの動きを俯瞰的に把握して分析します。

また、本ゼミの特色として、地図や統計を用いた地理学的な地域分析手法の習得が挙げられます。さらに、比較研究として、学生の希望に応じて日帰りもしくは宿泊を含んだ国内での地理学巡検の実施も検討しています。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

EU、連邦政府、州政府等が公表している地域政策に関する報告書を精読します。基本的に英語文献を扱いますが、ゼミ生の希望によってはドイツ語文献も対象に含めます。1，2 年時にドイツ語を履修していない学生にも対応しますので大丈夫です。

＜卒業論文・３年次＞

地域政策に関する文献を輪読し、基礎的な理論を身につけるとともに、 ディスカッションを通じて論点を整理し、 各自の問題意識や研究関心を明確にしていきます。また、地域統計分析や、GIS （地理情報システム） 分析の基本的手法も学びます。さらに、具体的な地域を取り上げ、文献 統計、地図等を用いて共同で地域分析を行います。

＜卒論論文・４年次＞

各自が卒業論文の研究テーマを決め、 論文を仕上げていきます。

＜卒業論文例＞

「地方分権」 とは何か　－ドイツの国土空間整備の変遷と地方自治の事例からの考察－

フライブルクの中心市街地活性化と交通政策

オーストリア・チロル州の農村振興政策とコミュニティビジネスの展開

◆　応募学生に対する希望

本ゼミは 2024 年度に教員の特別研究期間のため一年間休止しているので、2025 年度は 4 年生が在籍せず、3 年生からの再スタートとなります。そのため、自分たちが新たに飯嶋ゼミの歴史を作っていくという気概に満ちた主体性のある学生を希望します。フットワークが軽く、知的好奇心の旺盛な学生の参加を期待します。

◆　成績評価方法

卒業論文：：発表、討論、卒業論文から総合的に判断する。

外国書研究ＩⅡ：発表、討論、提出物 （課題）から総合的に判断する。

研究分野…EU の地域政策、地域連携についての地理学的研究

募集人数…8～10 名程度

試験方法…本年度は海外滞在中のため、面接は行わず課題で判断します。

関連パッケージ…b,d,f,g,h,k

関連科目…ヨーロッパ地域論

仮屋　浩子　ゼミナール【ヨーロッパ文化研究】
担当科目：ヨーロッパ文化論 D、スペイン語 Ⅰ・Ⅱ、教養演習

◆　ゼミナールの研究テーマ

西欧における演劇と社会

◆　研究内容

本ゼミナールは、舞台芸術（演劇）から見た西欧の歴史や社会、そして社会における芸術の役割について議論していくことを目的としています。数多くの劇作品に触れ、かつ再現を試みることで、人間の根源にある願望とはなにかを掘り下げていきます。また、応用演劇や、自分と他者が共存できるような芸術にも触れることで、「演劇」の多様性についても探究する予定です。

＜外国書研究＞

演劇理論、演技論と実践、即興劇、シアターゲームに関する文献を読みます。

＜卒業論文・３年次＞

決められた劇作品（ギリシャ悲劇、シェイクスピア、カルデロン、イプセン、チェーホフなど） を各自が精読し、内容、時代背景のほか問題提起となるようなテーマを設定して発表し、全員で議論します。作品の一部の再現、関連する映像を鑑賞します。演劇史に関する文献を決めて輪読し、演劇の意義について議論します。また、共同研究、もしくは共同制作を実施します。

＜卒論論文・４年次＞

卒業論文の準備のための研究、資料収集、執筆、修正し、卒業論文として相応しい内容のものに仕上げていきます。

＜卒業論文例＞

「シャーロック・ホームズの推理法とその実現性」「アニメ巡礼とその経済効果」
「DH 制はプロ野球の諸問題を解決できるか」「講談の連続物について」など

◆　応募学生に対する希望

思いやりのある人、自分の言葉に責任を持てる人、表現活動に関心のある人、演劇好きな人がいるととても嬉しいですが、最低限、文化や芸術に関心のある人。

◆　成績評価方法

卒業論文：卒業論文執筆過程及び内容により評価を行う。
外国書研究Ⅰ：講読テキストへの取組み・貢献度・授業態度・英語能力から総合的に評価する。
外国書研究Ⅱ：講読テキストへの取組み・貢献度・授業態度・英語能力から総合的に評価する。

研究分野…スペイン語圏における演劇史・演劇理論についての分析
募集人数…10 名程度（目安は 10～15 名程度です）
試験方法…学部指定の身上書・面接および筆記試験
関連パッケージ…「国際地域・文化論コース」の「ヨーロッパ文化系」パッケージ
関連科目…ヨーロッパ文化論、アメリカ文化論、外国文学など

前田　更子　ゼミナール【ヨーロッパ文化研究】
担当科目：フランス語、国際地域研究基礎論、ヨーロッパ文化論（フランス）

◆　ゼミナールの研究テーマ

フランス、フランス語圏の歴史と「文化」

このゼミナールでは、歴史はどのようにして書かれ、誰が作り出すのか、という根本的な問いに向き合いながら、フランス・フランス語圏の社会と文化を、歴史的に考察する。この作業を通じて学生たちには、世の中に溢れている歴史（像）を批判的に検討する力を身につけ、卒業論文において歴史の「消費者」ではなく「生産者」になることを目指してもらいたい。

文化研究の射程は広い。音楽や映画・絵画から、ある社会集団がもっている価値観や振る舞い、習慣、思考、感性、衣食住などまでが対象となる。19 世紀以降の近現代の世界において、こうした「文化」は、国民国家の形成、ナショナリズム、移民の流入など政治・経済との関わりの中で規定され、変容してきた。したがってゼミにおいては、「文化」を素材に政治・経済に関する議論を行うことも多い。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

フランス史に関するフランス語文献を扱う。フランスやフランス語圏の時事問題に関しても適宜、取り上げる。毎回、一定の分量のフランス語の文章を音読・和訳し、内容を理解した上で、議論する。2024 年度は、フランスの高校の歴史教科書を精読し、分析している。

＜卒業論文・３年次＞

春学期の前半は、毎回、教員が指定する文献について各自が事前に読み・意見をまとめ、当日は少人数でディスカッションをし、理解を深めるという形式で進める。4 年生が参加することもある。春学期の後半は、フランス・フランス語圏に関するテーマを各自で決め、文献を調査し、研究発表を行う。7 月頃には共同論文のテーマを絞り、秋学期の前半は共同論文の作成に取り組む。秋学期の後半はフランス文化史関連の文献講読を行い、卒業論文のテーマ設定にも時間を割く。

＜卒業論文・４年次＞

文献・資料収集の方法、史料の読み方、論文の書き方を指導する。毎回 2〜3 人が中間報告を行い、その内容について全員がコメントする。卒業論文のテーマは広く文化や政治、経済、思想、ジェンダー、宗教、教育などに関連し、歴史的に考察する視点を備えていれば、自由とする。フランスが対象でなくてもよい。最終的には担当教員と相談の上で、研究可能な主題を決定していく。

＜卒業論文の例＞

「ジャンヌ・ダルクの表象の政治利用」「第二帝政期のパリ大改造」「フランスにおける同性婚」「仏領インドシナにおける東遊運動」「デンマークにおける優生思想」「ケベックの間文化主義とライシテ」「フランスにおける「死」の変容」「ヨーロッパにおける男性の髪型の変化」「ツール・ド・フランスの歴史」「アフタヌーン・ティーの歴史とジェンダー」「フレンチ・ラップと移民文化」「フランスの福祉国家の特徴と連帯主義」など。

◆　応募学生に対する希望

無断での遅刻・欠席をしないこと。各自で予習をし、質問や意見を用意してくること。

歴史に興味のある人、「外の世界」に興味のある人、他人の意見をしっかり聞き、試行錯誤しながら柔軟に考えようという姿勢のある人、他人とのつながりを大事にできる人を希望する。

◆　成績評価方法

卒業論文：口頭発表、授業に対する準備と参加の程度、卒業論文の質等から総合的に評価する。

外国書研究Ⅰ：口頭発表、授業に対する準備と参加の程度、試験から総合的に評価する。

外国書研究Ⅱ：口頭発表、授業に対する準備と参加の程度、試験から総合的に評価する。

研究分野…フランス近現代史研究（とくに政治、教育、宗教、ジェンダー、植民地に関して）

募集人数…10 名程度

試験方法…学部指定の身上書を事前に提出の上、面接

学科指定…なし

関連パッケージ…k.ヨーロッパ文化系、a. 政治理論系、b. 国際政治系、d.国際経済系、l. アメリカ文化系など

佐原　徹哉　ゼミナール【ヨーロッパ文化研究】

担当科目：歴史学　国際地域研究基礎論　ヨーロッパ文化論Ⅴ

◆　ゼミナールの研究テーマ

東欧・ロシア・中東の地域研究、国際テロリズム、ポスト・グローバリゼーション、紛争の比較研究、難民研究、平和学・平和構築論

◆　研究内容

＜外国書研究＞

比較紛争学に関する複数の論文や難民問題に関する雑誌や新聞の記事を読みます。希望があれば、ロシア語、トルコ語、現代ギリシャ語、ブルガリア語などのサブゼミを行います。

＜卒業論文・３年次＞

世界各地で激しさを増す紛争とテロの比較研究を行います。この分野の研究は近年、飛躍的に発展しており、従来の安全保障のイメージも大きく変わっています。はじめに、比較紛争学の基本的な文献を精読し、この分野に関する基本的な知識を身につけます。その後、ゼミ参加者の問題意識に応じて、具体的な研究テーマを選択し、 共同研究の形で理解を深めて行きます。 過去３年間の研究テーマは、 イラク戦争、 欧州難民問題、中央アジアのテロと地域協力でしたが、ヨーロッパ・中東・旧ソ連圏を中心に、東南アジアを含めた広い視野で研究を進めます。

課題文献は、以下の４点です。

エマニュエル・ウォーラステイン「史的システムとしての資本主義」（岩波書店）

サスキア・サッセン「グローバル資本主義と放逐の論理」（明石書店）

保坂修司「ジハード主義」（岩波書店）

菅原出「外注される戦争、民間軍事会社の正体」（草思社）

＜卒業論文・４年次＞

４年次には各自の卒業論文テーマに即して論文作成の指導を行います。

＜海外調査＞

毎年、トルコとギリシャとブルガリアの国境地域で調査を行なっています。参加するかどうかは自由です。ゼミの成績評価とも関係ありません。

＜卒業論文例＞

「上海協力機構（SCO）のテロ対策及び経済活動の連携について」「SADAT.inc の考察～トルコの代理戦争政策を通じて～」「下からのイニシアチブによる UIC の発展と国際社会の介入」「日露天然ガスパイプライン構想のこれまでと失敗の原因」「ブルガリアにおける小型武器規制――規制・廃棄・レジーム形成の有効性をめぐって」「ナゴルノ・カラバフ紛争におけるアゼルバイジャンの勝因」

◆　応募学生に対する希望

東欧・ロシア・中東・アフリカの歴史や現状に関心があること。国際テロリズム、平和構築、難民問題などについて関心があること。

◆　成績評価方法

卒業論文：内容審査と口頭試問によって評価を決定する。

外国書研究Ⅰ：演習への貢献度状況と授業態度と英訳能力から総合的に評価する。

外国書研究Ⅱ：演習への貢献度状況と授業態度と英訳能力から総合的に評価する。

研究分野…歴史学、地域研究、平和学、紛争研究、紛争人類学、紛争社会論

募集人数…10 名程度

試験方法…面接

関連パッケージ…k　ヨーロッパ文化系、b　国際政治系、c　社会学系、d　国際経済系

関連科目…歴史学、社会人類学、比較社会学、国際政治、国際関係論、ロシア政治論、東欧政治論、国際法、比較政治論、ヨーロッパ文化論、連関地域文化論、国際経済学、開発経済学

内田　兆史　ゼミナール【連環地域文化研究】
担当科目：スペイン語、外国文学

◆　ゼミナールの研究テーマ

アメリカ大陸とヨーロッパを中心に 20 世紀から 21 世紀にかけての芸術論、美術、映画、文学、そして音楽について研究する。

◆　研究内容

芸術、とくに美術、映画、文学、そして音楽について、それをどう語るのか、研究書と実作に触れて考察する。自分の好きな作品について、ある程度の説得力をもった批評めいたことができるようになることを目標としたい。

＜外国書研究＞

好きな曲の歌詞、好きな映画のワンシーンのセリフ、好きな小説の 1 ページの原語に触れ、内容について考えてみたい。

＜卒業論文・３年次＞

論文の書き方、発表のしかた資料の集め方、資料の読み方の初歩をおさえた上で、レポートを書いてみる・輪読を行う・資料を探して読んでみる・議論をするといった実践に発展させていく。

内容としては、前期は文化論・現代芸術論を、後期は音楽論・映画論を取り上げる予定である。

＜卒業論文・４年次＞

ゼミでの学習と個々の興味をいかにして卒業論文に結びつけていくか、各自のテーマを絞り込み、文献を読み、卒業論文執筆への筋道を立てていく。

＜卒業論文例＞

「デジタル社会における音楽の未来と著作権法」、「ガルシア＝マルケスと村上春樹のワイルドな現実」「教会旋法とモード手法　マイルス・デイヴィスを通して」「《最後の審判》と人体描写」「「エモい」写真とは何か」「アートプロジェクトと地域活性化」「サブカルチャーにおけるディストピアの描かれ方」「家父長制から見るアイドル」「ロリータファッションとその精神について」「日本における公共空間の解体と「排除アート」」

◆　応募学生に対する希望

ジャンルは問わないが語るべき対象としての芸術（映画、文学、音楽、美術、写真など）に人並み以上の興味をもっているという自負があることを最低限の前提とする。さまざまな本を読んで興味を広げることに意欲的な学生、読書を楽しめる学生を歓迎する。

◆　成績評価方法

卒業論文：輪講を中心とした授業準備 20%、授業内議論への参加 20%、課題 20%、卒業論文に向けての口頭発表 20%、卒業論文 20%として評価する。

外国書研究Ⅰ：出席、予習に基づく授業での発表、議論参加、試験のそれぞれを 25%ずつとして評価する。

外国書研究Ⅱ：出席、予習に基づく授業での発表、議論参加、試験のそれぞれを 25%ずつとして評価する。

研究分野…現代ラテンアメリカ文学
募集人数…10 名前後
試験方法…身上書（志望動機と自己アピール）と面接
関連パッケージ…各地域の文化系パッケージ
関連科目…各地域の文化論、国際文化特殊講義、表情文化論、外国文学、現代思想など

柴﨑　文一　ゼミナール【連環地域文化研究】

担当科目：連環地域文化論、哲学、論理学

◆　ゼミナールの研究テーマ

地球環境問題をローカルな視点とグローバルな視点の両面から考察します。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

日本人にとってアメリカは、環境問題に対してあまり積極的ではないというイメージが強いように思われますが、自国の自然保護に関しては、極めて先進的で積極的だと言って間違いありません。A.レオポルドは、こうしたアメリカ的自然保護思想の一つの基盤を築いた人物で、中でもここに取り上げる「土地倫理」は、アメリカ人の自然観や倫理観を理解する上で、本質的な意味をもつ概念だと言えます。ゼミでは、レオポルドの"The Land Ethic"を精読し、アメリカ的な自然観ばかりでなく、我われ日本人の自然観や国土観についても考えて行くことにしたいと思います。

＜卒業論文（３年次）＞

・eco 検定（環境社会検定）

7 月に実施される eco 検定を全員で受験します。

eco 検定では、環境問題全般にわたる問題が出題されますので、この検定試験に向けた学習は、広範な環境問題に取り組むための基礎知識を習得するために、非常に効果的です。また eco 検定は、履歴書にも記載できる社会的な資格ですので、就職活動にも有利な面があります。

・卒論の準備

近年の就職活動状況を見ると、残念ながら 4 年次に落ち着いて卒論を仕上げる時間がとれない状況が続いています。そのため本ゼミでは、3 年次の早い段階で卒論のテーマを決め、無理なく卒論をまとめることを目指します。

＜卒業論文（４年次）＞

４年次の卒論指導では、各時間一人から二人の担当者を決め、各担当者の卒論内容を進捗状況にそって発表して行きます。これにより、確実に卒論をまとめ上げることを目指すと共に、プレゼンテーション能力の向上にもつなげて行きたいと考えています。

＜卒業論文例＞

「ESG 投資と社会」

「地方公共団体の環境政策」

◆　応募学生に対する要望

このゼミは、３年前期に開講予定の柴崎が担当する連環地域文化論の講義内容と密接な関連を持ちます。したがってゼミの入室希望者には、この科目の履修を参加の条件とします。

◆　成績評価方法

卒業論文：卒業論文の内容と、ゼミへの参加貢献度により評価します。

外国書研究 I：レポートにより評価します。

外国書研究 II：レポートにより評価します。

研究分野…環境思想、応用倫理学、科学技術社会論

募集人員…10 名

試験方法…エントリーシートの審査と面接試験を行います。ガイダンスへの出席（視聴）を、エントリーの条件とします。2 次募集や 3 次募集が行われた場合にも、ガイダンスへの出席（視聴） がエントリーの条件となります。入室希望者は下記の URL にアクセスし、Web 上でエントリーの手続きを行ってください。

http://www.kisc.meiji.ac.jp/~sibasaki/

関連パッケージ…国際経済系パッケージ、国際政治系パッケージ

関連科目…連環地域文化論、環境経済学、比較政治論、人口学、日本政治史

虎岩　直子　ゼミナール【イギリス文化研究】
担当科目：英語Ⅰ、Ⅳ、ヨーロッパ文化論、連環地域文化論

◆　ゼミナールの研究テーマ

イギリス諸島の様々な地域の文化について、特定の表象文化作家・作品を中心に分析研究する。イギリス諸島はそれぞれをネーションと考える大きな4つの地域、イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランドに別れ、それぞれの独自性を主張しているが、特に20世紀半ば以降から現代まで旧植民地からの移民が新たな文化模様を展開し、グローバライズしているとされる現代社会のひとつのモデルを提示している。イギリス諸島の様々な文化を、その混合、影響関係を含めて、とくに文字と視覚表象に注目して考察研究し、多価値多元的社会について考える。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

本年度は Brexit と Covid19 の英国社会への影響に関する学術論文を読んでいるが、来年度は Pandemic と社会について、Covid19 を取り上げている新しい研究論文やジャーナリスティックな記事を読んでいく。

＜卒業論文・３年次＞

各自興味を持っているイギリス諸島に関わる文化表象作品を選び、それについて政治歴史的背景を踏まえて、分析発表する。毎回ひとつの発表に対して、ゼミ生がそれぞれリスポンドする材料をもちより、発表の後、議論する。各自二度の発表になるがそれをそれぞれ期末にまとめてレポートとして提出する。

＜卒業論文・４年次＞

３年次に発表したテーマを深め、前期では必要な参考文献を読破し、後期で卒業論文としてまとめる。

＜卒業論文例＞

『The Smith について。その反体制性を踏まえて』『イギリス文学における老人問題について』 『英国の新聞状況』『様々なピーター・パンと時代性』『イギリス産業革命と画家ターナー』『パンクとファッション』『フリージャズ・ミュージシャン、ジョン・ベイリーの目指したこと』『ポッターとナショナルトラスト』『Brexit が齎す英国文化への影響、英国の漫才に着目して』など。

◆　応募学生に対する希望

自分が興味ある文化表象を、数多く経験していてほしい。映画を見る、音楽を聴く、芝居を見る、様々な国のコマーシャルを見てみる、など、なんであってもいい、「ファン」としてではなく、その表象を客観化して大きな文化的背景の中で歴史社会政治を考慮しながら分析する心構えをもつことを希望する。また、自分が興味のあるものだけを見るのでなく、同時代の様々な文化表象にも注意を払ってほしい。

◆　成績評価方法

卒業論文：テーマが明確であること、そのテーマに着いて必要な参考文献を踏まえて、独自の論が展開されているかどうかを確認し、引用の仕方、などにも留意して評価する。

外国書研究Ⅰ：知らない単語の意味のレベルの予習だけでなく、未知の用語、アイディアなどについて予習して、授業に望んでほしい。表層的な翻訳ではなく内容を読解しているかを評価する。

外国書研究Ⅱ：ゼミ生それぞれの研究テーマに即した文献をいくつか選ぶが、直接自分の論文に関係なくても、根底では繋がっているので、きちんと読解しているかどうかを評価する。

研究分野…イギリス諸島の社会と表象文化についての分析
募集人数…10 名程度
試験方法…面接および筆記試験
関連パッケージ…c 社会学系パッケージ、k ヨーロッパ文化研究パッケージ
関連科目…歴史学 現代思想 国際政治学、メディアと世論 マスメディア論

石山　徳子　ゼミナール【アメリカ文化研究】

担当科目：英語、アメリカ文化研究

◆　ゼミナールの研究テーマ

本ゼミナールでは、アメリカ合衆国の社会、文化、地理を多角的に見つめながら、多文化の共生という重要なテーマについてクリティカルに考える。社会に内在する差別や格差構造について学ぶ作業を、さまざまな背景を持つ人びと、そして生きとし生けるものが、いかに共に生き延びていけるのかを探る営みにつなげていきたい。学生の卒業論文のテーマに関しては、アメリカ社会・文化に関するものであれば、自由に設定してよい。

担当教員の専門は人文・政治地理学である。政治経済・社会的な営みと地理空間の変化は、深い相関関係にある。そして、地理的な分離や排除は、アメリカ社会に根強い人種・階級差別や格差を構造的に再生産してきた。たとえば、原子力発電をテーマにアメリカの景観を読み込んでみると、ウラン開発の現場、原子力発電所、放射性廃棄物処分施設の建設（予定）地と、先住民族の生活圏が重なっていることがわかる。そして、産業廃棄物の処分場、大気汚染を引き起こす工場、都市部のバス・ターミナルをはじめとする「迷惑施設」は、黒人やラティーノが多く居住する場所に集中している。そのいっぽうでアメリカには、政治経済的な不平等の是正を目指し、多文化の共生が可能な空間を模索する動きも活発だ。授業では、こうした空間事象について紹介することもあるが、個々の研究テーマを地理学に限定することはない。

本ゼミナールでは、 アメリカ社会・歴史・文化について広く学び、 さまざまな背景を有する人びとが、 ともに暮らしていくための豊かな社会のあり方について、 皆で考えていきたい。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

アメリカ文化、地理、社会、歴史に関するテキストを読み、毎週課題を提出する。

＜卒業論文・３年次＞

論文の書き方についてのテキストを参照し、研究論文を書くノウハウを身につけるのと同時に、アメリカ合衆国について基礎的な知識を得る。毎週、主にアメリカ研究に関連する入門書、新書、あるいは専門書や論文を読む。またドキュメンタリーや映画を鑑賞することも多い。これを踏まえて、皆でディスカッションを行う。同時に、卒業論文のテーマを定めるために、各自が興味のあるテーマについてリサーチを行う。 学年末には研究論文の提出が求められる。

＜卒業論文・４年次＞

各自のテーマに沿った卒業論文を書き進める。ゼミでは、各自が進行状況を報告し、多岐にわたる研究テーマを共有し、視野を広げてほしい。

＜卒業論文例＞

「マルコムＸの思想」

「同性婚について　～　マサチューセッツ州を事例に」「メジャー・リーグ野球にみられるアメリカ文化」

「スターバックスの歴史とアメリカ文化」

◆　応募学生に対する希望

アメリカ合衆国の文化や社会を、批判精神をもって見つめる目を養いながら、地域研究を自由に楽しんでほしい。

◆　成績評価方法

卒業論文：授業への参加　50%、論文　50%

外国書研究Ⅰ：レポート（毎週提出が求められる）100%

外国書研究Ⅱ：レポート（毎週提出が求められる）100%

研究分野…アメリカ合衆国の文化・地理・社会

募集人数…10 名程度

試験方法…出願時に応募動機やアメリカ社会・文化についてエッセイを書いてもらい、それをもとに面接をおこなう

関連パッケージ…Ⅰ　アメリカ文化系

関連科目…アメリカ文化論、アメリカ地域論

ジョージ・ジョニーE　ゼミナール【The Meaning of Nonsense: Deconstructing American Humor and Culture】
担当科目：政治経済

◆　**ゼミナールの研究テーマ**

The Meaning of Nonsense: Deconstructing American Humor and Culture

◆　**研究内容**

This course examines meaning construction and social representation through American popular media such as literature, film, television shows, news publications, and podcasts. The central interest of this classis in deconstructing. or carefully examining and understanding. humor. Humorous expression often references "insider" knowledge, so we have difficulty understanding humor from other social groups or cultures. This difficulty happens even between related cultures, such as American and British, which share the same language. Such difficulty can also happen between people with generational or class differences.　We will use semiotic analyses to understand how media influences us, and learn how to manipulate media to our own benefit. Semiotics is the study of how we construct meaning in the world; we transmit meaning not only through language, but also through body language, images, and action.　You will lead class discussions. You will learn basic semiotics and social theory, as well as develop research skills. You will: 1) improve your ability to interpret English media; 2) think critically about social issues; and 3) improve your writing and communication skills.

◆　**応募学生に対する希望**

Highly motivated students who wish to further use and strengthen their English skills through natural language media.

◆　**成績評価方法**

Class participation; leading discussion; short writing; graduation thesis/portfolio 4000-6000 words in English (4th year)

研究分野…社会についての分析
募集人数…８～12 名程度
試験方法…面接及び筆記試験
関連パッケージ…d 国際文化総合コース　1 アメリカ文化系パッケージ
関連科目…アメリカ文化論

海野　素央　ゼミナール【異文化ビジネス論・異文化間コミュニケーション論】

担当科目：異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、異文化理解とコミュニケーション、異文化摩擦とコミュニケーション

◆　ゼミナールの研究テーマ

ジョー・バイデン米大統領、カマラ・ハリス副大統領、ドナルド・トランプ前大統領のリーダーシップ及びコミュニケーションスタイル。異文化ファシリテーター、異文化コーチ及び異文化メンターの育成。米国、インド、タイ及び中国進出日系企業における異文化マネジメント

◆　研究内容

＜外国書研究＞

基礎理論の理解に重点を置く。使用する文献は、以下の通りである。

Adler, N. J. (2002). *From Boston to Beijing : Managing with a world View*. Cincinati, OH: South-Western.

Cushner, K., & Brislin, R. (1996). *Intercultural interactions: A practical guide*. Thousand Oaks, CA: SagePublications.

Haghirian,P.(2012).*Successful cross-cultural management : A guide for international managers*. New York : Business Expert Press.

＜卒業論文・３年次＞

本ゼミは、文献研究を通じて、異文化ビジネス及び異文化間コミュニケーションに関する基礎理論並びに概念を学習すると共に、それらの理論を実際の場面に応用できる人材の育成に焦点を当てている。海外進出企業では、①ものの見方や考え方、価値観が相違する現地従業員と効果的なコミュニケーションをとり、協働して業務を遂行することができる人材、②フェイス・トゥ・フェイスや遠隔の異文化会議を円滑に進めることができる人材、③現地従業員に自社流の仕事のやり方、考え方、価値観といった組織 DNA を浸透させることができる人材が、今、求められている。国内の企業合併や市町村合併においても、組織 DNA の異なる相手社員や職員と協働できる人材が不可欠である。そこで、それらの人材を育成するためのプログラムを開発した。

ゼミ員は次のようなテーマで個人プレゼンテーションを行う。

(1)　バイデン米大統領とトランプ前大統領のリーダーシップ及びコミュニケーションスタイル
(2)　東京電力福島第一原発事故とリーダーシップ
(3)　トヨタ公聴会と異文化コミュニケーション
(4)　米国進出日系企業における異文化マネジメントと人材育成
(5)　中国進出日系企業における異文化マネジメントと人材育成
(6)　インド進出日系企業における異文化マネジメントと人材育成
(7)　タイ進出日系企業における異文化マネジメントと人材育成
(8)　異文化ファシリテーティング・コーチング・メンタリング　(FCM)
(9)　異文化ビジネス環境におけるモチベーションの向上と維持の仕方
(10)　異文化トレーニング

ゼミ員は、小グループに分かれ、ハリス副大統領とトランプ前大統領のリーダーシップスタイル及びコミュニケーションスタイルについてリサーチを行い、チーム・プレゼンテーションをする。また、イスラエル―ガザ戦争における模擬和平交渉を実施している。

尚、本ゼミは、ゼミ員によるプレゼンテーションの形式で行い、その KSAA（知識・スキル・能力・態度）を向上させることも狙いの一つに置いている。

＜卒業論文・４年次＞

各ゼミ員は、「卒業プロセスカード」を作成し提出する。プロセスカードに基づき、研究テーマ、研究目的、研究方法、調査対象、参考文献などについてプレゼンテーションを行う。このプロセスを経て、研究成果のプレゼンテーションを実施し、そのフィードバックも含めて卒業論文を仕上げる。

＜卒業論文例＞

「インド市場と異文化マネジメント」「中国進出日系企業の効果的な異文化マネジメント」「タイ進出日系企業における人材マネジメント」「効果的なファシリテーションスキル」「異文化チームにおけるマネジャーの役割」「世界から見た日本人女性の社会進出」「北欧諸国から学ぶ『生き方』と『働き方』」「野球とベースボールの相違点～異文化的視点から～」「プロ野球における異文化適応」「大学ラグビーにおける外国人コーチの役割」　など

◆　応募学生に対する希望

ゼミ活動を優先することができるモチベーションの高い学生を求む。「異文化理解とコミュニケーション」ないし「異文化摩擦とコミュニケーション」を履修していることが望ましい。

◆　成績評価方法

卒業論文：
外国書研究Ⅰ：プレゼンテーション(80%) 積極的参加(20%)
外国書研究Ⅱ：プレゼンテーション(80%) 積極的参加(20%)

研究分野…2024 年米大統領選挙、2022 年米中間選挙、バイデン米大統領、ハリス副大統領、トランプ前大統領及びオバマ元大統領のリーダーシッ
プとコミュニケーションスタイルイル、東京電力福島第一原発事故とリーダーシップ、トヨタ公聴会と異文化コミュニケーション、異文化間交渉、異文化コラボレーター、異文化ファシリテーター、異文化コーチ、異文化メンター、異文化対応型リーダーシップ、異文化遠隔会議、海外派遣社員の KSAA、企業合併・統合と人材融合

募集人数…7-8 名前後

試験方法…小論文及び面接

関連パッケージ…アメリカ文科系パッケージ

ヨーク　ジェームズ　ゼミナール【遊戯文化論】

担当科目：英語Ⅰ、ACEⅠ、Ⅱ、Ⅳ

◆　ゼミナールの研究テーマ

遊戯、遊び、ゲーム、教育、社会学、実践的なゲーム開発に重点を置きます。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

外国の書籍や多言語のマルチメディア資料を用いて、遊戯論やゲーム文化を探究します。ボードゲームのルールブックやレビュー、配信動画、eSports 実況などが含まれます。さらに、業界知識を深め、ゲーム開発のインスピレーションを得るために、国内外の企画（会社や団体など）を調査し、フィールドワークを行うことも重視します。PBL（プロジェクトベースラーニング）を通じて、理論をゲーム開発に応用し、クライアントやユーザーのニーズに応じたゲーム制作を行います。

＜卒論・３年次＞

学生は「ヨークゲームラボ」の一員として、クライアント（団体、会社、学校など）からの依頼に基づき、少人数のチームで専門分野や興味に沿ったゲームを開発します。開発したゲームは、教育や社会貢献を目的に設計されます。学生は、先行研究を調査し、その知見を研究デザインやゲーム設計に反映させます。

＜卒論・４年次＞

卒業論文の指導。自分の選んだ課題に沿って研究をすすめてもらいます。

＜卒業論文例＞

「日本語学習者向けゲームを活用したオノマトペ教育の効果的アプローチ」
「語学学習支援ゲームの開発と検証について」

◆　応募学生に対する希望

「ゲームや教育について研究したい」という共通の興味に加え、次のようなスキルを持つ学生が望ましいです。1）専門的知識を活かし、ゲーム会社の一員として活動できる。2）フィールドワークやイベントなど授業外活動に積極的に参加する。3）ゲームリテラシーが高いこと。

◆　成績評価方法

卒論：卒業論文の完成度（もしくは、プロジェクトへの貢献度）ならびに授業での発表によって評価する。
外国書研究Ⅰ：発表、小論文の質による
外国書研究Ⅱ：発表、小論文の質による

研究分野…社会学と教育についての分析
募集人数…10 名程度（目安は 10～15 名程度です）
試験方法…面接および筆記試験
関連パッケージ…c 社会学系 h スポーツ文化論、地域コミュニティ系
関連科目…特になし

高峰　修　ゼミナール【スポーツ文化研究】
担当科目：身体文化論、健康･運動科学Ⅱ、ジェンダー論

◆　ゼミナールの研究テーマ

「スポーツ and/or ジェンダー」

このゼミではスポーツや遊び健康づくり、あるいは医療など「身体」に関する幅広い課題について、主にジェンダー論の視点から批判的に考えていきます。ゼミ全体のテーマとしては"スポーツとジェンダー"を取り上げますが、各自の卒業論文のテーマはジェンダーやセクシュアリティ、スポーツ文化の枠内で自由に設定できます。

◆　研究内容

＜外国書研究＞

スポーツやジェンダーに関する基本的な文献を輪読します。 ここ数年では以下のような題材を取り上げました。

・Eddy, Stamper, Klarsfeld and Han (eds) "HANDBOOK on Diversity and Inclusion Indices", Edward Elgar Pub.

・Bruce (2017) "Sportswomen in the Media - An Analysis of International Trends in Olympic and Everyday Coverage", Journal of Sport and Gender Studies 15: 24-39.

2025 年度の文献は新３年生による共同調査のテーマにもとづいて決定します。

＜卒業論文（３年次）＞

1）春学期は以下の文献について担当を決め、読み込み、内容を整理して発表し議論する、といった基本的な方法論を身につけます。また個々人のプレゼンテーションに加え、ディベートなども行います。

●佐藤監修（2019）『ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた』 明石書店

●青野編（2016）『アクティブラーニングで学ぶジェンダー』 ミネルヴァ書房

●飯田･熊安･來田編著 （2018）『よくわかるスポーツとジェンダー』 ミネルヴァ書房

秋学期も上記文献の輪読を進め、春学期のトレーニングを継続しながら卒業論文のテーマを決めていきます。

2）３年時には全員で共同調査を行い、学内外で報告することをタスクとします。

＜卒業論文（４年次）＞

３年次の作業を通じて決めた卒業論文のテーマについて関連情報の収集とその整理、ゼミでのプレゼン発表とフィードバックを繰り返し、一年間かけて各自のテーマに関する自分の主張を鍛えていきます。また卒業論文はゼミ紀要「明治大学スポーツ文化研究」にまとめて発行します。

＜卒業論文例＞

・ジェンダー視点から検証した冬季オリンピックにおける新聞報道
・競技ダンスにおけるジェンダーバイアス
・東京オリンピック･パラリンピック大会が新聞記事の性的マイノリティ報道に与える影響
・女性のスポーツ実況に対するメディア内部の意識
・中央競馬における女性騎手減量制度の影響についての考察
・女性の痩身願望　など

◆　応募学生に対する希望

2022 年度から 3・4 年生合同で行っています。また読書課題やグループワークなどゼミに向けての準備も少なからずあります。そうした労力に意味を見出せるかよく考えてからエントリーしてください。 ゼミに関わる諸活動を最優先できることが条件です。1・2 年次にジェンダー論Ⅰを履修していることが理想で、履修していない場合は講義動画を視聴してもらいます。

◆　成績評価方法

卒業論文：出席参加状況 （40%）、 課題達成度 （30%）、 卒業論文進捗度 （30%）

外国書研究Ⅰ：出席参加状況 （40%）、 課題達成度 （60%）

外国書研究Ⅱ：出席参加状況 （40%）、 課題達成度 （60%）

研究分野…スポーツ社会学、スポーツ・ジェンダー論
募集人数…8 名
試験方法…エントリーシート、レポートおよび面接とグループ･ディスカッション
関連パッケージ…c, f, g, h, i, j, k, l
関連科目…スポーツ文化論、身体文化論、健康･運動科学Ⅱ

後藤　光将　ゼミナール【スポーツ文化研究】

担当科目：スポーツ文化論、健康・運動科学Ⅲ、運動学演習

◆　ゼミナールの研究テーマ

スポーツによるまちづくり・地域活性化，スポーツを活かしたインクルーシブな社会づくり

◆　研究内容

＜外国書研究＞

スポーツに関連する時事ニュース（英語）を読み解きながら，ディスカッションをおこないます。

＜卒業論文・３年次＞

地方都市におけるスポーツを活用した社会課題の解決を目指して，グループ研究に取り組みます。夏休みにはゼミ合宿を兼ねて，グループ研究に取り組む地方都市の自治体を実際に訪問して，フィールドワークを行います。また，スポーツ文化の意義を考える機会として，東京に所在するスポーツ関連博物館や施設の視察を行うこともあります。最終的な目標として，未来への具体的な理想像を描き，その実現に向けてのアクティベーションを考案します。

＜卒論論文・４年次＞

卒業論文執筆，そのための資料収集がメインになります。適時，進捗状況を随時報告してもらいます。国立国会図書館の利用方法実習も行います。夏期休業中には，卒業論文の中間発表会を行います。

＜卒業論文例＞

「義務教育における運動部活動の意義」「球団経営としてのプロ野球」「1964 年東京オリンピックが日本社会に及ぼした影響」「車いすバスケットボールの歴史」「古代ギリシャにおけるオリンピア祭典競技」「パラリンピック大会の現状と課題」「サッカーから見る日韓文化の比較」「箱根駅伝テレビ中継の歴史とその影響」「国内エアラインとスポーツ」「テニス漫画が競技に与える影響」「明治大学体育会ラグビー部の歴史」「日本におけるスポーツツーリズムの推進」など

◆　応募学生に対する希望

スポーツを学問の対象とした場合，あまりにも複合的な要素が多く，その実態は捉えづらいものです。研究手法として，本ゼミでは「文献学的方法」に限定します。ゼミ合宿は年 2 回（夏冬），3 年次にはスポーツ政策提言のインカレコンペにも出場します。それらの準備のためにサブゼミもあります。関連セミナー，学会等の学外活動に参加してもらうこともあります。協調性と積極性をあわせ持つ学生を望みます。みなさんは 18 期生になります。

「自ら考えて行動し，与えられた課題に対して予期されるレベル以上のものを創り上げる」

このような向上心とプライドを持った学生を求めています。勉学面においても，人間面においても日々研鑽して良い仲間関係を築いていきましょう。

◆　成績評価方法

卒業論文：授業への取り組み度，貢献度，卒業論文を総合的に評価する。
外国書研究Ⅰ：授業への取り組み度，貢献度，期末課題の完成度を総合的に評価する。
外国書研究Ⅱ：授業への取り組み度，貢献度，期末課題の完成度を総合的に評価する。

研究分野…スポーツ史、スポーツ人類学、オリンピック教育
募集人数…10 名程度
試験方法…身上書、事前課題、筆記試験、面接で評価する。
関連パッケージ…b，c，g，h，i，j，k，l
関連科目…スポーツ文化論、身体文化論、健康・運動科学Ⅱ、健康・運動科学Ⅲ